携帯電話のリサイクルについて

- 携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さま情報(電話帳、通信履歴、メールなど)は事前に消去してください。

はじめに

この度は、W-CDMA/HSDPA携帯電話(S11HT)(以下、本機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先(P.253)にご連絡ください。

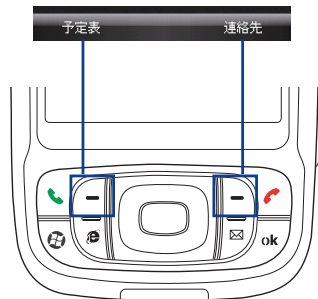
ご利用いただくにあたって

- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はデジタル方式の特徴として電波状態が悪いところであっても高品質な通信を保つことができます。しかし、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は日本国内でのご利用を前提としています。
  This product is exclusively for use in Japan.
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chipを取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 本機はGSM通信機能を搭載しておりますが、本機の保証については日本国内のご利用においてのみ有効です。その他詳細、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先(P.253)にご確認ください。

本書の使いかた

操作手順の表記について

ソフトキー

以下の例のように画面下部の左右に表示される名称で説明しています。

項目選択

以下の例のように選択する項目名やタブ名、ソフトキーの名称などは太字で示しています。

＜例＞

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[Today]** をタップします。

ボタン

以下の例のように名称とイラストで説明しています。

＜本体前面ボタンの場合＞

通話ボタン（　）を押します。

＜ハードウェアキーボードの場合＞

ハードウェアキーボードで Fn を押し、記号 文字 を押します。

目次

主な機能

機能	説明	アプリケーション
電話	短縮ダイヤルやスピーカーフォンなど、便利な付加機能を利用できる通話機能があります。	・ボイス短縮ダイヤル
PIM（アドレス帳、スケジュール、To Do、メモ）	本格的なPIM機能によって、電話番号やアドレス、スケジュール、To Do、メモを管理します。	・連絡先 ・予定表 ・仕事 ・メモ
インターネット	パソコン用のWebサイトにアクセスできます。	・Internet Explorer
メール	インターネットメールのアカウントを登録することができ、自宅や会社のメールを送受信できます。	・メール
マルチメディア	カメラで静止画や動画を撮影したり、楽曲や動画を再生して楽しむことができます。	・カメラ ・画像とビデオ ・オーディオプレーヤー ・Windows Media Player
データ管理	本体メモリやmicroSDカードの中のファイルやフォルダのコピー／移動／削除を行うことができます。	・ファイル エクスプローラ
パソコンとのデータ同期	パソコンと本機との間で、PIMデータやファイルを同期することができます。	・ActiveSync
オフィス関連アプリケーション	Word、Excel、OneNoteファイルの作成／編集／表示、PowerPoint、PDFファイルの表示を行うことができます。	・Word Mobile ・Excel Mobile ・PowerPoint Mobile ・OneNote Mobile ・Adobe Reader LE
GPSナビゲーション	ソフトウェアを別途入手することで、現在地や目的地までのルートを検索できます。	・GPS

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。
- 以降で説明する注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されています。よくお読みの上、記載内容を必ず厳守してください。
- 本機の故障、誤作動、不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客さま、または第三者の方が損害を受けられたとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示の説明

本書では次のような絵表示をしています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性が高い」内容を示しています。
	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。
	取り扱いを誤った場合、「重傷を負う可能性および物損が生じる可能性がある」内容を示しています。

禁止 分解禁止 濡れ手禁止 水濡れ禁止	**してはいけないことを表しています。**
指示 プラグをコンセントから抜く	**しなければならないことを表しています。**
注意	**気をつける必要があることを表しています。**

本体の取り扱いについて

必ず専用の機器をご使用ください。指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。

車両の運転中に本機を使用しないでください。交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

車のダッシュボードの上などに置かないようにしてください。エアバッグが開いたときに、本機が運転者や同乗者に当たるおそれがあり、けがや事故、故障や破損の原因となります。

歩行中の使用は注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分にご注意ください。

航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は 、装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。 電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU)、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では電源を切り、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

※影響を受けるおそれがある機器の例：

心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医療用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

指示

本体について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- 分解、改造をしないでください。なお本機の改造は電波法違反になります。
- 直射日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 本体に無理な力を加えないでください。

指示

万一、異物(金属片・水・液体)が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先(P.253)にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります

指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態には、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外してください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。煙が出なくなったことを確認してお問い合わせ先(P.253)へご連絡ください。

指示

落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。

安全走行を損なうおそれがあります。

注意

長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

指示

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。本機は以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。

本体上下キャビネット （電池カバー含む）	PC+ABS 樹脂（スプレー塗装）
本体キャビネット	PC+ABS 樹脂（スプレー塗装）
表面プレート	陽極酸化処理アルミニウム
カメラプレート	ABS 樹脂（NCVM 金属化処理）
電源ボタン カメラボタン ボイスボタン ok ボタン（本体側面）	ABS 樹脂（スプレー塗装）
ナビゲーションキー 左／右ソフトキー IE ボタン メールボタン	ABS 樹脂（スプレー塗装）
ナビゲーション中央ボタン 通話ボタン 終了ボタン スタートボタン ok ボタン	ABS 樹脂（クロムメッキ仕上げ）
GPS アンテナカバー	エラストマー
microSD カバー	エラストマー
インジケータランプ	PC 樹脂
キーボード	PC+ABS 樹脂（スプレー塗装）
ジョグホイール	ABS 樹脂（スプレー塗装）
スタイラスペン	POM 樹脂／銅（クロムメッキ仕上げ）
電池パック裏板金	ステンレススチール
電池パック端子	銅（ニッケルメッキ仕上げ）
ミニ USB 端子	ステンレススチール／つや消し錫
ネジ	鉄（銅メッキ、ニッケルメッキ、下地にクロムメッキ仕上げ）

	小児が使用する際に､保護者が使用方法を間違えていないか確認し､正しい取り扱い方法を教えてください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。
	クレジットカードなどを本機に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。
	microSD カードを取り外すときは、 指でカードを押し込み、カードが出てきても、 すぐに指を離さないようにしてください。また 、取り付けるときは 、カードが カチッと音 がするまでしっかりと押し込み 、すぐに指を離さないでください。microSD カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて 、取り付けたり 、取り外さないでください。 急に指を離すと 、カードが飛び出し危険です。

電池パックの取り扱いについて

電池パック(リチウムイオン電池パック)について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- 本機で使用できる電池パックは、PBS11HTZ10 です。これ以外の電池パックは使用しないでください。
- 装着するとき、電池パックの向きが決められています。本機にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
- 充電には、付属の AC アダプタ PCS11HTZ10 または USB ケーブル PGS11HTZ10 以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。
- 直射日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。
- 釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
- 水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリ、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。
- 電池パックからもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。

指示

次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
- 水や海水に浸けたり、雨滴などで濡らさないでください。万一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。
- 電池パックから液がもれたり異臭がするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。
- 液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
- ペットが電池パックを噛まないように気をつけてください。
- 充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.253）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

⚠注意

次のことをお守りください。

- 小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。
- 乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本機から取り出さないように注意してください。間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
- 充電は必ず 0 ～ 40℃の範囲で行ってください。
- 充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

電池パックを本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本体に装着しないでお問い合わせ先（P.253）にご持参ください。

ACアダプタの取り扱いについて

本体に接続するACアダプタは、必ず付属のPCS11HTZ10を使用してください。他のACアダプタは使用しないでください。

付属のACアダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.253）にご連絡ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- ＡＣアダプタを水やその他の液体につけたり、濡らしたりしないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
- お客さまによる改造や分解・修理はしないでください。
- AC アダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- AC アダプタに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
- コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。
- 落雷のおそれがあるときは、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 長期間使用されないときには、安全のため、ＡＣアダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠ 注意

ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 周囲温度 0 ～ 40℃、湿度 35 ～ 85%の範囲でご使用ください。
- 直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。
- ほこりの多い場所に置かないでください。
- 落下させたり衝撃を与えないでください。
- コードの根元部分を無理に曲げないでください。
- 重いものを載せないでください。
- 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 布などでくるまないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

EM chip（USIMカード）の取り扱いについて

EM chipを本機へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際には過剰な力を加えますと故障の原因にもなりますのでご注意ください。

⚠ 注意

EM chip の IC 部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要な IC 部分への接触は避けてください。

分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねます。

火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用および放置しないでください。溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

本機を使用中、EM chip 自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

EM chip は当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねます。

落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。

低温・高温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器に EM chip を入れないでください。溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

小児が使用する際に、保護者が使用方法を間違えていないか確認し、正しい取り扱い方法を教えてください。 間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。

小児や乳幼児が誤ってEM chip を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip は小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。

その他、 本来の用途とかけ離れた方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

USBケーブルの取り扱いについて

分解、 改造しないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばや、 ストーブのそば、 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、 放置しないでください。

機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにはご注意ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

故障や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

故障や火災の原因となります。

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、USB ケーブルには触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

USB ケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。

指定の機器以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。

USB ケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

USB ケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。感電、火災の原因となります。

付属CD-ROMの取り扱いについて

付属の CD-ROM は、一般オーディオ用の CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。再生音によって耳を痛めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

ご使用上のお願い

共通

- 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
  - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。
  - 温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。
  - 落としたり、重いものの下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- イヤホンマイクをご使用中、音量が大きすぎると音が外にもれることがあります。
  - 周囲の方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
  - アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。また、洗濯機で洗わないでください。
- 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。
  - 衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 無理な力がかかるような場所に置かないでください。
- 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。

- 一般の電話機やテレビ･ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

本体

- 使用中に本機が温かくなることがありますが、 手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。
  - そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがありますのでご注意ください。
- お客さまご自身で本機に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。 万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。 またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
- 本体を直射日光の当たる所に放置しないでください。
  - 変形、変色を起こす場合があります。
- 持ち運ぶときや使用しないときは、必ずキーボードを閉じて、付属のケース等に入れてください。
  - ケース等に入れずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりします。
- 画面は、 ときどき乾いた柔らかい布で拭いて、 汚れないようにしてください。
  - 汚れたまま画面をタップすると傷つくことや、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。
- 表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、 振り回したりしないでください。
  - 本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

- 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
  - 画面などを傷めることがあります。
- 本体の上に書類などを載せないでください。
  - 誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
  - 入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。
- スタイラスペンの先や画面の汚れを取って操作してください。
  - 汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。
- 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。
- スタイラスペンの前部後部ともにとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- GPS カバーを閉じるときは上下の端を溝に押し込むようにしてください。
- ハードウェアキーボードを閉じる際は指などを挟まないように、ご注意ください。
- ハードウェアキーボードを開いて画面角度を調整するときは、無理に力を加えないようにしてください。
- 電池カバーを取り外した際は、スピーカーカバーやカメラのレンズを傷つけないようご注意ください。

電池パック

- 電池パックは消耗品です。使用状況などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。
- 直射日光が当たらず、風通しが良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本機または充電器から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 電池パックの角はとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。

AC アダプタ

- 充電中、AC アダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。

EM chip（USIM カード）

- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身で EM chip に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- EM chip を本機に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chip の破損の原因となります。
- IC 部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。故障の原因となります。
- 使用中、EM chip が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客さまが本機を利用して公衆に迷惑をかける不良行為等を行う場合、法令、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。
- 販売されている書類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

ミニ USB 端子／カードスロット

- ミニ USB 端子や microSD カードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記録内容の消失の原因となります。
- microSD カードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

液晶表示

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面のタップの操作は、付属のスタイラスペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなどの先のとがったものは、使わないでください。
- 画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

ハンドストラップ

- ストラップ取り付け穴には、 携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。 ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、 店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。 なお、 ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、 ハンドストラップを強く引っ張るなど、 ストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。 故障や破損の原因となります。

公衆の場で使用するとき

- テレビ、 ラジオ、 携帯電話機など電磁波が発生するものの近くで使用しないでください。 お互いに影響を受ける場合がありますので、 なるべく離れてご使用ください。

免責事項

- 火災および地震などの災害、 第三者による行為、 その他の事故、 お客さまの故意、 または過失、 誤用、 その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、 当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、 通信などの機会を逃したために生じた損害、 事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、 ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、 当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、 当社は一切の責任を負いません。

著作権に関するお願い

- お客さまが本機を利用して撮影したり、インターネットの Web サイトからダウンロードしたりして取得した文章や画像、音楽、ソフトウェアといった第三者が著作権を有するコンテンツについては、著作権法上認められている私的使用目的の複製や引用を除き、著作権者に無断で複製や改変、公衆への頒布を行うことは禁止されています。
- 私的使用目的であっても、実演や興行、展示物の中には、撮影や録音を制限している場合があるのでご注意ください。また、お客さまが本機を利用して当人の同意なしに肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を当人の同意なしにインターネット上など公衆で視聴できる状態にすることは、肖像権を侵害するおそれがあります。
- 本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることについても同様です。

商標について

- microSD ロゴマークは SD アソシエーションの商標です。

- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth® SIG, INC の登録商標で、ライセンスを受けて使用しています。

- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Mobile®、Windows Vista®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™ および Internet Explorer のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

- Adobe®、Reader® は、米国 Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各 OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  Windows®XP は、Microsoft® Windows® XP Professional、または Microsoft® Windows® XP Home の略称です。Windows Vista® は、Microsoft® Windows Vista® Ultimate、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Home Basic の略称です。
- その他、本文中に記載されている会社名、商品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。

BluetoothおよびワイヤレスLANに関するご注意

本機の使用周波数帯は、電子レンジなどの家電製品、産業・科学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」）が利用しています。

1. 本機を使用する前に、その周囲で「他の無線局」が利用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合、直ちに使用場所を変更するか、電源を切るなど電波干渉を解消するように対処してください。

■ 周波数帯域について

BluetoothおよびワイヤレスLAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機の本体ラベルに以下の表記で記載されています。

2.4： 周波数 2400MHz 帯を使用する無線装置であることを示します。

FH/DS/OF： 変調方式がそれぞれ FH-SS、DSSS、OF-DM であることを示します。

1：　想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。

4：　想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示します。

■■■：　2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

■ 本機の Bluetooth通信機能には、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetoothによる通信を行うときは十分ご注意ください。

■ Bluetoothを使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本機のBluetooth機能のバージョンとプロファイルは以下のとおりです。

対応バージョン	Bluetooth 標準規格 Ver.2.0＋EDR 準拠※1
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class2
対応プロファイル※2	GAP (Generic Access Profile) SPP (Serial Port Profile) HSP (Head Set Profile) OPP (Object Push Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) HFP (Hands Free Profile) GOEP (Generic Object Exchange Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) HID (Human Interface Devices) FTP (File Transfer Profile)

※1 本機を含めすべての Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG の規定に基づいた適合試験によって Bluetooth 標準規格の認証を取得していますが、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※ 2 Bluetooth の通信手順（プロトコル）を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ 良好な状態で接続できるように、以下の点にご注意ください。

- 他の Bluetooth 機器との接続は、見通し距離約 10m 以内で行ってください。本機と他の Bluetooth 機器との間に障害物があると、接続距離は短くなります。また、ご使用の環境（壁や家具など）や建物の構造によっても接続距離は短くなります。

  特に、鉄筋コンクリート製の建物では、間に鉄筋が入った壁があると、上下の階や隣接する部屋どうしでも接続できないことがあります。したがいまして上記接続距離を保証するものではないことをご了承ください。

- 電子レンジ・AV 機器・OA 機器、デジタルコードレス電話機・ファックス、およびその他の電気製品からは 2m 以上離して接続してください。特に電子レンジによる影響を受けやすいため、必ず 3m 以上離してください。近くでこのような機器に電源が入っていると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオに雑音や受信障害が発生する場合があります。特に UHF や衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビが乱れることがあります。

- 放送局や無線機など強い電波を発するものが近くにあり、接続が困難なときは、接続先の Bluetooth機器の場所を移動してください。強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。

■ ワイヤレス LAN に関するお願い
電気製品・AV 機器・OA 機器といった磁気や電磁波を発している機器の近くでは使用しないでください。

- 磁気や電磁波の影響によって通信状態が不安定になったり、接続できなくなることがあります。特に電子レンジを使用しているときは、影響を受けやすくなります。
- テレビやラジオが近くにあると、これらの機器に雑音や受信障害が発生する場合があります。
- 周囲で複数のワイヤレス LAN アクセスポイントが同じチャンネルを使用していると、正しく検索されない場合があります。

■ ワイヤレス LAN と Bluetooth との電波干渉について

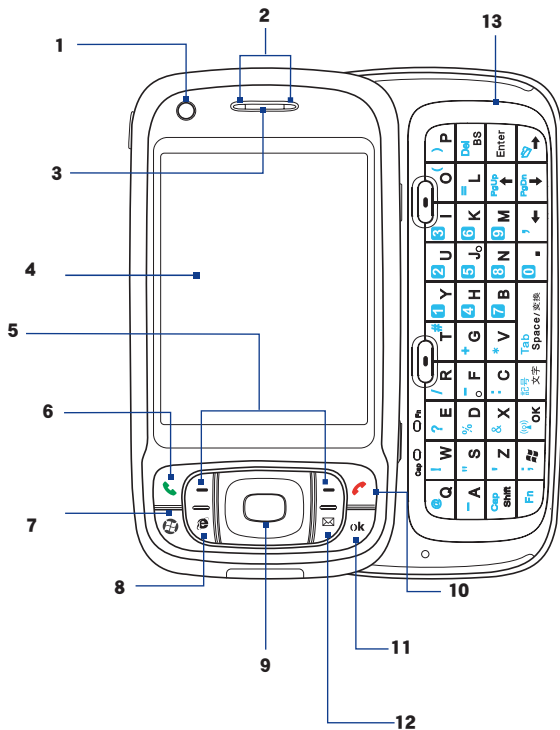
Bluetooth 機器とワイヤレス LAN（IEEE802.11b/g）は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。このため、ワイヤレス LAN 機能を搭載した機器の近くで Bluetooth 通信を使用すると、電波干渉によって通信速度の低下や雑音が発生したり、接続が困難になる場合があります。以下のような方法で対処してください。

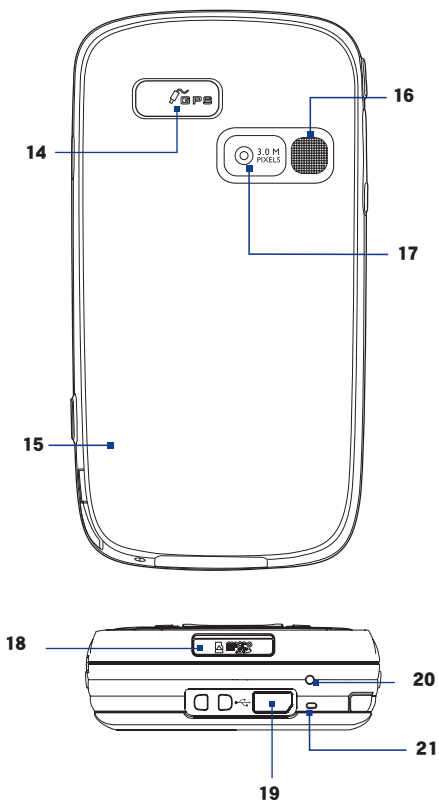
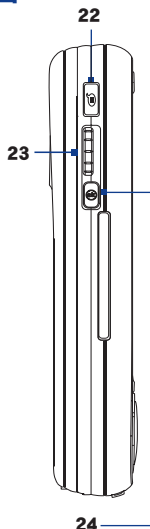
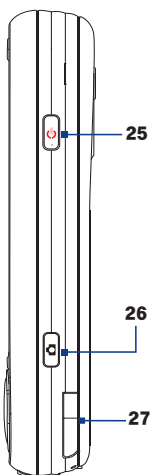
- Bluetooth による無線通信を行う本機および Bluetooth 機器は、ワイヤレス LAN と 10m 以上離してください。
- Bluetooth による無線通信を行う本機および Bluetooth 機器を、ワイヤレス LAN から 10m 以内で使用する場合、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

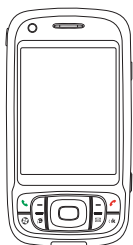
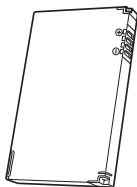
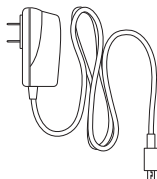
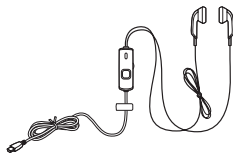
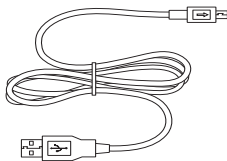
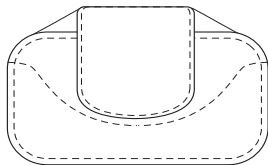
第1章

ご利用になる前に

1.1 本機とアクセサリについて

正面

No.	名称	機能
1	サブカメラ	自分撮影用に使用します。
2	通知 LED(左)	緑色とオレンジに点灯するLEDです。電池残量が5%以下になると、赤色点滅します。 次の状態を示します。 • 電池パックの充電状態を示します。 • メッセージ、ネットワーク状態通知を表示します。 • HSDPA/UMTS/EDGE/GSM/GPRS スタンバイを示します。
	通知 LED(右)	次の状態を示します。 • 青の点滅は Bluetooth システムが起動して、通信準備ができていることを示します。 • 緑の点滅はワイヤレス LAN の状態を示します。 • BluetoothとワイヤレスLAN がともに有効になっている場合、青と緑が交互に点滅します。 • GPS 動作時はオレンジ色に点滅します。Bluetooth やワイヤレス LAN も動作しているときは、 順番に点滅します。
3	受話口	相手の声がここから聞こえます。
4	タッチスクリーン	スタイラスペンで画面をタップし、文字や絵を描いたり、アイテムを選択したりします。
5	左右ソフトキー	画面左右下のソフトキーに表示された内容を実行します。
6	通話ボタン	電話をかけたり、受けたりします。
7	スタートボタン	スタートメニューを開きます。
8	Web ブラウザボタン	Internet Explorer Mobile ブラウザを起動し、自動的に既定のホームページを開きます。
9	ナビゲーションコントロール/Enter ボタン	ナビゲーションコントロールを上下左右に押すと、メニューやプログラムを移動することができます。ボタンを押すと選択項目を実行します。
10	終了ボタン	通話を終了します。
11	ok ボタン	データ入力を確定します。また、使用中のプログラムを終了します。
12	メールボタン	メール機能を利用します。
13	ハードウェアキーボード	PCのキーボートと似た配列になっています。電話番号や文字を入力します。

背面

No.	名称	機能
14	GPS アンテナコネクタ	外部 GPS アンテナを接続することができます。
15	電池カバー	電池パックの取り付けや取り外しができます。
16	スピーカー	オーディオファイルやボイスコールを聞くことができます。
17	メインカメラ	写真やビデオクリップを撮影するためのカメラです。
18	microSDカードスロット	microSDカードを挿入できます。
19	ミニUSB端子	同梱のACアダプタやUSBケーブル、イヤホンマイクを接続します。
20	リセットボタン	スタイラスペンでリセットボタンを押すと、本機をソフトリセットすることができます。
21	送話口	自分の声をここから伝えます。

No.	名称	機能
22	**ボイスタグボタン**	ボイスタグの認識を起動します。ボイスタグの詳細については、「13.1 ボイス短縮ダイヤルを使う」(P.232)をご覧ください。長押しすると、ボイスメモプログラムを開きます。
23	**ジョグホイール**	音量調整やスクロールなどができます。
24	**okボタン**	正面のokボタンと同じ操作が行えます。
25	**電源ボタン**	• 短く押すと、一時的に画面をオフにし、本機はスリープモードに入ります。スリープモードでも通話やメッセージを受け取ることはできます。 • このボタンを5秒以上長押しすると、本機の電源を完全に切ります。通話を含むすべての機能は使用できなくなります。
26	**カメラボタン**	一度押すと、カメラを起動します。もう一度押すと、指定されたキャプチャモードに基づき写真またはビデオクリップを撮影します。
27	**スタイラスペン**	タッチスクリーンに文字や絵を描いたり、アイテムを選択します。

同梱物一覧

●S11HT本体

●電池パック

● AC アダプタ

●イヤホンマイク

● USB ケーブル

●キャリングケース

●取扱説明書

●本体保証書

● AC アダプタ保証書

●S11HT用CD-ROM

●スタイラスペン（2 本）

1.2 EM chip(USIMカード)について

EM chipは電話番号やお客さま情報が入ったICカードです。EM chip対応の機器に取り付けて使用します。EM chipが取り付けられていないときは、通話およびパケット通信(HSDPA通信)が利用できません。

- EM chip について詳しくは、 EM chip の台紙に記載されている取扱説明をご覧ください。
- EM chip の取り付け、 および取り外したときのご注意については、 EM chip の台紙に記載されている取扱説明ならびに 45 ページをご覧ください。
- 他社の IC カードリーダーなどに、 EM chip を挿入して故障したときは、 お客さまご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- EM chip にラベルなどを貼り付けないでください。 故障の原因となります。

S11HT を落としたり、 強い衝撃を与えたとき

EM chip を正しく認識しなくなることがありますので、 ご注意ください。

EM chip についてのその他ご注意

- EM chip は、 当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- EM chip の所有権は当社に帰属します。
- 紛失、 盗難時など EM chip の再発行は有償となります。 また解約時は当社にご返却ください。
- EM chip の仕様、 性能は予告なしに変更となる場合があります。
- お客さま自身で EM chip に登録された情報内容等は、 メモなどに控えておいてください。 万が一、 登録された内容が消失した場合、 当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- EM chip や本機 (EM chip 装着済) を紛失・盗難された場合は必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。 緊急利用停止の手続きについては、 お問い合わせ先 (253 ページ) までご連絡ください。

重要　電源を入れたまま SIM カードカバーを開けると、 故障の原因となります。

EM chip（USIM カード）を取り付ける

1. 本体の電源を切ります。
2. キーボードをスライドさせます。
3. SIMカードロックを左へスライドし、カバーを開けます。
4. EM chipのIC部分を下にして、下記のイラストのように切れ込みが下になるように、EM chipを奥までスロットに差し込みます。

5. SIM カードカバーを閉めて、 SIM カードロックを右へスライドします。

注意 SIM カードロックをしないと本機を使用することはできません。ロックを解除した状態でも電源は入りますが、 起動後すぐにシャットダウンします。

EM chip（USIM カード）を取り外す

EM chip を奥に軽く押し込んでから、 SIM カードスロットからゆっくり引き抜きます。

1.3 電池パックについて

電池パックを取り付けたり、 取り外したりする際は、 必ず本機の電源をお切りください。

本機は充電式リチウムイオン電池を使用しています。 指定の電池パックおよびアクセサリのみをご利用ください。 電池の消費は本機の使い方により大きく左右されます。 電波の強度、 使用環境の温度、 本機の設定、 ポートに接続されているアイテム、 音声、 データ、 その他のプログラムの使用状況などにより電池の消費量は異なります。

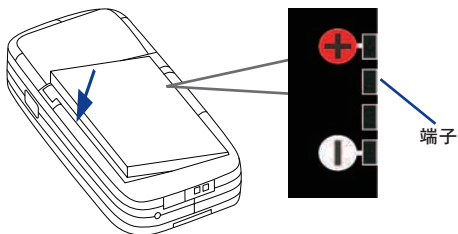
電池の持続時間の目安：

- 連続待受時間: 約 **350** 時間 （3G）
- 連続通話時間: 約 **264** 分 （3G）

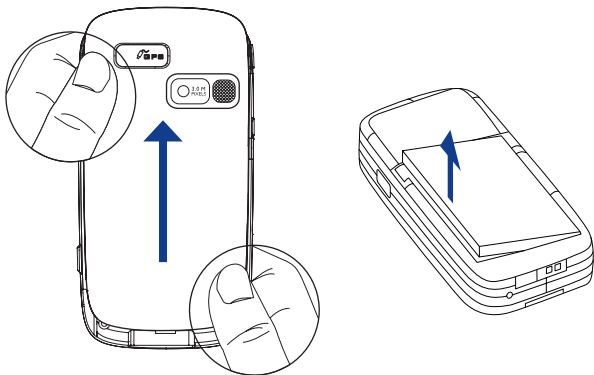
危険! **火災や火傷を防ぐため、次のことにご注意ください。**

- 電池パックを分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、火や水の中へは投げ込まないでください。
- 60℃ 以上の場所に放置しないでください。
- 交換時は、本機専用の電池パックをご使用ください。
- 使用済み電池パックは、お住まいの地域の規定に従って廃棄してください。
- 指定の機器のみで使用してください。
- 専用の充電器以外では充電しないでください。

電池パックを取り付ける

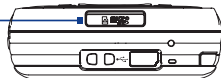
電池パック右上の端子と本体の端子を合わせてから、 電池パックの左端を押して本体に取り付けます。

電池パックを取り付けた後、 電池カバーを取り付けます。

電池パックを取り外す

1. 本体の電源を切ります。
2. 図のように電池カバーの 2 ヶ所を指で押しながら、 上方にスライドして取り外します。
3. 電池パックを左端から持ち上げて、 本体から取り外します。

1.4 microSDカードを取り付ける

本体底面にある microSD カードスロットに microSD カードを挿入すると、 画像や動画、 音楽ファイルなどを保存することができます。 microSD カードは別途お買い求めください。

microSD カードを挿入する

1. microSD カードスロットのキャップを開けます。

2. 端子面を下にして microSD カードをスロットへ挿入します。
3. microSD カードスロットのキャップを閉じます。

ヒント microSDカードを取り外すときは、スロットにmicroSDカードを軽く押し込んで取り外します。

注意 スロットのキャップは強い力で開けようとすると傷がつくことがあります。

1.5 起動する

EM chip(USIMカード)、電池パックの取り付けと充電が完了したら、電源を入れて本体を起動します。

電池パックを充電する

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。本機をご使用になる前に、電池パックを充電してください。電池パックは以下の2通りの方法で充電できます。

- 付属のACアダプタを使って充電する(充電時間:約180分)
- 付属の USB ケーブルを使って PC 経由で充電する

注意 AC アダプタおよび USB ケーブルは、 指定のオプション品をご使用ください。

充電中は、通知 LED（左）がオレンジに点灯し、充電中アイコン（）が Today 画面のタイトルバーに表示されます。充電が完了すると通知 LED（左）が緑に変わり、フル充電アイコン（）が表示されます。

警告！
- 充電中は、本機から電池パックを取り外さないでください。
- 安全のため、充電中に電池パックが熱くなりすぎると、充電が自動的に停止します。

電源を入れる／切る

本機の電源を入れるには、右側面にある電源ボタンを長押しします。

初めて電源を入れると、クイックスタートウィザードが起動し、現在の場所、日付、時刻、パスワードの各種初期設定を行うことができます。タッチスクリーンの補正に関する詳細は、この後の「本機を補正する」をご覧ください。

本機の電源を切るには、電源ボタンを長押しします。

完全に電源を切るかどうかの確認メッセージが表示されます。

本機を補正する

本機スクリーンの補正を行うには、画面上に表示された十字の動きに合わせて、十字の中央をスタイラスペンでタップします。この補正により、スタイラスペンで画面上のアイテムをタップするときの精度を保つことができます。

画面をタップしても本機が正しく反応しない場合は、次の手順で再補正を行ってください。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[画面]** をタップします。
2. **[全般]** タブで **[タッチスクリーンの補正]** をタップし、画面の指示に従って補正を行ってください。

画面の向きを設定する

本機は、**横**と**縦**の2種類の方向モードで使用できます。プログラムによっては横モードの方が表示や操作がしやすいものがあります。一方で、長いファイルを表示する場合などは縦モードの方が適しています。

- 方向を変更するには、**[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[画面]** をタップし、いずれかの方向を選択します。
- 画面をより見やすくしたり、より多くの内容を表示したりするには、**[文字サイズ]** タブでスライダーを移動し、文字サイズを調整してください。

スリープモードに切り替える

電源ボタンを短く押すと、画面が一時的に消え、本機は**スリープモード**に入ります。スリープモードでは消費電力を抑えるために画面を消し、本機を低電力モードにします。

一定時間本機を操作しない場合も自動的にスリープモードに切り替わります。

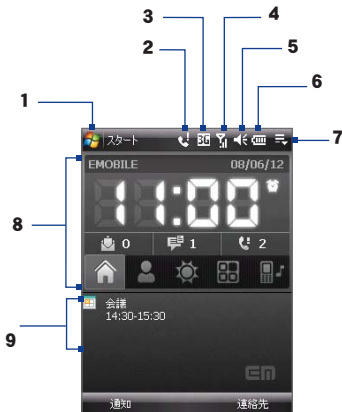
本機がスリープモードに切り替わるまでの時間を設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[電源]** > **[詳細設定]** タブをタップします。
2. **[バッテリ使用時]** で **[次の時間経過後、電源を切る]** のチェックボックスにチェックを入れます。
3. 電池で使用しているときのタイムアウト時間を選択し、**[ok]** をタップします。

本機がスリープモードのときでもメッセージや通話を受けることができます。もう一度電源ボタンを押すか、または通話やメッセージを受けると、本機は通常モードに戻ります。

1.6 Today 画面について

Today 画面には予定やステータスなどを示す重要な情報が表示されています。Today 画面でアイテムをタップすると、関連するプログラムを開くことができます。

- Today 画面を表示するには **[スタート]** > **[Today]** をタップします。
- 背景画像の変更など、Today 画面をカスタマイズするには、**[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[Today]** をタップします。

1 スタートメニューを開きます。

2 不在着信や新着メールなどがあることを表示します。

3 接続状態を表示します。

4 電波の強度を示します。タップすると電話の各種設定を行うことができます。

5 システム音および着信音の音量を調節します。

6 電池パックの状態を表示します。タップすると電源設定画面を開きます。

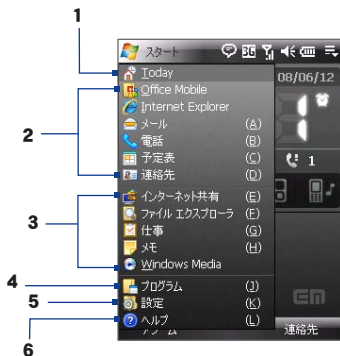
7 クイックメニューを開きます。

8 HTCホーム（詳細は、「1.9 HTCホーム」(P.54)をご覧ください。）

9 近日の予定を表示します。タップすると、予定表を開きます。

注意 Today 画面に日付を表示する設定を行った場合、画面の向きを横にした際にすべての項目は表示されません。

1.7 スタートメニュー

Today 画面左上の **[スタート]** をタップすると、プログラムリストが表示されます。ナビゲーションコントロールでプログラムを選択し、Enter ボタンを押すか、またはスタイラスペンでプログラムをタップすると、そのプログラムを実行できます。

1 Today 画面に切り替わります。

2 プログラムを起動します。スタートメニューに表示する項目は、**[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[メニュー]** をタップすると変更できます。

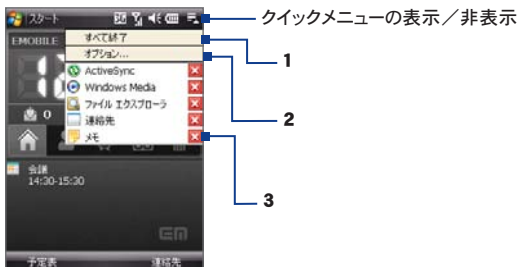
3 最近使ったプログラムが表示されます。

4 本機にインストールされているプログラムを表示します。

5 本機の設定を変更します。

6 現在の画面に関するオンラインヘルプを表示します。

1.8 クイックメニュー

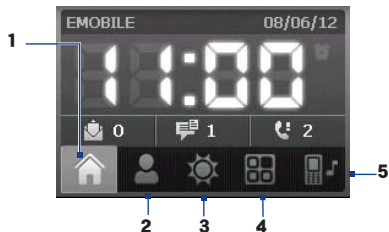
Today 画面の右上にあるクイックメニューで実行中のプログラムを確認できます。 実行中のプログラムの切り替えや停止をすばやく行うことができます。

1 実行中のプログラムをすべて終了します。

2 タスクマネージャを表示します。

3 プログラムの切り替えをするにはプログラム名をタップします。プログラムを終了するには ☒ をタップします。

1.9 HTCホーム

Today画面に表示される現在時刻や天気、不在着信や新着メールのアイコンが並んでいるエリアを「HTCホーム」と呼びます。

HTCホームは以下の5つの画面で構成されており、下段のアイコンをタップするか、ナビゲーションコントロール/Enterボタンを押して切り替えます。

1 ホーム画面を表示します。

2 連絡先画面を表示します。

3 天気画面を表示します。

4 ランチャー画面を表示します。

5 サウンド画面を表示します。

ホーム画面

ホーム画面には、 現在時刻や未読メールや不在着信などが表示されます。アラームを設定している場合は、 アラームアイコンも表示されます。

1 現在の時刻を表示します。タップすると、日付、時刻、アラームなどを設定することができます。

2 メールを表示します。右の数字は新着メールの件数を表します。

3 SMS／MMSを表示します。右の数字は新着メッセージの件数を表します。

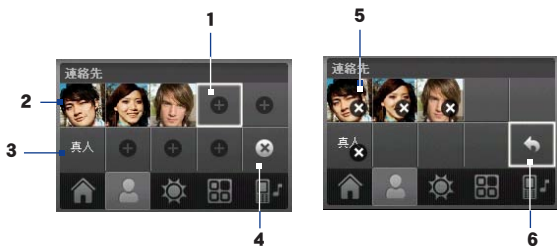
4 現在の日付を表示します。

5 アラームが設定されていることを表示します。

6 通話履歴を表示します。右の数字は不在着信の件数を表します。

連絡先画面

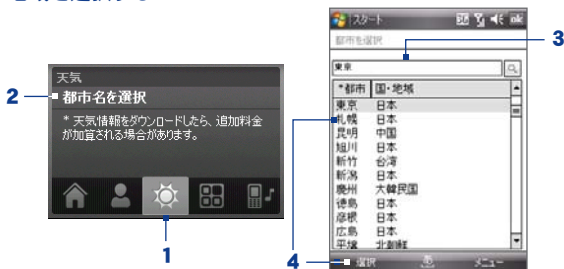
よく連絡をする相手を9つまで連絡先に登録して簡単に呼び出すことができます。

注意　EM chip（USIMカード）内の連絡先を登録するには、あらかじめ連絡先リストにコピーしてください。

注意　連絡先を変更するときは、登録済みの連絡先を削除してから新しい連絡先を登録してください。

1. 連絡先を登録します。
2. 登録している連絡先に電話をかけます。
3. 画像が登録されていない連絡先を表します。
4. タップすると、削除画面を表示します。
5. タップすると、連絡先を削除します。
6. 元に戻ります。

天気画面

天気画面には、 今日の天気情報が表示されます。また、 4 日後までの天気情報を見ることができます。 初めて使うときは、 地域を選択する必要があります。

地域を選択する

1 天気アイコン ( )を選択します。

2 **[都市名を選択]**をタップします。

3 都市名選択画面で天気予報を見たい都市名を入力し、( )をタップすると、該当する都市名を一覧の中から検索します。

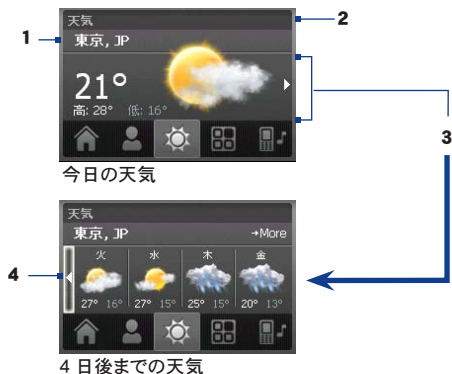
ヒント 都市一覧をスクロールしながら都市名を見つけ、選択することもできます。

4 都市一覧から都市名を選択し、**[選択]**をタップします。

注意 天気情報の取得には、通信接続が必要です。

天気情報の見かた

お住まいの地域を選択すると、インターネットに接続して自動的に今日と4日後までの天気情報をダウンロードします。天気画面には、現在の気温、最高／最低気温と天候が表示されます。

今日の天気

4 日後までの天気

1 他の都市を選択するときにタップします。

2 タップすると、最新の天気情報をダウンロードします。

3 タップすると、4 日後までの天気情報が表示されます。

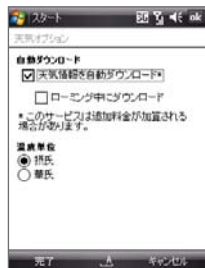
4 タップすると、本日の天気に戻ります。

ヒント 天気情報はワイヤレスLANによるインターネット接続中もダウンロードできます。

注意

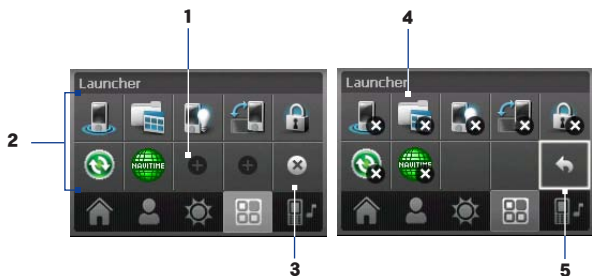
- 天気情報の更新が5日間行われなかった場合は、「選択した都市のデータを取得できません。ここから選択してもう一度お試しください。」というメッセージが表示されます。インターネットに接続後、メッセージが表示されている部分をタップすると、すぐに天気情報が更新されます。
- 気象庁発表の天気予報の情報とは異なります。

天気設定の変更

1. 都市名の表示されている部分をタップします。
2. 都市名選択画面で**[メニュー]** > **[天気オプション]**をタップします。
3. 以下の設定を変更できます。
   - **[自動ダウンロード]** にチェックを入れると、天気画面を開くたびに天気情報の更新状況を確認できます。最後に更新してから3時間以上経過している場合やActiveSync起動中は、天気情報を更新します。手動で天気情報を更新する場合は、このチェックを外してください。
   - ローミング中に天気情報を自動的にダウンロードしたいときのみ**[ローミング中にダウンロード]** にチェックを入れます。追加料金がかかる場合があります。
   - 温度の単位を摂氏で表示するか、華氏で表示するかを選択します。
   - 詳しい天気情報を確認するときは、都市選択画面で**[メニュー]** > **[天気について]** をタップし、AccuWeather Webサイトへアクセスしてください。

ランチャー画面

ランチャーによく使うプログラムや設定画面を登録しておくと、必要なときにすぐ呼び出すことができます。

お買い上げ時には、以下のアイコンが登録されています。これらのアイコンを削除して、他のプログラムや設定画面を登録することもできます。

- Comm Manager（P.168）
- プログラム画面を表示
- バックライトの明るさ切り替え
- 縦画面表示と横画面表示の切り替え
- キーロック
- ActiveSync

1 未登録のスロットをタップすると、アイコンを新規登録します。
2 タップすると、登録しているプログラムの起動や設定を行います。
3 タップすると、削除画面を表示します。
4 削除画面でタップすると、アイコンを削除します。
5 元に戻ります。

注意　登録されている機能を変更するときは、あらかじめ登録しているアイコンを削除してから他のプログラムや設定画面を登録してください。

サウンド画面

サウンド画面では、着信音を変更したり、着信時にサイレント（無音）やバイブレーションに設定することができます。

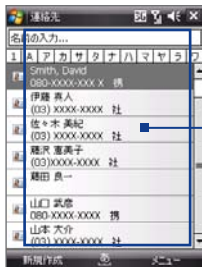
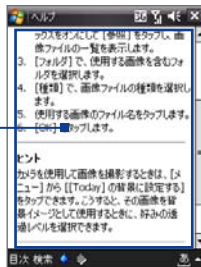
1　現在の着信音の設定を表示します。タップすると、サウンド設定画面を表示し、着信パターンや着信音を変更することができます。

2　設定するサウンドをタップします。 をタップすると、予定表に予定が入っている時間帯は**[バイブ]**に、それ以外のときは**[標準]**に自動的に切り替えます。

1.10 フィンガースクロールとパン操作について

指先を使ったスクロールやパン操作により、1画面に表示されない画面や文章を表示することができます。スクロールやパン操作は縦画面と横画面いずれでも利用できます。

フィンガースクロール

- 指を下方向にスライドすると、画面が上にスクロールします。
- 指を上方向にスライドすると、画面が下にスクロールします。

- 指を右方向にスライドすると、画面が左へスクロールします。
- 指を左方向にスライドすると、画面が右へスクロールします。
- スクロール中に画面をタップすると、スクロールが止まります。

注意　表示しきれない部分がある場合は、スクロールバーが表示されます。スクロールバーが表示されているときのみスクロール操作ができます。

フィンガーパン

- 指を画面に触れたまま上方向にドラッグすると、画面が下にパンします。下方向にドラッグすると、画面が上にパンします。
- 指を左方向にドラッグすると、画面が右へパンします。右方向へドラッグすると画面が左へパンします。
- 斜め方向にパンすることもできます。

注意　表示しきれない部分がある場合は、スクロールバーが表示されます。スクロールバーが表示されているときのみパン操作ができます。

連続パン

1. 指を境界部分に向かってドラッグします。Webページ、文章、メッセージがパンを続けます。

2. 指を離してパンを止めます。

サウンドのON/OFF

スクロール/パン中のサウンドのON/OFFを設定できます。

[スタート] > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[TouchFLO]**をタップし、**[フィンガースクロールとパンを実行時にサウンドを有効にする]** にチェックを入れるとONになります。チェックを外すとOFFになります。

1.11 ステータスアイコンについて

本機には次のようなステータスアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	タップすると、通知内容を表示
	新着SMS、留守番電話の通知
	MMS 送信中
	MMS 受信中
	送信 MMS
	未送信 MMS
	新着 MMS
	新着 Windows Live メッセージ
	不在着信
	スピーカーフォン オン
	ローミング
	アラーム
	ワイヤレスネットワーク検出
	Bluetooth ヘッドセット検出
	ActiveSync 通知
	同期エラー

アイコン	説明
G	GPRS 有効
E	EDGE 有効
H	HSDPA 通信が有効
3G	3G ネットワーク有効
	ワイヤレスLAN機能が有効（未接続）
	ワイヤレスネットワークに接続済み
	ワイヤレスLAN 経由で同期中
	接続有効
	接続無効
	同期中

アイコン	説明
	GPRS 接続確認中
	GPRS 使用中
	EDGE 接続確認中
	EDGE 使用中
	HSDPA 接続確認中
	HSDPA 使用中
	3G ネットワーク接続確認中
	3G ネットワーク使用中
	電波の受信レベル
	微弱電波状態
	電話機能オフ
	圏外
	オプションサービス検索中
	音声通話
	通話保留
	通話転送
	EM chip（USIMカード）が挿入されていないときにダイヤル
	EM chip が挿入されていません

アイコン	説明
	バイブモード
	サウンドオン
	サウンドオフ

アイコン	説明
	電池パック充電中
	電池パックは十分に充電されています
	電池残量が少なくなっています

1.12 プログラムについて

本機には次のようなプログラムがインストールされています。

スタートメニューのプログラム

アイコン	説明
	Office Mobile モバイル向けの Microsoft Office アプリケーションです。 **Excel Mobile** Microsoft Excel ワークブックの新規作成、表示、編集ができます。 **PowerPoint Mobile** Microsoft PowerPoint のスライドやプレゼンテーションを表示できます。 **Word Mobile** Microsoft Word ドキュメントを新規作成、表示、編集できます。 **OneNote Mobile** Microsoft OneNote ファイルを新規作成、表示、編集できます。
	予定表 カレンダーにスケジュールを登録します。
	連絡先 友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。
	Internet Explorer Mobile Web サイトを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。
	メール 電子メール、SMS/MMS の送受信ができます。
	電話 電話の発着信、通話の切り替えなどができます。
	ヘルプ プログラムのヘルプを読むことができます。

プログラム画面

アイコン	説明
	ゲーム Bubble Breaker とソリティアの2種類のゲームがあります。
	ActiveSync 本機と PC または Exchange Server の間で情報の同期ができます。
	Adobe Reader LE PDF (Portable Document Format) ファイルを閲覧することができます。
	Bluetooth Explorer ファイル共有が可能な他の Bluetooth デバイスを検索し、Bluetooth 共有フォルダにアクセスすることができます。
	Comm Manager 本機の通信 (ワイヤレスLAN、パケット通信、Bluetooth、ActiveSync を含む) の管理、電話のオン/オフの切り替え、マナーモードの切り替え、ダイレクトプッシュ機能のオン/オフの切り替えなどができます。
	Messenger モバイル版の Windows Live Messenger を利用できます。
	SIM マネージャ EM chip (USIMカード) に保存されている連絡先を管理します。また、EM chipに保存されているデータを本機の連絡先にコピーすることもできます。
	Windows Live MicrosoftのWindows Liveサービス (メール、メッセンジャー、スペース、サーチ) を利用できます。
	Windows Media Player Mobile ビデオやオーディオファイルを再生します。
	ZIP ファイルを通常の ZIP 形式に圧縮します。メモリを節約したり、メモリスペースを空けることができます。
	インターネット共有 本機からのインターネット接続を、他のPCなどから利用します。
	オーディオプレーヤー 音楽を再生します。
	カメラ 写真を撮影したり、音声付きビデオを撮影したりできます。
	クイック GPS 素早く現在位置を確認できるように、ActiveSync、ワイヤレスLAN、パケット通信などを経由してインターネットから衛星データをダウンロードします。

アイコン	説明
	ファイル エクスプローラ 本機のファイルを整理し、管理します。
	ボイスレコーダー 音声を録音し、メールで送信したり、ビームしたり、着信音として設定できます。
	ボイス短縮ダイヤル 音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行したりするために、音声（ボイスタグ）を録音して登録します。
	メモ 手書きのメモ、文字入力、ボイスメモの作成ができます。
	画像とビデオ 本機やmicroSDカードに保存されている写真、アニメーション GIF、ビデオファイルなどを表示および管理します。
	検索 本機に保存されている連絡先、データ、その他の情報を検索します。
	仕事 仕事の進捗などを管理できます。
	電卓 加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。
	NAVITIME 地図の検索や乗換案内などを利用できます。

1.13 各種設定

本機はユーザーに合わせてさまざまな設定を行うことができます。**[スタート]** > **[設定]** をタップした後、**[個人用]**、**[システム]** および **[接続]** タブをタップすると各種設定アイコンが表示されます。

個人用タブ

アイコン	説明
	Today Today 画面のデザインや情報をカスタマイズできます。
	オーナー情報 本機に個人情報を入力できます。
	キーボードスライディングサウンド 本機を開閉するときの効果音を設定できます。
	ボイス短縮ダイヤル 音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行するための音声（ボイスタグ）を管理したり、録音して登録することができます。
	ボタン ハードウェアボタンにプログラムや機能を割り当てることができます。
	メニュー スタートメニューに表示するプログラムの設定ができます。
	ロック パスワードの設定ができます。
	入力 各入力方式にオプションの設定ができます。
	電話 着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、USIM/SIM カードに暗証番号（PIN）を設定できます。
	音と通知 イベントやプログラムの動作音のオン／オフ、およびイベントごとの通知音やバイブレーションなどを設定できます。

システムタブ

アイコン	説明
	TouchFLO タッチスクリーンをスクロールしたり、パンするときの効果音のオン／オフを設定します。
	Windows Update Microsoft の Web サイトへリンクし、本機の Windows Mobileを最新のセキュリティパッチや修正版に更新します。
	エラー報告 本機のエラー報告機能の有効／無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムと本機の状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、Microsoftのテクニカルサポートセンターにログが送信されます。
	キーロック 電源ボタン以外のボタンでスリープモードが解除されないようにロックし、電池の消費を抑えます。
	ストレージをクリア メモリからすべてのデータとファイルを消去し、本機を工場出荷時の初期設定に戻します。
	タスクマネージャ 終了ボタン（ ✕ ）でプログラムを終了するか、またはプログラム画面を非表示にするかを設定します。詳しくは「12.3 タスクマネージャ」(P.223)をご覧ください。
	バックライト バックライトのタイムアウト時間と明るさを設定できます。
	バージョン情報 本機で使用されている Windows Mobile バージョンやプロセッサタイプなどの基本情報が表示されます。本機に名前を設定することもできます。
	プログラムの削除 本機にインストールしたプログラムを削除できます。
	マイクロフォンAGC 録音中に自動的に音量調節します。
	メモリ 本機のメモリ割り当て状態とmicroSDカード情報を表示します。また現在実行中のプログラムを終了できます。
	地域 使用する言語や、本機で表示する数字、通貨、日時の形式を設定できます。

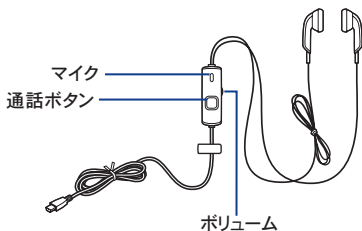
アイコン	説明
	外付け GPS 必要に応じて適切な GPS 通信ポートを設定します。本機に GPS にアクセスするプログラムがインストールされている場合や、本機に GPS 受信機を接続してある場合に必要となります。詳しくは外付けGPSを開いているときに、**[スタート]** > **[ヘルプ]**をタップして表示される本機のヘルプをご覧ください。
	時計とアラーム 旅行中など、本機の日付と時刻を現地時間に合わせて調整することができます。特定の曜日と時刻にアラームを設定することもできます。
	暗号化 microSDカードに保存されるファイルを暗号化します。暗号化されたファイルは、本機でのみ読み取り可能となります。
	画面 画面の向きの変更やタッチスクリーンの補正、文字サイズの変更ができます。
	装置情報 ファームウェアのバージョン、ハードウェア、ID、通話時間などの情報を表示します。
	証明書 本機にインストールされている証明書についての情報を表示します。
	電源 電池残量を表示します。また、電池を節約するために、画面をオフにし、本機をスリープモードに切り替えるまでのタイムアウト時間を設定できます。

接続タブ

アイコン	説明
	Bluetooth Bluetooth機能をオンにして、本機を検出可能モードに設定すると、他の Bluetooth デバイスから本機を検出することができます。
	Comm Manager 本機の通信（ワイヤレスLAN、パケット通信、Bluetooth、ActiveSync を含む）の管理、電話のオン/オフの切り替え、マナーモードの切り替え、ダイレクトプッシュ機能のオン/オフの切り替えなどができます。
	CSD ラインの種類 CSD（Circuit Switch Data）接続を行うときに使用する回線の種類を設定できます。接続を確立できない場合を除き、通常は設定を変更する必要はありません（3Gでは使用できません）。
	GPRS の設定 GPRS 認証方式を設定します（3Gでは使用できません）。

アイコン	説明
	PC への USB 接続 ActiveSyncで本機とPCが正しく接続されないとき、シリアルUSB接続に切り替えます。詳しくは「同期接続に関する問題」(P.117)をご覧ください。
	SMS サービス SMSを使用するためのネットワークを選択します(3Gでは使用できません)。
	Wi-Fi 有効なワイヤレスネットワークを検出します。
	ビーム 本機が Bluetoothの着信ビームを受信するかどうかを設定します。
	ワイヤレス LAN 有効なワイヤレスネットワークに関する情報を表示し、ワイヤレスLAN 設定をカスタマイズします。
	接続 本機がインターネットやプライベートのローカルネットワークに接続できるように、ダイヤルアップ、パケット通信、Bluetoothなどのモデム接続を設定します。

1.14 イヤホンマイクについて

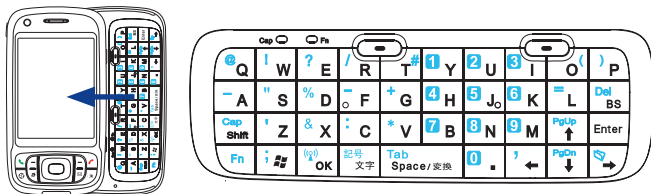
各部の名称

操作方法

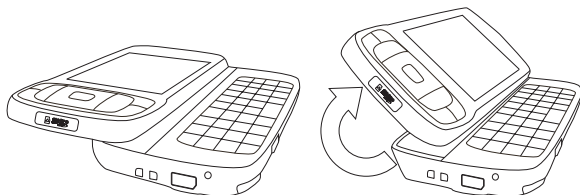
通話	電話に出る：通話ボタンを押します。 電話を切る：通話中に通話ボタンを長押しします。
保留	通話中に通話ボタンを押します。
リダイヤル	通話ボタンを素早く2回押すと、直前にかけた番号にリダイヤルします。
スピードダイヤル	通話ボタンを長押しすると、音声でダイヤルします。 ※事前にボイスタグと電話番号を登録しておく必要があります。
音量調節	ボリュームを回して音量を調節します。

第2章

情報の入力と検索

2.1 ハードウェアキーボードを使う

本機には、PC の標準キーボードと同じようなキー配列の **QWERTY** キーボードが付属しています。ハードウェアキーボードを使用するときは、表示部を左へスライドさせて開きます。

画面角度を調整する

ハードウェアキーボードを開いた後、画面の反射を軽減するために画面角度を調整することができます。

注意　画面の最大角度は40度です。無理に力を加えると故障の原因となりますのでご注意ください。また、必ず画面を水平に戻してから本体を閉じてください。

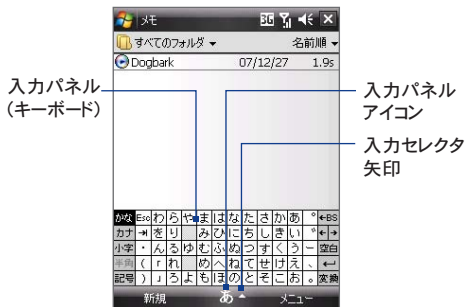
QWERTY キーボードの使用方法は次のとおりです。

- 入力する文字の種類（ひらがな、全角／半角カタカナ、全角／半角英数字）を切り替えるには、【記号/文字】キーを押してください。
- 小文字を入力するには、そのままキーを押してください。
- 大文字を入力するには、まず Fn を押してから Cap Shift を押してください。小文字入力に戻るには、Cap Shift を押してください。

- 1回だけ大文字を入力するには、Cap Shift を押してから文字キーを押してください。
- 数字や記号（キーボード上の青文字）を入力するには、Fn を押してから文字キーを押してください。
- 記号パッドを開くには、Fn を押してから 記号 文字 を押してください。
- 左右のソフトキー / を押すと、キーの上方に表記されたコマンドを実行します。
- OK を押すとデータ入力を確認します。また、使用中のプログラムを終了します。
- ; を押すとスタートメニューを開きます。
- 矢印キー PgUp ↑ / PgDn ↓ / ， ← / → を押して上下左右に動かします。

2.2 情報を入力する

プログラムを起動したり、文字や数字を入力する欄を選択すると、メニューバーの**入力パネル**アイコンが有効になります。

入力セレクタ矢印（**入力パネル**アイコンの隣）をタップし、メニューを開きます。このメニューで文字の入力方法を選択したり、入力オプションをカスタマイズできます。文字の入力方法を選択すると、文字を入力するための**入力パネル**が表示されます。入力パネルの表示／非表示を切り替えるには、**入力パネル**アイコンをタップしてください。

アイコン	入力方法
	記号入力
	ひらがな／カタカナ
	ローマ字／かな
	手書き検索
	手書き入力

オプション…　(A)
Symbol Pad
• ひらがな/カタカナ　(B)
ローマ字/かな　(C)
手書き検索　(D)
手書き入力　(E)

2.3 入力パネルを使う

文字入力時には画面上のキーボードを使用することもできます。画面に表示されたキーボードのキーをタップすると、文字が入力されます。

入力パネルによる文字入力

1. 任意のプログラムを開き、**入力セレクタ**矢印をタップし、**ひらがな/カタカナ**または**ローマ字/かな**をタップします。
2. 画面上に表示された入力パネルのキーをタップして文字を入力します。

2.4 ひらがな/カタカナを入力する

ひらがなやカタカナを選択して入力するパネルです。

1. 入力パネルが表示されている状態で **[▲]**（入力セレクタ矢印）> **[ひらがな/カタカナ]** をタップします。
2. 入力パネルでタップした文字が入力されます。
   - **[かな]**: ひらがなの入力
   - **[カナ]**: カタカナの入力
   - **[小字]**: 拗音の入力
   - **[記号]**: 記号の入力
   - **[半角]**: 半角文字の入力
   - **[変換]**: 漢字変換

2.5 ローマ字/かなを入力する

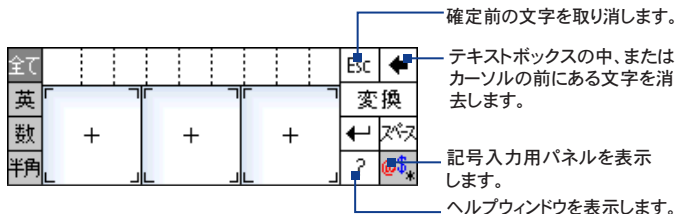
ローマ字で日本語を入力したり、アルファベットを直接入力するパネルです。

1. 入力パネルが表示されている状態で **[▲]**（入力セレクタ矢印）> **[ローマ字/かな]** をタップします。
2. 入力パネルでタップした文字が入力されます。
   - **[かな]**: ひらがなの入力
   - **[カナ]**: カタカナの入力
   - **[英数]**: アルファベットの入力
   - **[記号]**: 記号の入力
   - **[半角]**: 半角文字の入力
   - **[変換]**: 漢字変換

かな	Esc	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	−	←BS
カナ	⇥	q	w	e	r	t	y	u	i	o	p	@	← →
英数	Cap	a	s	d	f	g	h	j	k	l	;	:	
半角	⇧	z	x	c	v	b	n	m	、	。	・	\	↵
記号	Ctl	^								¥	「	」	変換

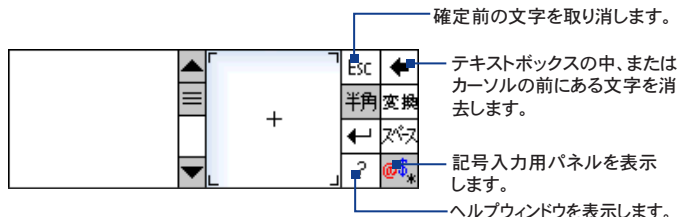
2.6 手書きで文字を入力する

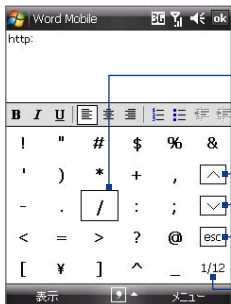
手書きによって、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号を入力するパネルです。漢字の入力には、かな漢字変換を行うか、漢字を直接手書きして入力することができます。

1. 入力パネルが表示されている状態で **[▲]**（入力セレクタ矢印）> **[手書き入力]** をタップします。
2. 3つの入力ボックスに、スタイラスペンを使って文字を書き込みます。書き込んだ文字が活字になって表示されます。
   - **[全て]**: 漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号など、すべての文字の候補を表示
   - **[英]**: アルファベットのみの候補を表示
   - **[数]**: 数字のみの候補を表示

ヒント
- 文字の書き込みは続けずに一画ずつはっきりと書き込んでください。
- 漢字はなるべく正しい書順で書き込んだほうが候補に現れやすくなります。
- 3つの入力エリアに順番に書き込んでいくと、一番左側の候補が自動的に文中に入力されます。

2.7 手書きで文字を検索する

手書き入力で、書き込んだ文字の画数が多すぎるなど、正しく認識されない場合、手書き検索を利用します。

1. 入力パネルが表示されている状態で **[▲]**（入力セレクタ矢印）> **[手書き検索]** をタップします。
2. 入力ボックスに、スタイラスペンを使って検索したい文字を書き込みます。書き込みを進めていくにつれて、検索された文字が左側に表示されます。検索された文字が多い場合、スクロールバーを上下に動かしてください。

2.8 Symbol Padの使い方

Symbol Padには、括弧、カギ括弧、通貨記号などの一般的な記号や、句読点、特殊文字などが表示されます。

Symbol Padを開いて記号を選択する

1. Word文書などの文書を作成するか、または開きます。
2. Symbol Padを開くには:
   - **入力セレクタ**矢印をタップして、**Symbol Pad**をタップします。

   または

   - ハードウェアキーボードで Fn を押し、 記号文字 を押します。
3. 記号ページをブラウズするには、Symbol Pad画面で ∧ / ∨ をタップします。
4. 記号をタップするとその記号が選択され、Symbol Padを閉じます。選択した記号は文章に挿入されます。

2.9 メモを使って描画、手書き、ボイスメモの録音を行う

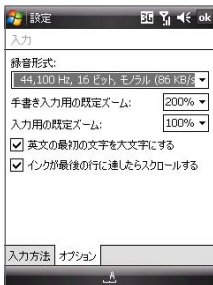
メモを使用すると、画面上に直接描画したり、文字を書いたり、手書きでメモを作成したりすることができます。ボイスメモを録音したり、録音をメモに追加したりすることも可能です。

メモの詳細については、「6.6 メモ」(P.133)をご覧ください。

2.10 入力に関するオプション

入力方法に関する設定や、単語登録などを行うことができます。

1. 入力パネルが表示されている状態で［ ▲ ］（入力セレクタ矢印）＞**［オプション］**をタップします。
2. **［オプション］**ボタンをタップすると、入力方法に関する設定を行えます。
   - **Symbol Pad**：バージョン情報の表示。
   - **ひらがな/カタカナ、ローマ字/かな**：単語登録、登録した単語の編集。
   - **手書き入力、手書き検索**：手書きに関するオプションの設定。

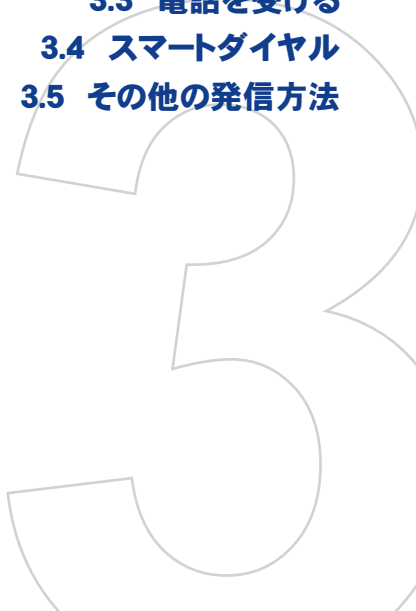
3. **［オプション］**タブをタップすると、録音形式や既定ズームなどの設定を行えます。

2.11 情報を検索する

My Documents フォルダまたは本機のmicroSDカードに保存されたファイルやその他のアイテムを検索することができます。ファイル名で検索したり、またはアイテムに含まれる単語で検索できます。たとえば、電子メール、メモ、仕事、オンラインヘルプなどに含まれる情報を検索できます。

ファイルやアイテムを検索する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[検索]** をタップします。
2. **[検索]** 欄で次のように入力します。
   - 検索したいファイルの名前、単語、その他の情報を入力します。
   - 下矢印アイコン (▼) をタップし、検索履歴の中からどれか1つを選択します。
3. **[種類]** 欄で下矢印アイコン (▼) をタップし、リストからデータタイプを選択すると、検索を絞り込むことができます。
4. **[検索]** をタップします。**「My Documents」** フォルダとサブフォルダの中で条件と一致するファイルの検索が始まります。
5. **[結果]** リストでアイテムをタップすると、そのアイテムを開くことができます。

注意　microSDカードに保存されているファイルは、名前の隣に 記号が表示されます。

第3章
電話機能の使い方

3.1 電話を使う

本機は、通常の携帯電話と同じように、電話の発信、着信、通話履歴の確認、SMS の送受信などを行うことができます。また、連絡先から直接ダイヤルしたり、電話帳を EM chip（USIMカード）から本機の連絡先にコピーしたりすることもできます。

電話画面

電話画面では通話履歴、スピードダイヤル、電話設定などの機能を使用できます。電話画面を表示するには、次のいずれかの操作を行ってください。

- **［スタート］**＞**［電話］**をタップします。
- 通話ボタン（ ）を押します。

暗証番号（PIN）の入力

EM chipには、第三者による無断使用を防ぐため、「PINコード」という暗証番号が設定されています。お買い上げ時には、「9999」に設定されています。

1. 暗証番号（PIN）を入力します。
2. **Enter** を押します。

注意
- PIN コードの入力を 3 回連続して間違えると PIN ロック状態になります。この場合、PIN ロック解除コードを入力してロックを解除する必要があります。
- 「PIN ロック解除コード」については、お問い合わせ先（P.253）までご連絡ください。
- PIN ロック解除画面で PIN ロック解除コードと新しい PIN コードを入力すると、PIN ロックを解除することができます。
- PIN ロック解除コードを 10 回連続で間違えるとロック解除ができなくなります。この場合、有償で EM chip を再発行する必要がありますので、ご了承ください。

電話機能をオン/オフする

航空機内や医療機関の中などで携帯電話の電源を切らなければならない場合があります。

次のいずれかの方法で本機の通信機能をオフにします。

- **[スタート]** > **[プログラム]** > **[Comm Manager]** をタップします。Comm Manager の画面で **[通話]** ボタンをタップし、電話機能をオフにします。

  電話機能をオンにするには、再度 Comm Manager 画面で **[通話]** ボタンをタップします。

- Comm Manager で **[フライトモード]** ボタンをタップします。フライトモードでは、電話機能、Bluetooth、ワイヤレスLAN を含むすべてのワイヤレス機能が無効となります。

  電話機能をオンにするには、再度 Comm Manager で **[フライトモード]** ボタンをタップします。これで Bluetoothはフライトモードがオンになる前の状態に戻りますが、ワイヤレスLAN は無効なままとなります。

注意　医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。

本機の音量を調節する

1. **スピーカー**アイコン（ ）をタップします。
2. **音量**では次の項目を調節できます。
   - スライダーを上下に動かし、着信音量（ ）またはシステム音量（ ）を調節します。
   - **オン**、**バイブ**、**オフ**をタップすると、システム音と着信音の両方とも変更できます。

音量調整

注意
- 通話中の音量調節は、通話中に行ってください。通話中以外に音量を調節すると、着信音、通知音、楽曲の音量などが調節されます。
- バイブレートモードに設定されているときには、自動的に無音になり、着信があったときは振動で通知します。タイトルバーにバイブレートモードが設定されていることを示すアイコン（ ）が表示されます。

3.2 電話をかける

本機では、**電話画面**、**連絡先**、**スピードダイヤル**、**通話履歴**、**SIM マネージャ**から発信することができます。

電話画面から発信する

1. 通話ボタン（ ）を押します。
2. 電話画面で電話番号をタップし、通話ボタン（ ）を押します。

電話画面

ヒント　間違った番号を入力した場合は、後退（ ）をタップすると番号が1桁ずつ消去されます。後退をタップしたままにすると、番号全体が消去されます。

連絡先から発信する

[スタート] > **[連絡先]** をタップし、次のいずれかの方法で発信します。

- ナビゲーションコントロールの上下ボタンを使って連絡先を選択し、通話ボタン（ ）を押します。
- 連絡先で相手を選択し、かけたい電話番号をタップします。
- かけたい相手を連絡先でタップしたままにし、ショートカットメニューで **[勤務先に電話する]**、**[自宅に電話する]**、または **[携帯電話に電話する]** のいずれかをタップします。

連絡先の相手の番号のうち、電話をかける電話番号を1つ選択するには

連絡先から電話をかける場合、既定では連絡先の中にある携帯電話番号（携）に電話をかけるよう設定されています。携帯電話にかけたくない場合は、別の番号を指定することもできます。

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップします。
2. ナビゲーションコントロールボタンの上下を使って連絡先を選択します。
3. ナビゲーションコントロールボタンの右または左を押します。スクロールすると、各番号を表す文字（携、社、家など）が変化します。

通話履歴から発信する

1. 電話画面で をタップします。
2. 通話履歴のすべての通話を確認することもできますが、**[メニュー]** > **[フィルタ]** をタップすると通話履歴を種類別に表示することができます。
3. 連絡先または電話番号を選択し、**[ダイヤル]** をタップしてください。

スピードダイヤルから発信する

よくかける連絡先を**スピードダイヤル**に登録しておくと、1回タップするだけで発信できます。たとえば、ある連絡先をスピードダイヤル番号**2**に設定しておくと、電話画面の **2** をタップしたままにするだけでこの連絡先に電話をかけることができます。スピードダイヤルを登録する場合、まず目的の番号を連絡先に保存する必要があります。

スピードダイヤルを登録する

1. 電話画面で **[メニュー]** > **[スピードダイヤル]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[新規作成]** をタップします。
3. 連絡先をタップします。スピードダイヤルに追加する番号を選択します。
4. **[短縮番号]** で新しく設定するスピードダイヤルの番号を選択します。
5. **[ok]** をタップします。

注意　短縮番号**1**は留守番電話用に割り当てられています。既定では、スピードダイヤル**2**から順に割り当てられます。すでにスピードダイヤルが設定されている番号に別の電話番号を割り当てると、新しい番号が有効となり、元の電話番号は自動的に上書きされます。

ヒント
- 連絡先からスピードダイヤルを登録するには、連絡先の名前をタップし、電話番号を選択して、**[メニュー]** > **[スピードダイヤルに追加]** をタップし、スピードダイヤルを設定する番号を選択します。
- スピードダイヤルを削除するには、**スピードダイヤル**リストで削除したいスピードダイヤルをタップしたまま **[削除]** をタップします。

SIM マネージャから発信する

SIM マネージャの画面では、EM chip（USIMカード）に保存された連絡先を表示したり、EM chipの連絡先のアイテムを本機の連絡先にコピーしたり、EM chipから通話を発信することができます。

EM chip の連絡先に発信する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[SIM マネージャ]** をタップします。EM chip の内容を表示するまで、しばらくお待ちください。
2. 電話をかける相手の名前または電話番号を選択し、**[メニュー]** > **[ダイヤル]** をタップします。

SIMマネージャの詳細については、「6.3 SIMマネージャ」（P.125）をご覧ください。

3.3 電話を受ける

着信があると画面にメッセージが表示され、応答するか、拒否するかを選択することができます。

着信に応答/拒否する

- 応答する場合は、**[応答]** をタップするか、通話ボタンを押します。
- 拒否する場合は、**[拒否]** をタップするか、終了ボタンを押します。

通話を終了する

通話中に終了ボタンを押すと電話を切ることができます。

通話履歴を確認する

不在着信があると、タイトルバーに不在着信アイコン（　）が表示されます。次のいずれかの方法で不在着信を確認してください。

- 不在着信アイコン（　）をタップし、**[表示]**をタップします。

- 電話画面で通話履歴ボタンをタップします。通話履歴一覧から不在着信を確認します。

通話を保留する（別途当社のオプションサービスへの加入が必要です）

着信があると、この着信を拒否するか、応答するかを選択することができます。通話中に別の着信があった場合、相手を切り替えることもできます。

1. 通話中に別の着信に応答するには、**［応答］**をタップし、最初の通話を保留にします。
2. 2 つ目の通話を終了して最初の通話に戻るには、終了ボタンを押します。

2つの通話を切り替える（別途当社のオプションサービスへの加入が必要です）

- **［切り替え］**をタップします。

スピーカーフォンをオン/オフにする

本機に内蔵されているスピーカーフォンは、ハンズフリーで話をしたり、別の人にも話を聞かせるときに便利です。

- 通話中に**［スピーカーオン］**をタップするか、スピーカーフォンがオンになるまで通話ボタンを押したままにしてください。タイトルバーにスピーカーフォンアイコン（ ）が表示されます。
- スピーカーフォンをオフにするには、**［スピーカーオフ］**をタップするか、スピーカーフォンがオフになるまで通話ボタンを押したままにしてください。

警告! スピーカーフォンがオンになっているときには、本機を耳に当てないでください。

通話をミュートする

通話中にマイクをオフにし、相手の声はそのままにして、自分の声が相手に聞こえないようにすることができます。

- 通話中に**［ミュート］**をタップします。
- マイクがオフになると、画面にミュートアイコン（ ）が表示されます。**［ミュート解除］**をタップすると、マイクはオンになります。

3.4 スマートダイヤル

スマートダイヤルを使うと簡単に電話をかけることができます。電話番号や相手の名前の入力を始めると、スマートダイヤル機能が自動的に USIM/SIM カード、連絡先、通話履歴（着信、発信、不在着信履歴）の中を検索し、該当する連絡先の候補を絞り込んでいきます。この候補の中から、かけたい電話番号や相手を選択できます。

スマートダイヤルの使用に関するヒント

スマートダイヤル機能は、入力された順に該当する電話番号や連絡先を検索します。スマートダイヤル機能を使って素早く電話番号や連絡先を見つけるには、以下のヒントを参考にしてください。

電話番号を見つけるには

- 通話履歴から見つけるには、電話番号の最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 連絡先から見つけるには、電話番号の最初から 3 桁以上を入力します。

連絡先の名前を見つけるには

連絡先の名または姓の最初の文字だけ入力してください。スマートダイヤルは、連絡先の名前を最初の文字から順に検索します。また、連絡先の名前に含まれる、スペース、ハイフン、アンダースコアなどに続く文字も検索します。たとえば、「2」のキーをタップしたとします。「2」のキーは「a」、「b」、「c」のキーでもあるので、それぞれのアルファベットで始まる名または姓が検出されます。

さらに絞り込みたい場合は、次のアルファベットをタップします。

注意　スマートダイヤルは、アルファベットの名前に対してのみ対応しています。

スマートダイヤルを使った通話発信や SMS 送信

1. 通話ボタンを押して電話画面を表示します。
2. 最初の何桁か数字または文字を入力します。
3. ナビゲーションボタンの上下を使って連絡先または電話番号を選択します。
   該当する連絡先や電話番号がスマートダイヤルパネルに表示されます。
4. 次のいずれかの方法で電話またはSMSを発信します。
   - 電話をかける連絡先をタップしたままにし、ポップアップメニューからかける電話番号をタップして音声通話を発信します。
   - 選択された連絡先に SMS を送信するには、連絡先をタップしたままにし、ポップアップメニューから **[SMS の送信]** をタップします。

連絡先をタップしたままにすると、その連絡先に登録されている電話番号の一覧が表示されます。

ヒント 選択した連絡先に関する情報を表示したり、編集したりする場合は、連絡先をタップしたままにし、ポップアップメニューから [**プロパティ**] をタップします (本機の連絡先に保存されているもののみ)。

3.5 その他の発信方法

緊急電話番号への発信

- 緊急電話番号（110、119、118）を入力し、**[通話]** をタップします。

第4章

設定と管理

4.1 各種設定

オーナー情報

Today 画面にオーナー情報を表示することができます。

オーナー情報を入力する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[オーナー情報]** をタップします。
2. **[オーナー情報]** タブで個人情報を入力します。

ヒント Today 画面にオーナー情報が表示されていない場合は、**[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[Today]** をタップします。**[アイテム]** タブで **[オーナー情報]** のチェックボックスを選択します。

本機をオンにしたときにオーナー情報を表示する

本機の電源を入れたときに、「マイインフォ」画面が表示されるように設定することができます。この画面にはユーザーの個人情報が表示されます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[オーナー情報]** をタップします。
2. **[オプション]** タブで **[オーナー情報]** にチェックを入れます。
3. その他の説明を表示したい場合は、**[メモ]** タブをタップし、説明を入力してください (例: 拾った方はお届けください)。
4. **[オプション]** タブで **[メモ]** にチェックを入れ、**[ok]** をタップします。

日付と時刻

日付と時刻を設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[時計とアラーム]** > **[時刻]** タブをタップします。
2. 現在地を選択し、日付または時刻を変更します。

注意 同期を行うと、本機の時刻は PC の時刻に合わせて変更されます。PC との同期に関する詳細は、「5.4 PCと同期する」(P.115)をご覧ください。

別の場所の日付と時刻を設定する

別のタイムゾーンを訪れたり、別の場所にいる人と通信する場合は、その場所を訪問先のタイムゾーンとして設定することができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[時計とアラーム]** > **[時刻]** タブをタップします。
2. **[訪問先]** をタップします。
3. 正しいタイムゾーンを選択し、日付または時刻を変更します。

地域設定

本機での数字、通貨、日付、時刻の表示方法は地域設定により変更することができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[地域]** をタップします。
2. **[地域]** タブで、一覧から使用する地域を選択します。

   注意 地域設定を変更しても、本機のオペレーティングシステムの言語は変更されません。

3. 選択された地域により、他のタブで使用可能となるオプションが若干異なります。
4. さらに詳細設定を行う場合は、該当するタブをタップし、設定するオプションを選択してください。

4.2 Today 画面をカスタマイズする

Today 画面には予定、仕事、受信メッセージに関する情報などが表示されます。Today 画面に表示されるアイテムは自由にカスタマイズすることができます。

Today 画面をカスタマイズする

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[Today]** をタップします。
2. **[デザイン]** タブで、Today 画面に使用する好きな背景テーマを選択します。
3. **[アイテム]** タブでは Today 画面に表示したいアイテムを選択できます。

ヒント Today 画面に表示されるアイテムの順序を変更するには、アイテムをタップし、**[上へ移動]** または **[下へ移動]** をタップします。

オリジナルの背景画像を使用する

自分自身が用意したオリジナルの写真を Today 画面の背景として使用することもできます。ただし、背景画像によっては Today 画面の文字が読みにくくなる場合がありますのでご注意ください。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[Today]** をタップします。

2. **[この画像を背景に使用する]** にチェックを入れ、**[参照]** をタップして画像ファイルの一覧を表示します。
3. 背景として使用する画像のファイル名をタップします。
4. **[ok]** をタップします。

Today 画面に予定を表示する際のオプション

予定が多い場合は、Today 画面に表示される予定の種類を指定することができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[Today]** をタップします。
2. **[アイテム]** タブをタップします。
3. **[予定表]** を選択し、**[オプション]** を選択します。
4. 次のいずれかの方法で表示する予定を設定できます。
   - **[次の予定のみ]** を選択すると、予定表にある次の予定のみを表示します。**[近い将来の予定]** を選択すると、複数の予定を表示できます。
   - 終日イベントを表示しない場合、**[終日イベントを表示する]** のチェックを外します。

予定表の使い方に関する詳細は、「6.4 予定表」(P.127)をご覧ください。

Today 画面に仕事を表示する際のオプション

仕事が多い場合は、Today 画面に表示される仕事の種類を指定することができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[Today]** をタップします。
2. **[アイテム]** タブをタップします。
3. **[仕事]** を選択し、**[オプション]** を選択します。
4. 次のいずれかの方法で表示する仕事を設定できます。
   - **[表示する仕事]** で Today 画面に表示する仕事の種類を選択します。
   - **[分類項目]** のリストで特定の分類項目の仕事のみ表示するか、またはすべての仕事を表示するかを選択します。

仕事の使い方については、「6.5 仕事」(P.131)もご覧ください。

スタートメニューをカスタマイズする

スタートメニューに表示されるアイテムを選択することができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[メニュー]** をタップします。
2. スタートメニューに表示するアイテムのチェックボックスにチェックを入れます。最高7つまで選択できます。

ヒント スタートメニューの**[プログラム]**や**[Office Mobile]**にフォルダやショートカットを作成することもできます。PCのActiveSyncで**[エクスプローラ]**をクリックしてください。Mobile Deviceウィンドウで**[マイWindows Mobileデバイス]** > **[Windows]** > **[スタートメニュー]**をダブルクリックして、表示したいフォルダやショートカットを作成します。追加したアイテムは、同期後に表示されます。PCとの同期については、「5.4 PCと同期する」(P.115)をご覧ください。

4.3 電話の設定とサービスをカスタマイズする

電話の着信音や着信パターン、番号を入力するときのボタン音など、電話の各種設定をカスタマイズできます。また、割込通話サービス、転送電話サービスなどの設定ができます。

電話の設定とサービスをカスタマイズする

- 電話画面で **[メニュー]** > **[オプションの表示]** をタップします。
- **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[電話]** をタップします。

着信音を設定する

着信音や着信パターンを変更する

1. 電話画面で **[メニュー]** > **[オプションの表示]** > **[電話]** タブをタップします。
2. **[着信音]** のリストから使用するサウンドをタップします。

   注意 インターネットからダウンロードしたり、PC からコピーした **wav**、**mid** ファイルを着信音として使用することもできます。まずサウンドファイルを本機の /Windows/Rings フォルダにコピーし、このサウンドを着信音リストから選択して設定します。ファイルのコピー方法に関する詳細は、「8.3 ファイルをコピー/管理する」(P.162)をご覧ください。

3. **[着信パターン]** のリストでは、着信時に着信音をどのパターンで鳴らすかを選択します。

キーパッド音

キーパッドで番号を入力するときのボタン音を変更することができます。操作音（長）に設定すると、ボタンを押している間はずっと音を発します。留守電からメッセージを聞くなど、トーンによる操作で問題が生じた場合は、こちらを使用してください。操作音（短）に設定すると、ボタンを押したときに1～2秒だけ音を発します。オフに設定すると、操作音は聞こえません。

1. 電話画面で **[メニュー]** > **[オプションの表示]** > **[電話]** タブをタップします。
2. **[キーパッド]** リストで任意のオプションをタップします。

オプションサービス

本機を直接携帯電話ネットワークに接続し、さまざまなオプションサービスの設定を変更することができます。オプションサービスには、転送電話サービス、割込通話サービス、留守番電話サービスなどが含まれます。

オプションサービス	設定項目	内　容
発着信規制サービス	**[発着信制限]**	電話をかけたり、受けたりすることについて、状況に合わせて制限することができます。
発信者番号通知サービス	**[発信者番号通知]**	お客さまの電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。
転送電話サービス	**[自動転送]**	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を設定した番号へ転送します。
割込通話サービス	**[割り込み通話]**	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けることができます。また、通話相手を切り替えることもできます。
留守番電話サービス	**[ボイスメールとSMSメッセージ]**	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

オプションサービスを確認または変更する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[電話]** > **[サービス]** タブをタップします。

2. 使用するサービスを選択し、**[設定の取得]** をタップします。
3. オプションを選択し、**[ok]** をタップします。

ネットワーク

使用可能な携帯電話のネットワークを確認し、現在のネットワークが使用できないときに別のネットワークにアクセスする順番を決定し、その後でネットワークを手動または自動のどちらで変更するかを指定することができます。ネットワーク設定についての詳細は、本機のヘルプをご覧ください。

利用できるネットワークを確認するには

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]**タブ > **[電話]** > **[ネットワーク]**タブをタップします。
2. **ネットワークの選択**欄から**[手動]**を選択します。利用可能なネットワークが表示されます。

優先ネットワークを設定するには

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]**タブ > **[電話]** > **[ネットワーク]**タブをタップします。
2. **[ネットワークの検索]**をタップし、**[優先するネットワーク]**画面の指示にしたがって、優先するネットワークの選択および順番を設定します。
3. **[ok]**をタップし、**[ネットワーク]**タブに戻ります。
4. **[ネットワークの選択]**のプルダウンリストの中から**[自動]**を選択します。
5. **[ok]**をタップします。

4.4 本機を保護する

暗証番号（PIN）で EM chip（USIMカード）を保護する

暗証番号（PIN）を設定することで、EM chipが不正にアクセスされるのを防ぐことができます。既定の暗証番号（PIN）は「9999」に設定されています。後から暗証番号（PIN）を変更することができます。

1. 電話画面で **[メニュー]** > **[オプションの表示]** > **[電話]** タブをタップします。
2. **電話使用時に暗証番号（PIN）を要求**にチェックを入れます。
3. 暗証番号（PIN）は、**[暗証番号（PIN）の変更]** をタップすると、いつでも変更できます。

ヒント 緊急電話番号（110、119、118）は暗証番号（PIN）を入力しなくてもいつでも発信できます。

パスワードで本機を保護する

パスワード保護を利用すると、不正アクセスから本機を保護することができます。本機の電源を入れるたびにパスワードが要求されるので、本機のデータを確実に守ることができます。本機を使い始めるときに、独自のパスワードを設定します。

パスワードを設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[ロック]** をタップします。
2. **パスワード入力が必要になるまでの時間**にチェックを入れ、右側にパスワード入力が必要となるまでの時間を入力します。**[パスワードの種類]** の欄で使用するパスワードの種類を選択します。パスワードを入力し、必要に応じて確認のため再入力します。
   本機がネットワークに接続するよう設定されている場合は、英文字と数字を組み合わせたパスワードを使用するとセキュリティ効果が高まります。
3. **[ヒント]** タブでパスワードを忘れた場合のヒントとなる説明を入力します。他人が考え付きやすいパスワードやヒントは避けてください。
4. **[ok]** をタップします。次に本機の電源を入れたときに、パスワードの入力が要求されます。

注意
- 間違ったパスワードが入力されるたびに本機の反応時間は遅くなり、最終的には全く反応しなくなります。
- 間違ったパスワードが5回入力されると、ヒントが表示されます。

パスワード保護を解除する

1. パスワードを要求する画面でパスワードを入力します。
2. **[ロックの解除]** をタップします。

注意　パスワードを忘れてしまった場合は、フォーマットをしなければ本機を使用することはできません。この場合、本機は工場出荷状態に戻され、登録したデータはすべて消去されます。

microSD カードのファイルを暗号化する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[暗号化]** をタップします。
2. **メモリカード内のファイルを暗号化する**にチェックを入れます。

注意
- 暗号化されたファイルは本機でのみ確認することができます。
- 本機においては、暗号化されたファイルは他のファイルと同様、通常の操作で開くことができます。

重要　**メモリカード内のファイルを暗号化する**を設定している状態、または以前に設定していた場合は、フォーマットを行う前にmicroSDカード内のすべてのファイルをバックアップしてください。暗号化したmicroSDカードのファイルにアクセスすることができなくなります。microSDカードとPC間でファイルを転送するには、ActiveSyncまたはWindows Mobile デバイスセンターを利用してください。処理が終了したら、ファイルをmicroSDカードにコピーし直してください。

4.5 その他の設定

デバイス名

デバイス名は、次のような場合に本機を識別するための名称です。

- PC と同期するとき
- ネットワークに接続するとき
- バックアップから情報を復旧するとき

注意 1台の PC で複数のデバイスを同期する場合、デバイス名はすべて異なる必要があります。PC との同期に関する詳細は、「5.4 PCと同期する」(P.115)をご覧ください。

デバイス名を変更する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[バージョン情報]** をタップします。
2. **[デバイス ID]** タブをタップします。
3. 名前を入力します。

注意 デバイス名は必ず **A～Z** の英文字、または **0～9** の数字で始まる必要があります。また、スペースは使用できません。単語を区切りたい場合は_(アンダースコア)を使用してください。

画面設定

バックライトを調整する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[バックライト]** をタップします。
2. **[明るさ]** タブでスライダーを動かし、画面の明るさを調整します。右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。

注意 明るく設定すると電池の消耗が早くなります。

一定時間後にバックライトを消すよう設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[バックライト]** をタップします。
2. **[バッテリ]** タブまたは **[外部電源]** タブをタップします。
3. **バックライトを消すまでのアイドル時間**にチェックを入れ、時間を選択します。

注意 アイドル時間が長いと電池の消耗が早くなります。

画面の文字を大きくする/小さくする

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[画面]** > **[文字サイズ]** タブをタップします。
2. スライダーを移動すると、文字サイズを大きくしたり、小さくしたりできます。

ボタンの設定

プログラムボタンのプログラムまたはショートカットの割り当てを変更する

本機のハードウェアボタンには、すでにプログラムが割り当てられています。ボタンをカスタマイズすると、最もよく使うプログラムをボタンに割り当てたり、画面モードの変更、Today 画面を開く、入力パネルを開く、などのよく使うショートカットを割り当てることができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[ボタン]** をタップします。
2. ボタンリストとそれぞれのボタンに割り当てられた機能が **[プログラムボタン]** タブに表示されます。
3. 割り当て機能を変更するボタンをタップします。ボタンを識別しやすいよう、ボタン本来の機能を表す番号やアイコンが設定されています。
4. **[プログラムの割り当て]** 欄で、このボタンに割り当てるプログラムやショートカットをタップします。
5. **[ok]** をタップします。

キーボードスライディングサウンド

ハードウェアキーボードを開閉するときのサウンドを設定します。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]**タブ > **[キーボードスライディングサウンド]**をタップします。
2. **スライディングサウンド**にチェックを入れてサウンドをオンにします。
3. 下のドロップダウンリストをタップし、サウンドを選択します。開閉時用にそれぞれ2つずつのサウンドが設定されています。
4. 再生ボタン(▶)をタップすると、選択しているサウンドを再生して確認できます。再生を停止するには停止ボタン(■)をタップします。

アラームと通知

アラームを設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[時計とアラーム]** > **[アラーム]** タブをタップします。
2. **〈アラームの詳細〉** をタップし、アラームの名前を入力します。
3. アラームを設定する曜日をタップします。必要に応じて複数の曜日を選択できます。
4. 時間をタップすると時計が開きます。ここでアラーム時刻を設定します。
5. アラームアイコン ( ) をタップし、アラームの種類を指定します。アラームにはライトを点滅する、サウンドを鳴らす、サウンドを繰り返す、バイブの4種類があります。
6. サウンドを鳴らす場合は**サウンドを鳴らす**にチェックを入れ、サウンドを選択します。

イベントやアクションの通知方法を設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[音と通知]** をタップします。
2. **[サウンド]** タブでボックスにチェックを入れ、通知方法を選択します。
3. **[通知]** タブの **[イベント]** でイベント名と通知方法を選択し、チェックを入れます。特殊なサウンド、メッセージ、LEDの点滅などの方法で通知することができます。

ヒント サウンドとLEDの点滅をオフにすると、電池を節約することができます。

第5章

情報を PC と同期する

5.1 ActiveSync について

5.2 Windows Vista の Microsoft Windows Mobile デバイスセンターを設定する

5.3 Windows XP で Microsoft ActiveSync を設定する

5.4 PCと同期する

5.5 Bluetooth を使って同期する

5.6 音楽やビデオを同期する

5.1 ActiveSync について

本機をPCと同期することで、PCの情報を手軽に持ち歩くことができます。PCと本機の間で同期可能な情報には次のようなものがあります。

- **Microsoft Outlook** のデータ（メール、予定表、仕事、メモ）
- **メディアファイル**（写真、音楽、ビデオなど）
- **お気に入り**（お気に入りの Web サイトへのリンク）
- **ファイル**（ドキュメントやその他のファイル）

同期を実行するには、PCに同期ソフトをインストールする必要があります。詳しくは、Windows Vista をお使いの方は「5.2 Windows Vista の Microsoft Windows Mobile デバイスセンターを設定する」(P.111)を、Windows XP をお使いの方は「5.3 Windows XP で Microsoft ActiveSync を設定する」(P.114)をご覧ください。

同期の方法

PCに同期ソフトをインストールした後、本機をPCに接続し、次の方法で同期を実行することができます。

- 付属の USB ケーブルを使って同期を行います。USBケーブルを本機とPCに接続すると、自動的に同期が開始されます。
- Bluetooth を使って接続し、同期を行います。この場合、まず本機とPCとの間で Bluetooth パートナーシップを確立する必要があります。Bluetooth パートナーシップに関する詳細は、「9.9 Bluetoothを使う」（P.178）をご覧ください。Bluetooth による同期方法については、「5.5 Bluetoothを使って同期する」(P.117)をご覧ください。

本機とPCの情報を最新の状態に保つため、できるだけ頻繁に同期を行うことをお勧めします。

5.2 Windows Vista の Microsoft Windows Mobile デバイスセンターを設定する

Microsoft Windows Mobile デバイスセンターは、Windows Vista に新しく搭載された Microsoft ActiveSync に代わる機能です。

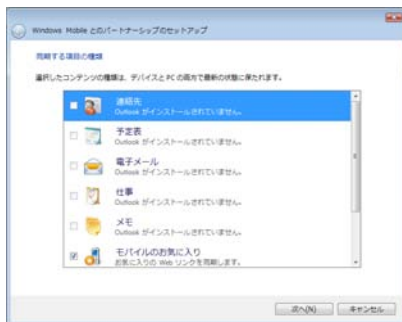
注意 Windows Vista には、すでに Windows Mobile デバイスセンターがインストールされているバージョンもあります。ご利用の Windows Vista に Windows Mobile デバイスセンターがインストールされていない場合は、本機付属の「お使いになる前にディスク」からインストールしてください。

同期の設定

本機をPCに接続し、Windows Mobileデバイスセンターを初めて起動したときは、本機とのパートナーシップを作成するように要求されます。以下の手順で作成してください。

1. 本機を PC に接続します。Windows Mobile デバイスセンターが自動的に設定を開始します。
2. Windows Mobile デバイスセンターの初期画面で **[デバイスのセットアップ]** をクリックします。

注意　Outlook 情報を同期せずにメディアファイルの転送、アップデートの確認、デバイス内の検索などを行う場合は、**[デバイスをセットアップしないで接続]** を選択してください。

3. 同期する情報の種類を選択し、**[次へ]** をクリックします。

4. デバイス名を入力し、**[セットアップ]** をクリックします。

セットアップウィザードが完了すると、Windows Mobile デバイスセンターは自動的にデバイスを同期します。同期が完了すると、メールやその他の情報が本機に表示されます。

Windows Mobile デバイスセンターを使う

Windows Mobile デバイスセンターを起動するには、Windows Vista で **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Windows Mobile デバイスセンター]** をクリックします。

Windows Mobile デバイスセンターでは次の操作を行うことができます。

- **[モバイルデバイスの設定]** をクリックし、同期設定を確認したり、変更したりできます。
- **[画像、音楽、およびビデオ]** > **[新しい画像/ビデオクリップをインポートできます]** をクリックすると、ウィザードが起動し、Windows Vista PC のフォトギャラリーから本機に写真をコピーすることができます。
- **[画像、音楽、およびビデオ]** > **[詳細]** > **[Windows Media Player からデバイスにメディアを追加する]** をクリックすると、Windows Media Player を使って音楽やビデオを同期することができます。詳しくは、「11.3 Windows Media Player Mobileを使う」(P.210) をご覧ください。
- **[ファイル管理]** > **[デバイスのコンテンツの参照]** をクリックし、本機のドキュメントやファイルを表示します。

注意 詳しくは、Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

5.3 Windows XP で Microsoft ActiveSync を設定する

本機付属の「お使いになる前にディスク」には Microsoft ActiveSync 4.5 以降が含まれています。以下の手順で ActiveSync 4.5 以降を Windows XP またはその他の Windows システムにインストールし、設定してください。

注意 互換性のあるWindowsシステムについては、http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/downloads/の「ActiveSync」をご確認ください。

ActiveSync をインストールする

1. 「お使いになる前にディスク」を PC のディスクドライブにセットします。
2. **[セットアップとインストール]** をクリックします。
3. **[ActiveSync]** のチェックボックスを選択し、**[インストール]** をクリックします。
4. ライセンス規約を読み、**[同意する]** をクリックします。
5. インストールが終わったら、**[終了]** をクリックします。
6. 「Windows Mobileデバイス - はじめに」の画面で **[閉じる]** をクリックします。

同期の設定

以下の手順で同期パートナーシップを設定してください。

1. 本機を PC に接続します。同期セットアップウィザードが自動的に立ち上がり、同期パートナーシップの作成をガイドします。**[次へ]** をクリックして進みます。
2. 同期する情報の種類を選択し、**[次へ]** をクリックします。
3. 必要に応じて、**デバイスがコンピュータに接続されている間の無線データ接続を許可します**というチェックボックスにチェックを入れます。**[次へ]** をクリックします。
4. **[完了]** をクリックします。

ウィザードが終了すると、ActiveSync が自動的に本機を同期します。同期が完了すると、メールやその他の情報が本機に表示されます。

5.4 PCと同期する

USB ケーブルまたは Bluetooth 接続を通して本機を PC に接続します。

同期の開始と停止

本機または PC から手動で同期を行うこともできます。

本機から同期する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ActiveSync]** をタップします。
2. **[同期]** をタップします。

   完了する前に同期を中断するには、**[中止]** をタップします。

ヒント PCとのパートナーシップを完全に削除するには、本機とPCとが接続されていない状態で、**[メニュー]** > **[オプション]**をタップしてPC名をタップし、**[削除]**をタップします。

Windows Mobile デバイスセンターから同期する

1. **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Windows Mobile デバイスセンター]** をクリックします。
2. Windows Mobile デバイスセンターの左下にある をクリックします。
3. 完了する前に同期を中断するには をクリックします。

PCのActiveSyncから同期する

本機をPCに接続すると、PCのActiveSync が自動的に起動し、同期を始めます。

1. 手動で同期を開始するには をクリックします。
2. 完了する前に同期を中断するには をクリックします。

同期する情報を変更する

本機または PC から、同期する情報の種類や範囲を変更することができます。下記の手順で本機から同期設定を変更します。

注意 本機の同期設定を変更する前に、本機を PC から切断してください。

1. 本機の ActiveSync 画面で **[メニュー]** > **[オプション]** をタップします。
2. 同期を行うアイテムのチェックボックスにチェックを入れます。チェックボックスをチェックできない場合、リストの別の情報タイプのチェックボックスをクリアしなければならない場合があります。
3. たとえば **[電子メール]** など特定の情報に関する同期設定を変更するには、**[設定]** をタップします。
   ダウンロードサイズ制限を設定したり、ダウンロードする情報の日数を指定したりすることができます。

注意

- お気に入り、ファイル、メディアなど、一部の情報は本機の ActiveSync オプションでは選択できません。これらのアイテムは、PC の Windows Mobile デバイスセンターまたは ActiveSync からのみ選択もしくはクリアすることができます。
- 1台の PC が複数の Windows Mobile デバイスと同期パートナーシップを確立することはできますが、1台のデバイスが同期パートナーシップを確立できる PC は最高2台までです。両方の PC と確実に同期が行われるよう、2台目の PC では最初の PC と同じ同期設定を使用してください。
- 電子メールは1台の PC とのみ同期することができます。

同期接続に関する問題

PCの Microsoft ActiveSync では、Windows Mobile デバイスに対しネットワークタイプの接続を使用することによって、シリアル USB 接続よりも高速なデータ転送が可能です。ただし、PC がインターネットやローカルネットワークに接続されている場合、PC は本機との接続を中断し、インターネットやネットワーク接続の方に優先的に接続されることがあります。

このような場合、**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[PC への USB 接続]** をタップし、**高度なネットワーク機能を有効にする**のチェックを外してください。これで PC は本機のシリアル USB 接続を使用します。

5.5 Bluetooth を使って同期する

Bluetooth を使って本機と PC を接続し、同期を行うことができます。

1. Windows Mobile デバイスセンターのヘルプ、または ActiveSync のヘルプをご覧になり、PC で Bluetooth 接続を設定してください。
2. 本機では **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ActiveSync]** をタップします。
3. **[メニュー]** > **[Bluetooth から接続]** をタップします。本機と PC の両方で Bluetooth 機能が有効になっており、検出可能モードになっていることを確認してください。
4. 本機と PC を初めて Bluetooth で接続する場合は、まず本機で Bluetooth ウィザードを起動し、PC との間に Bluetooth パートナーシップを確立する必要があります。Bluetooth パートナーシップの確立方法については、「Bluetooth パートナーシップ」(P.178)をご覧ください。

注意

- 電池を節約するため、使用しないときは Bluetooth をオフにしておくことをお勧めします。
- Bluetooth を使って本機と PC を接続し、同期する場合、ご利用の PC には Bluetooth 機能が内蔵されているか、または Bluetooth アダプタがインストールされている必要があります。

5.6 音楽やビデオを同期する

外出先などに音楽やその他のデジタルメディアを携帯したい場合、PC で Microsoft Windows Media Player をセットアップし、本機との間で音楽やビデオを同期することができます。

同期するメディア情報の種類を選択するほか、すべてのメディア同期設定は Windows Media Player で行います。メディアを同期するには、以下の手順で行ってください。

- PC に Windows Media Player バージョン 11 をインストールします。(Windows Media Player 11 は Windows XP 以降のバージョンでのみご利用になれます。)
- USB ケーブルで本機と PC を接続します。Bluetooth を使って本機と PC が接続されている場合は、一旦接続を中断してからメディアの同期を行います。
- 本機と PC の Windows Media Player との間で同期パートナーシップをセットアップします。

本機の Windows Media Player に関する詳細は、「11.3 Windows Media Player Mobile を使う」(P.210)をご覧ください。

第6章

連絡先、予定、仕事、その他の情報を管理する

6.1 連絡先の管理

本機には、連絡先の電話番号やその他の情報を保存/管理するために以下の方法があります。

- 本体メモリまたはEM chip (USIMカード) に連絡先を作成/保存します。
- SIMマネージャを利用して、EM chipに連絡先を作成/管理します。

6.2 連絡先

連絡先は、友人や仕事関係の人々との連絡に役立つ電話帳です。

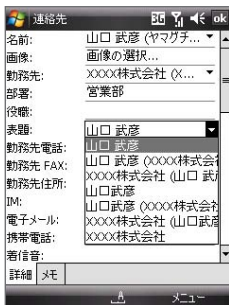
本機では3種類の連絡先を作成できます。

- **Outlook 連絡先** 本機に保存されている連絡先で、本機で作成でき、また PC や Exchange Server と同期できる連絡先です。各連絡先に対して、電話番号、メールアドレス、インスタントメッセージ (IM) 名、会社と自宅の住所、仕事、誕生日などの情報を保存することができます。また、Outlook 連絡先には画像を追加したり、着信音を設定することもできます。
- **SIMカード 連絡先** EM chip (USIMカード) に保存されている連絡先です。各連絡先に対して、名前と電話番号だけを保存することができます。
- **Windows Live連絡先** Windows Live MessengerやMSNを利用してOutlookと同じように連絡先を保存します。詳細については、「Windows Liveのメンバーを追加する」(P.188)をご覧ください。

注意 Windows Live連絡先は、Windows Liveをセットアップ後に追加してください。

本機に連絡先を追加する

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップします。
2. **[新規作成]** をタップし、**[Outlook 連絡先]** を選択して連絡先情報を入力します。

3. **[表題]** で、この連絡先が連絡先リストに表示されるときの形式を選択します。

4. 連絡先に写真を追加するには、**[画像の選択]** をタップして画像ファイルを選択するか、または **[カメラ]** をタップして連絡先に保存する写真を撮影します。この写真は、この連絡先から着信があったときに電話画面に表示されます。

5. 連絡先に着信音を設定するには、**[着信音]** の欄をタップし、着信音の一覧から任意のものを選択してください。
6. 終わったら **[ok]** をタップします。

ヒント
- 連絡先に保存されていない相手から電話があった場合、通話履歴から連絡先を作成することができます。通話履歴にある電話番号をタップしたままにし、ショートカットメニューから **[連絡先に保存]** をタップします。
- メッセージに含まれる電話番号を保存するには、電話番号をタップし、**[メニュー]** > **[連絡先に保存]** をタップします。
- 連絡先の情報を編集するには連絡先をタップし、**[メニュー]** > **[編集]** をタップします。

EM chip（USIMカード）に連絡先を追加する

1. **[スタート]** > **[連絡先]**
2. **[新規作成]**をタップし、**[SIMカード連絡先]**を選択します。
3. 名前と電話番号を入力します。
4. **[ok]**をタップします。

ヒント SIMマネージャを利用してもEM chipに連絡先を追加/編集できます。詳細については、「6.3 SIMマネージャ」（P.125）をご覧ください。

情報の整理と検索

類似連絡先をグループ化する

関連性のある連絡先を分類してグループ化すると、管理しやすくなります。

1. 新しい連絡先を作成するか、または既存の連絡先を編集します。
2. **[分類項目]** をタップします。
3. 会社関係（取引先）、個人など既定の分類項目を選択するか、または **[新規作成]** をタップして独自の分類項目を作成します。
4. 終わったら **[ok]** をタップします。
   連絡先を分類項目でグループ化して表示するには、**[メニュー]** > **[フィルタ]**をタップします。

注意 連絡先を分類項目のフィルタで表示している場合、新しく作成した連絡先にもこの分類項目が自動的に割り当てられます。

連絡先を活用する

連絡先の一覧は、さまざまな方法で活用し、またカスタマイズすることができます。以下はその活用例です。

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップします。
2. 連絡先の一覧で、次のような操作ができます。
   - 名前表示では、名前や番号を入力するか、またはアイウエオ順のインデックスから連絡先を検索できます。名前表示を切り替えるには、**[メニュー]** > **[表示方法]** > **[名前]** をタップします。
   - 1つの連絡先に関する情報の概要を表示するには、この連絡先をタップします。ここから通話を始めたり、メッセージを送信することができます。
   - 連絡先に対して実行できるアクションを確認するには、連絡先をタップしたままにします。
   - 特定の会社の連絡先を表示するには、**[メニュー]** > **[表示方法]** > **[勤務先]** をタップし、会社名をタップします。

本機の連絡先を検索する

多くの連絡先が登録されている場合、目的の相手を見つけるにはいくつかの方法があります。

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップします。
2. 名前表示になっていない場合は、**[メニュー]** > **[表示方法]** > **[名前]** をタップして名前表示に切り替えます。
3. 次のいずれかの方法で検索します。
   - テキストボックスに検索する名前か電話番号の最初の文字を入力すると、該当する連絡先が表示されます。テキストボックスをタップして入力した文字を消去するか、またはスクロールバーを上下に動かすと、すべての連絡先が表示されます。
   - 画面情報のアイウエオ順のインデックスを使用します。
   - 分類項目から検索します。連絡先の一覧で **[メニュー]** > **[フィルタ]** をタップし、連絡先の分類項目をタップします。再度すべての連絡先を表示するには、**[すべての連絡先]** をタップします。

連絡先情報を共有する

連絡先の詳細をビームする

Bluetoothを使うと、本機から別の携帯電話や PDA へ簡単に連絡先情報を送信できます。

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップし、連絡先を選択します。
2. **[メニュー]** > **[連絡先の送信]** > **[ビーム]** をタップします。
3. 連絡先をビームする相手デバイスを選択します。

注意　ビームを行うには、本機と相手デバイスの Bluetooth機能がオンになっており、検出可能モードに設定されている必要があります。また、連絡先情報を PC にビームすることもできます。詳しくは「9.9 Bluetoothを使う」(P.178)をご覧ください。

SMS で連絡先情報を送信する

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップし、連絡先を選択します。
2. **[メニュー]** > **[連絡先の送信]** > **[SMS／MMS]** をタップします。
3. 送信する連絡先情報を選択し、**[完了]** をタップします。
4. 新規 SMS に宛先の携帯電話番号を入力し、**[送信]** をタップします。

連絡先をvCardとして送信する

vCard（電子名刺）は、連絡先情報を交換するときに使用される標準形式ファイルです。vCardのファイルをPCのOutlookにエクスポートすることも可能です。

本機からMMSで添付ファイルとして連絡先情報を添付したvCardを送ることができます。

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップし、連絡先を選択します。
2. **[メニュー]** > **[vCard として送信]** をタップします。
3. vCardファイルを添付した新規MMSの作成画面が表示されます。宛先やメッセージを入力し、**[送信]** をタップします。

詳細については、「7.3 MMS」(P.142)をご覧ください。

6.3 SIM マネージャ

SIM マネージャでは、EM chip (USIMカード) に保存された連絡先の確認、EM chipから本機への連絡先の転送 (またはその逆)、USIM/SIM 連絡先からの通話発信などを行います。

EM chipに連絡先を追加する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[SIM マネージャ]** をタップします。
2. **[新規作成]** をタップし、新しい連絡先名と電話番号を入力します。
3. **[保存]** をタップし、情報を EM chipに保存します。

ヒント EM chipの連絡先情報を変更するには、**[スタート]** > **[プログラム]** > **[SIM マネージャ]** をタップし、SIM 連絡先をタップして編集します。編集が済んだら **[保存]** をタップします。

USIM/SIM 連絡先を本機にコピーする

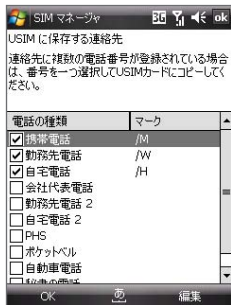
EM chipに保存された連絡先は本機の連絡先にコピーできます。

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[SIM マネージャ]** をタップします。
2. どれか1つのアイテムを選択するか、または **[メニュー]** > **[すべて選択]** をタップして、すべての USIM/SIM 連絡先を選択します。
3. **[メニュー]** > **[連絡先に保存]** をタップします。

連絡先を EM chipにコピーする

EM chipには、1つの連絡先につき1つの名前と電話番号のみを保存することができます。このため、複数の電話番号を持つ連絡先を EM chipにコピーすると、SIM マネージャがそれぞれの番号に別々の名前を付けて保存します。

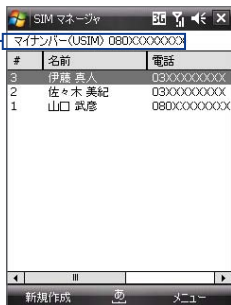
各電話番号を異なる連絡先名で EM chipに保存するため、SIM マネージャは本来の名前の最後にマーク（アルファベット）を追加します。既定では、/M、/W、/H というマークが追加されるよう設定されています。それぞれ携帯電話番号、勤務先電話番号、自宅電話番号を表します。連絡先を EM chipへコピーする前に、名前の最後に追加されるマークを編集できます。その他の電話番号のマークはユーザーが定義します。

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[SIM マネージャ]** をタップし、さらに **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** をタップします。
2. オプション画面で EM chipに追加する電話番号のチェックボックスにチェックを入れます。
3. **[マーク]** の欄で、USIM/SIM 連絡先の各種電話番号に割り当てるアルファベットを変更できます。電話番号の種類を選択し、**[編集]** をタップして任意のマークを入力してから **[保存]** をタップします。
4. 編集が済んだら **[ok]** をタップします。
5. **[メニュー]** > **[USIM に保存する連絡先]** をタップします。
6. EM chipにコピーする連絡先のチェックボックスを選択し、**[保存]** をタップします。

EM chipの電話番号を保存する

EM chipに割り当てられている電話番号（所有者の電話番号）を本機の連絡先にコピーできます。

1. SIM マネージャ画面で **[メニュー]** > **[ツール]** > **[個人番号リスト]** をタップします。
2. **[Voice Line 1]** をタップします。

3. 必要に応じて名前を変更し、携帯電話番号を入力します。
4. **[保存]** をタップします。

EM chipに保存されている電話番号は SIM マネージャ画面に表示されます。

6.4 予定表

予定表は、会議やイベントなどの予定を管理するためのツールです。近日の予定は Today 画面に表示することができます。PC で Outlook をご利用の場合は、本機と PC の間で予定表を同期させることができます。また、予定表にサウンドやライトの点滅を設定すれば、予定表をアラーム代わりに利用できます。

予定は日単位、週単位、月単位、年単位、予定一覧のいずれかの形式で表示できます。予定をタップすると、その予定の詳細情報を表示できます。

予定を登録する

予定を設定する

1. **[スタート]** > **[予定表]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[新しい予定]** をタップします。
3. 予定の件名を入力します。

4. 次のいずれかの方法で予定を作成します。
   - 誕生日などの終日の予定については、**[終日]** を **[はい]** に設定します。
   - 予定の開始時刻と終了時刻が決まっている場合は、それぞれを設定します。
5. 予定の分類項目を設定しておくと、関係のある予定をグループ化できます。**[分類項目]** をタップして、会社関係（取引先）、祝日、個人、季節など既定の分類項目を選択するか、または **[新規作成]** をタップして新しい分類項目を作成します。
6. 分類が済んだら **[ok]** をタップし、予定表に戻ります。

注意
- 終日イベントは予定表内ではなく、予定表画面の一番上にバナーで表示されます。
- 予定をキャンセルするには、キャンセルする予定をタップしたままにし、ポップアップメニューから **[予定の削除]** をタップします。

ヒント 日単位の表示で自動的に時刻を入力するには、新しい予定を入れる時間帯をタップし、**[メニュー]** > **[新しい予定]** をタップします。

すべての新規予定に既定のアラームを設定する

すべての新しい予定に、自動的にアラームを設定することができます。

1. **[スタート]** > **[予定表]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[予定]** タブをタップします。
3. **新しいアイテムにアラームを設定する**にチェックを入れます。
4. 開始時刻に対して事前に通知する時間を設定します。
5. **[ok]**をタップすると、予定表に戻ります。

予定を表示する

既定では、予定表は**予定一覧**形式で表示されます。表示形式は**日単位**、**週単位**、**月単位**、**年単位**があります。

予定一覧表示

- 予定をタップすると、その予定の詳細情報を表示できます。
- 予定を分類項目別に表示するには、**[メニュー]** > **[フィルタ]** をタップし、分類項目を選択します。
- 予定表で予定の表示形式を変更するには、**[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[全般]** タブをタップします。**[既定の画面]** で予定表の表示形式を選択します。
- **[月単位]** 表示の場合、次のアイコンが使用されます。

  午前の予定

  午後または夜の予定

  午前と午後（夜）の予定

  終日イベント

予定を送信する

会議出席依頼を送る

予定表を使って、Outlook か Outlook Mobile を使用している相手に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

1. **[スタート]** > **[予定表]** をタップします。
2. 新しい予定を登録するか、既存の予定を開き、**[編集]** をタップします。
3. **[出席者]** をタップします。
4. 出席を依頼する連絡先の名前をタップします。
5. 出席者を追加するには、**[必須出席者の追加]** または**[任意出席者の追加]**をタップした後で名前をタップします。
6. **[ok]** をタップして送信します。

ヒント 会議出席依頼を送るときに使うメールアカウントを選択する場合は、**[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[予定]** タブをタップします。**[会議出席依頼の送信方法]** をタップし、Outlook メール、POP3/IMAP4、または Windows Live アカウントのいずれかを選択します。

注意

- Outlook メールアカウントを使って会議出席依頼を送信すると、出席依頼は次回本機と PC、または本機と Exchange Server を同期させるときに出席者に送信されます。
- 出席者が会議出席依頼を受け入れると、出席者のスケジュールに会議予定が追加されます。出席者からの承諾が送り返されると、出席依頼をした側の予定表も自動的に更新されます。

予定をvCalendarとして送信する

vCalendarは、スケジュールや仕事情報を交換するときに使用される標準形式ファイルです。vCalendarのファイルをPCのOutlookにエクスポートすることも可能です。

vCalendarを添付したメールを送るには、**[メニュー]** > **[vCalendar として送信]**をタップします。詳細については、「7.3 MMS」(P.142)をご覧ください。

6.5 仕事

仕事は大事な用件などを管理するためのツールです。仕事は1回のみ、または繰り返しの設定ができます。また、仕事にアラームを設定したり、分類項目別に整理することもできます。

仕事は仕事一覧に表示されます。期限の過ぎた仕事は赤で表示されます。

仕事を作成する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[仕事]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[新しい仕事]** をタップし、仕事の件名、開始日や期限、優先度などの詳細を入力します。
3. 仕事の分類項目を設定しておくと、関係のある仕事をグループ化できます。**[分類項目]** をタップして、会社関係 (取引先)、祝日、個人、季節など既定の分類項目を選択するか、または **[新規作成]** をタップして新しい分類項目を作成します。
4. 終わったら **[ok]** をタップします。

ヒント 時間設定などのない仕事は簡単に作成できます。**[ここをタップして新しい仕事を追加]** に件名を入力し、ENTER を押してください。仕事入力欄が表示されていない場合、**[メニュー]** > **[オプション]** をタップし、**[仕事入力バーを表示する]** をチェックします。

仕事の優先度を変更する

仕事を優先度別に分類するには、まず各仕事に優先度を付けなければなりません。

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[仕事]** をタップします。
2. 優先度を変更する仕事をタップします。
3. **[編集]** をタップし、**[優先度]** で優先度のレベルをタップします。
4. **[ok]** をタップして仕事一覧に戻ります。

注意 既定では、新しい仕事の優先度は標準になっています。

新しい仕事に既定のアラームを設定する

新しく作成するすべての仕事に対し、自動的にアラームを設定することができます。

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[仕事]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[オプション]** をタップします。
3. **[新しいアイテムにアラームを設定する]** にチェックを入れます。
4. **[ok]** をタップして仕事一覧に戻ります。

注意　期限のない仕事に対してアラームは設定できません。

仕事一覧に開始日と期限を表示する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[仕事]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[オプション]** をタップします。
3. **[開始日と期限を表示する]** をチェックします。
4. **[ok]** をタップします。

仕事を検索する

仕事一覧が長い場合、仕事の一部のみを表示したり、特定の仕事がすぐに見つかるよう並べ替えることができます。

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[仕事]** をタップします。
2. 仕事一覧で、次のような操作ができます。
   - 一覧を分類します。**[メニュー]** > **[並べ替え]** をタップし、並べ替えのオプションをタップします。
   - 分類項目別に仕事を表示します。**[メニュー]** > **[フィルタ]** をタップし、表示する分類項目をタップします。

ヒント　仕事をさらに絞り込むには **[メニュー]** > **[フィルタ]** > **[作業中の仕事]** または **[終了した仕事]** をタップします。

6.6 メモ

メモは、アイデア、問題、覚え書きなどを書き留めたり、仕事や会議のメモを取る場合に便利です。手書きやキーボード入力でメモを作成したり、ボイスメモを録音したりできます。

メモに情報を入力する

メモに情報を入力するには何通りかの方法があります。入力パネルやキーボードを使い、テキスト形式で入力することができます。また、スタイラスペンを使って画面に文字を手書きしたり、絵を描いたりすることもできます。

既定の入力モードを設定する

メモに絵を描くことが多い場合は、**手書き**を既定の入力モードとして設定しておくと便利です。テキスト入力をよく使う場合は、**入力**を選択します。

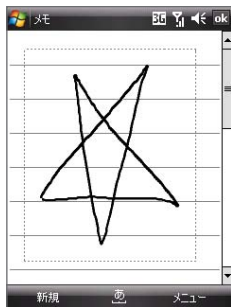
1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[メモ]** をタップします。
2. メモの一覧で **[メニュー]** > **[オプション]** をタップします。
3. **[既定のモード]** で次のいずれかをタップします。
    - **手書き:** 絵を描いたり、手書きで文字を書いてメモを作成します。
    - **入力:** テキスト形式の文字を入力してメモを作成します。
4. **[ok]** をタップします。

メモを作成する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[メモ]** をタップします。メモの一覧で **[新規]** をタップします。
2. メニューバーの**入力方法**アイコンのとなりにある**入力セレクタ**矢印をタップし、入力方法をタップして文字を入力してください。
3. **入力セレクタ**矢印が表示されていない場合は、**入力方法**のアイコンをタップします。
4. 入力が済んだら **[ok]** をタップし、メモの一覧に戻ります。

注意
- 手書きの文字を選択するには、まず文字の横をタップしたままにします。点が表示されたら、完全な円を描く前に手書き文字の上を素早くドラッグします。
- 3本のラインを越えて書かれた文字は、文字でなく絵として認識されます。

メモに絵を描く

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[メモ]** をタップします。
2. メモの一覧で **[新規]** をタップします。
3. 画面に絵を描くには、スタイラスペンを使用します。

画面に絵を描く

4. 絵の周囲にボックスが表示されます。
5. 描画が済んだら **[ok]** をタップし、メモ一覧に戻ります。

注意 絵をコピーしたり、削除したりするために選択するには、絵をしばらくタップしたままにし、スタイラスペンを画面から離すと絵が選択されます。

ボイスメモを録音する

ボイスメモを録音したり、録音をメモに追加したりできます。

ボイスメモを作成する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[メモ]** をタップします。
2. 次のいずれかの方法でボイスメモを録音します。
   - ボイスメモを録音する場合は、メモ一覧から行います。
   - 録音をメモに追加するには、まずメモを作成するか、既存のメモを開きます。
3. 録音ツールバーが表示されていない場合は、**[メニュー]** > **[録音ツールバーの表示]** をタップします。
4. **録音**アイコン (●) をタップして録音を開始します。
5. 本機のマイクに向かって録音します。
6. 録音が終わったら**停止**アイコン (■) をタップします。
7. 開いているメモに音声を追加する場合は、録音終了後に **[ok]** をタップしてメモ一覧に戻ります。
8. 開いているメモに録音すると、メモにアイコンが表示されます。
9. メモ一覧で録音すると、音声ファイルとしてメモ一覧に表示されます。

録音形式を変更する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[入力]** をタップします。
2. **[オプション]** タブをタップし、**[録音形式]** のリストから形式を選択します。
3. **[ok]** をタップします。

注意 メモの画面からも録音形式を変更できます。メモ一覧で **[メニュー]** > **[オプション]** > **[入力オプション]** リンクをタップし、**[オプション]** タブをタップします。

6.7 ボイスレコーダー

ボイスレコーダーを使うと簡単に音声を録音し、メールで送信したり、ビームしたり、録音した音声を着信音として設定したりできます。

注意 ボイスレコーダーで録音された音声は、AMR-NB形式で保存されます。AMR-NB形式とはモバイル機器でよく使用されている音声ファイル形式です。

自分の声を録音する

1. Today 画面で **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ボイスレコーダー]** をタップします。
2. 本機のマイクを口に近づけます。
3. **[録音]** または をタップしてボイスクリップの録音を始めます。一時的に録音を停止する場合は **[一時停止]** をタップします。再度録音を始めるには **[再開]** をタップします。
4. **[停止]** をタップすると録音を停止します。

すべての録音は、既定では **[マイボイス]** フォルダに保存されます。録音を他のフォルダに保存するには、画面左上にあるフォルダ名のとなりの ▼ をタップし、録音を保存するフォルダを選択します。

ボイス録音を再生する

1. ボイスレコーダー画面で再生するボイス録音を選択します。
2. をタップします。また、ボイス録音をタップしても再生できます。

注意
- をタップすると音量が上がり、 をタップすると音量が下がります。
- をタップするとミュート/ミュート解除を切り替えます。

ボイス録音をMMSで送信する

1. ボイスレコーダー画面で、メールで送信するボイス録音を選択します。
2. **[メニュー]** > **[MMSで送信]** をタップします。MMSが自動的に開き、ボイス録音が添付ファイルとして挿入されたメールが作成されます。

MMSの作成と送信方法については、「7.3 MMS」(P.142)をご覧ください。

ボイス録音をメール送信する

1. ボイスレコーダー画面で、メールで送信するボイス録音を選択します。
2. **[メニュー]** > **[送信]** をタップし、利用するメールアカウントを選択します。Outlook メールが自動的に開き、ボイス録音が添付ファイルとして挿入されたメールが作成されます。

メール作成と送信方法については、「7.6 メールを送る/受ける」(P.151)をご覧ください。

ボイス録音をビームする

1. ボイスレコーダー画面でビームするボイス録音を選択します。
2. **[メニュー]** > **[ファイルをビームする]** をタップします。
3. ボイス録音を送信する相手デバイスを選択します。
4. 相手デバイスでファイルの転送を受け入れ、受信します。

ボイス録音を着信音として設定する

1. ボイスレコーダー画面で、本機の着信音として設定するボイス録音を選択します。
2. **[メニュー]** > **[着信音に設定]** をタップします。

録音の名前変更または移動

1. ボイスレコーダー画面で名前を変更する、または別の場所へ移動するボイス録音を選択します。
2. **[メニュー]** > **[名前を変更/移動]** をタップします。
3. ボイス録音の新しい**名前**を入力します。
4. ボイス録音を移動する場合は、新しい保存先の**フォルダ**と**場所**を選択します。
5. **[ok]** をタップします。

ヒント 複数のボイス録音が選択されている場合、ファイルを移動することはできますが、名前を変更することはできません。

第7章

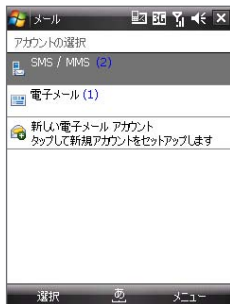
メールを使用する

7.1 メール

メールは電子メールアカウントや SMS、MMSのアカウントを管理するツールです。Outlook メールや電子メールなどを送受信したり、携帯電話ネットワークを使って SMS を送受信することができます。また、VPN 接続を使ってメールサーバーにもアクセスできます。

メールアカウントを選択する

次のいずれかの方法でメールアカウントを選択します。

- **[スタート]** > **[メール]** をタップします。アカウントを選択する画面が表示されます。
- たとえば SMS など、特定のアカウントのメール一覧画面で **[メニュー]** > **[切り替え]** をタップすると、メールアカウントを切り替えることができます。

アカウント選択画面

注意
- あらかじめ設定されているアカウント **[電子メール]** はダミーのアカウントです。
- **[SMS / MMS]** 以外のアカウントをすべて削除すると、ファイルエクスプローラや画像とビデオからファイルをメールで送信するとき、SMS作成画面が開き、送信することができません。

メールアカウントを設定する

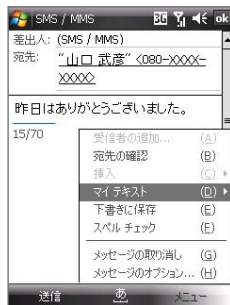
- アカウント選択画面で **[メニュー]** > **[オプション]** をタップします。
- または、メール一覧画面で **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** をタップします。

7.2 SMS

最大70文字（全角文字もしくは半角カタカナを含む場合）または160文字（すべて半角英数字の場合）までの SMS を他の携帯電話に送信できます。QWERTY キーボードを使うと簡単にメッセージを入力できます。

SMS を送る

SMS を作成・送信する

1. **[スタート]** > **[メール]** > **[SMS／MMS]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[新規]** > **[SMS]** をタップします。
3. 宛先の携帯電話番号を入力します。複数の相手に送る場合はセミコロン（;）で区切ります。連絡先に登録されている電話番号を使用する場合は **[宛先]** をタップします。
4. メッセージを入力します。
   - 頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、**[メニュー]** > **[マイ テキスト]** をタップし、メッセージを入力します。
   - スペルチェックを実行するには、**[メニュー]** > **[スペル チェック]** をタップします。
5. **[送信]** をタップします。

ヒント
- 記号を入力するには、入力パネルのSymbol Padを使います。詳しくは、「2.8 Symbol Padの使い方」(P.82)をご覧ください。
- 送信した SMS が相手に受信されたことを確認するには、新規 SMS 作成画面で **[メニュー]** > **[メッセージのオプション]** をタップし、**[メッセージの配信通知を要求する]** にチェックを入れます。
  すべての SMS に対して配信通知を要求するには、SMS 画面で **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** をタップし、**[SMS/MMS]** をタップし、**[配信通知を要求する]** を選択します。

SMS を受信する

電話機能がオンになっていれば、SMS を自動的に受信することができます。電話がオフになっている場合、SMSは電話がオンになるまで有効期限内に限りサーバーに保存されます。

EM chip(USIMカード)からメッセージをコピーする

1. **[スタート]** > **[メール]** > **[SMS/MMS]** をタップします。
2. メッセージ一覧画面で、コピーする SMS を選択します。
3. 次のいずれかの方法でコピーします。
   - SMS をEM chip にコピーするには、**[メニュー]** > **[SIM カードにコピー]** をタップします。
   - SMS をEM chip から本機にコピーするには、**[メニュー]** > **[電話にコピー]** をタップします。

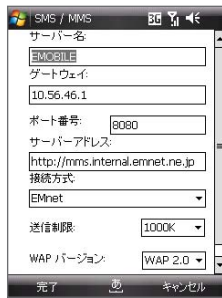
注意 EM chip に保存された SMS は自動的に受信トレイに表示されます。本機にメッセージをコピーした後、EM chip 使用中には受信トレイのメッセージが重複して表示されます。

7.3 MMS

本機では、MMSを簡単な操作で作成して送信できます。画像や動画、音楽を添付したMMSを送信することもできます。

MMS設定を行う

お買い上げ時、MMSに関する情報があらかじめ設定されています。誤って設定内容を削除した場合は、メッセージ作成時にMMSの再設定を行うことができます。

1. **[スタート]** > **[メール]** > **[SMS/MMS]**をタップします。
2. **[メニュー]** > **[MMS オプション]**をタップします。設定画面が表示されます。
3. **[サーバー]**タブをタップし、**[新規作成]**をタップします。
4. 以下の情報を設定します。

- **サーバー名**: EMOBILE
- **ゲートウェイ**: 10.56.46.1
- **ポート番号**: 8080
- **サーバーアドレス**: http://mms.internal.emnet.ne.jp
- **接続方式**: EMnet
- **送信制限**: 1000K
- **WAPバージョン**: WAP 2.0

5. **[完了]**をタップし、MMSの新規設定を完了します。
6. **[ok]**をタップし、MMSオプションを終了します。

注意 MMS の初期設定は変更しないでください。初期設定を変更した場合は、本機で MMS を送受信できない場合があります。

MMSを作成して送る

新規メッセージ作成画面では、本文や画像やビデオクリップなどの添付ファイルを確認しながらMMSを作成できます。

MMSを作成する

1. **[スタート]** > **[メール]** > **[SMS／MMS]**をタップします。
2. **[メニュー]** > **[新規]** > **[MMS]**をタップします。
3. **[宛先]**で宛先の電子メールアドレスを直接入力するか、**[宛先]** または**[Cc]**、**[Bcc]**をタップし、連絡先から宛先を選択します。
4. 件名を入力します。
5. ファイルを添付するには、アイコン（ ）をタップします。
   写真またはビデオクリップを添付します。
   - **[メニュー]** > **[表示]**をタップしてファイルを確認してから**[選択]**をタップし、写真またはビデオクリップをMMSに添付します。
   - をタップすると、添付する写真を撮影できます。
   - をタップすると、添付するビデオクリップを録画できます。
   - アイコン（ ）をタップすると、ファイルを添付せずにMMS作成画面に戻ります。
6. 本文を入力します。オーディオを添付する場合は、「オーディオをMMSに添付する」(P.146)をご覧ください。
7. メッセージ画面を追加するには、 または**[メニュー]** > **[スライド]** > **[スライドを挿入]**をタップします。その他のファイルを添付する場合は、手順5、6を繰り返してください。
   メッセージ画面表示中に次の操作が行えます。
   - をタップすると、メッセージのプレビューを表示できます。
   - をタップすると、前の画面を表示できます。
   - をタップすると、次の画面を表示できます。
8. MMS作成中に次の操作が行えます。
   - **[メニュー]** > **[オプション]** > **[背景]**をタップすると、メッセージの背景色を選択できます。

- **[メニュー]** > **[オプション]** > **[テキストレイアウト]**をタップし、テキストのレイアウトを選択できます。
- **[メニュー]** > **[オプション]** > **[送信オプション]**をタップすると、メッセージの配信時間、優先度、カテゴリーなどを設定できます。
- **[メニュー]** > **[添付ファイル]**をタップすると、連絡先や予定表、その他のファイルを添付できます。

9. **[送信]**をタップします。

注意 MMSは次の操作でも作成できます。

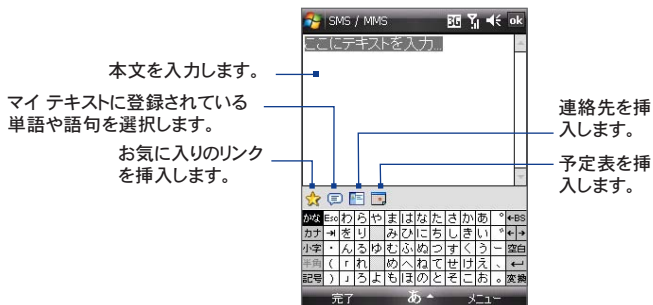
- 画像とビデオ画面のマイピクチャで写真を選択し、**[メニュー]** > **[MMSで送信]**をタップします。
- カメラで写真またはMMSビデオを撮影し、送信アイコン（ ）をタップします。ファイルを送信ダイアログボックスで**[MMSで送信]**をタップします。

テンプレートを利用してMMSを作成する

MMS作成画面で**[メニュー]** > **[テンプレート]** > **[テンプレートを選択]**をタップします。

注意 作成したメッセージをテンプレートとして保存する場合は、**[メニュー]** > **[テンプレート]** > **[テンプレートとして保存]**をタップします。

本文を入力する

MMS作成画面で**[ここにテキストを挿入]**をタップすると、次の本文入力画面が表示されます。

ヒント　マイ テキストに登録されている内容を編集／削除する場合は、登録した単語や語句をタップしたままにし、**[編集]**または**[削除]**をタップします。新規の単語や語句を登録する場合は、**[新規作成]**をタップします。

オーディオをMMSに添付する

MMSに添付できるオーディオは1つです。

1. **[オーディオを挿入]**をタップします。

   最初にMy Documentsが表示されますので、オーディオが保存されているフォルダを選択してください。（ ）をタップして上の階層のフォルダに戻ることができます。

2. オーディオファイルを選択します。ファイル一覧で次の操作が行えます。

   - をタップすると、オーディオを再生します。
   - をタップすると、再生を一時停止します。 をタップすると、再生を停止します。
   - **[選択]**をタップすると、選択したオーディオをMMSに添付します。
   - 画面右上のアイコン（ ）をタップすると、ファイルを添付せずにMMS作成画面に戻ります。
   - をタップすると、添付するオーディオを録音できます。**[録音]**で録音を開始し、**[停止]**で録音を終了します。録音したオーディオを再生するには**[再生]**をタップします。**[添付]**をタップすると、録音したオーディオをMMSに添付します。

MMSを表示し、返信する

受信MMSを表示する

- （再生）、（一時停止）、（停止）をタップします。
- **[内容]**をタップして添付ファイルを確認します。メッセージ内容画面で次の操作が行えます。
    - 添付ファイルを保存するには、ファイルを選択し、**[メニュー]** > **[保存]**をタップします。
    - 添付テキストファイルをマイ テキストとして登録するには、**[メニュー]** > **[定型文として保存]**をタップします。
    - 添付写真を連絡先の画像に設定するには、**[メニュー]** > **[連絡先に割り当て]**をタップします。

MMSを返信する

送信者にメッセージを返信するには、**[メニュー]** > **[返信]** > **[返信]**をタップします。送信者全員にメッセージを返信するには、**[メニュー]** > **[返信]** > **[全員に返信]**をタップします。

特定の相手からのMMSの受信を拒否する

MMSを受信したくない特定の相手をブラックリストに登録することができます。

1. 受信したくない相手からのメッセージを開きます。
2. **[メニュー]** > **[表示]** > **[メッセージの詳細]**をタップします。
3. 詳細画面で**[メニュー]** > **[連絡先の詳細を表示]**をタップします。
4. 次回からMMSを受信しないようにするには、**[メニュー]** > **[ブラックリストに保存]**をタップします。
5. **[完了]**をタップします。

ヒント
- ブラックリストに登録した内容を確認するには、SMS／MMS画面で**[メニュー]** > **[MMS オプション]** > **[ブラックリスト]**タブをタップします。
- ブラックリストに登録した内容を削除してメッセージの受信を許可する場合は、登録された内容をタップしたまま、**[削除]**をタップします。

7.4 電子メールアカウントの種類

メールの送受信を実行する前に、本機で電子メールアカウントを設定する必要があります。本機で設定できるメールの種類は次のとおりです。

- Outlook メール: PC や Exchange Server で同期させるメールです。
- 電子メール: インターネットサービスプロバイダ（ISP）が提供するメールアカウントです。
- Web メール: フリーメールなどです。

7.5 電子メールセットアップウィザード

Windows Mobile の電子メールセットアップウィザードを使うと、メールアカウントを簡単に設定することができます。プロバイダ（ISP）やその他のメールプロバイダ、Web ベースのフリーメールなどの電子メールアカウントを追加できます。

Outlook電子メールの設定

ActiveSyncをPCにインストールして同期パートナーシップを確立すると、本機でOutlookメールを送受信する準備が完了します。ActiveSyncのインストール、同期パートナーシップの確立については、「第5章 情報をPCと同期する」（P.109）をご覧ください。

POP3 または IMAP4 メールアカウントを設定する

メールの送受信を実行する前に、インターネットサービス プロバイダ（ISP）から取得したメールアカウントや、VPNサーバー接続を使ってアクセスするアカウントを設定する必要があります。

1. **[スタート]** > **[メール]** > **[新しい電子メールアカウント]** をタップします。
2. メールアドレスを入力し、**[インターネットから電子メールの設定を自動的に取得する]** にチェックを入れます。このオプションを選択すると、手動でメール設定を行わなくても、メールサーバーによって自動的に設定されます。**[次へ]** をタップします。

   注意　サーバーの種類によっては、自動的に設定されない場合があります。

3. 自動設定が完了したら、**[次へ]** をタップします。

注意 メールサーバーが自動設定に対応していない場合、以降の画面でメールサーバーやユーザー名を設定します。詳しくは、「メールサーバー設定を指定する」(P.149)をご覧ください。

4. 名前を入力します。**[アカウントの表示名]** の欄を編集し、プロバイダ名などが分かるよう名前を変更できます。**[次へ]** をタップします。
5. ユーザー名の欄にログイン名を入力します。次にパスワードを入力し、**[パスワードの保存]** にチェックを入れます。**[次へ]** をタップします。
6. この時点でメール設定は完了です。**[自動送受信]** リストで本機が自動的にメールを送受信する頻度を選択します。

注意 **[すべてのダウンロードの設定を確認する]** をタップすると、ダウンロードオプションを選択したり、メール形式を HTML とテキストのどちらかから選ぶなど、各種設定が行えます。詳しくは、「ダウンロードとメール形式をカスタマイズする」(P.150)をご覧ください。

7. **[完了]** をタップします。

メールサーバー設定を指定する

メールサーバーが自動設定に対応していない場合、ご利用のプロバイダにお問い合わせになり、**受信メールサーバー**と**送信メールサーバー**の設定を確認してください。

また、次のようなオプションがあります。

- 必要に応じて、**[送信サーバーで認証を要求する]** にチェックを入れてください。
- 送信メールサーバーが、メール送信時には異なるユーザー名とパスワードを必要とする場合があります。この場合は、**[送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する]** のチェックを外してください。メール送信時には別のユーザー名とパスワードを入力します。
- ご利用のプロバイダがメールのセキュリティを高めるために SSL 接続を使用している場合、**[サーバーの詳細設定]** をタップし、**[SSL が必要]** にチェックを入れてください。
  [ネットワーク接続] の一覧からインターネット接続時に使用するデータ接続を選択します。

ダウンロードとメール形式をカスタマイズする

POP3 または IMAP4 メールアカウントを設定して［完了］をタップする前に、**［すべてのダウンロードの設定を確認する］** をタップしてダウンロードオプション、メッセージ形式、その他の設定を選択します。

オプション	説明
自動送受信	インターネットに自動接続し、メッセージを送受信する間隔を選択できます。
メッセージのダウンロード	本機にメッセージをダウンロードする日数を設定します。
［送信］クリックしたとき送受信を実行する（［詳細設定］オプション）	既定では、［送信］ボタンを押すとすぐにメッセージが送信されるよう設定されています。送信メールをまず送信トレイに保存するには、このチェックボックスのチェックを外してください（このチェックを外すと、**［メニュー］**＞**［送受信］** をタップしなければメッセージは送信されません）。
ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する（［詳細設定］オプション）	インターネットに自動接続する間隔が設定されている場合、本機へのデータローミングも行うことができます。この方法は接続料金がかかるため、通常はチェックを外しておくことをお勧めします。
メッセージの削除時（［詳細設定］オプション）	本機から削除したメールは、サーバー上でも削除するよう設定することができます。
メッセージ形式	HTML かテキストのいずれかを選択します。
メッセージのダウンロード制限	メールのダウンロードサイズを選択します。大量のメールを受信する場合、サイズの小さなメールをダウンロードするか、またはヘッダのみをダウンロードするよう選択してください。

注意　自動送受信をオンにすると電池の消耗が早くなります。

7.6 メールを送る/受ける

本機でメールアカウントを設定したら、次はメールの送受信を始めましょう。

メールを作成・送信する

メールを作成し、送信する

1. **[スタート]** > **[メール]** をタップし、電子メールアカウントを選択します。
2. **[メニュー]** > **[新規]** をタップします。
3. 宛先の電子メールアドレスを入力します。複数の相手に送る場合はセミコロン (;) で区切ります。連絡先に保存されているメールアドレスから選択するには、**[宛先]** をタップします。
4. メッセージを入力します。頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、**[メニュー]** > **[マイ テキスト]** をタップし、メッセージを入力します。
5. スペルチェックを実行するには、**[メニュー]** > **[スペルチェック]** をタップします。
6. **[送信]** をタップします。

ヒント
- 記号を入力するには、入力パネルのSymbol Padを使います。詳しくは、「2.8 Symbol Padの使い方」(P.82)をご覧ください。
- 優先度を設定するには、**[メニュー]** > **[メッセージのオプション]** をタップします。
- オフラインで作業している場合、作成したメールは送信トレイに保存され、次回接続が確立したときに送信されます。

メールにファイルを添付する

1. メッセージ作成画面で **[メニュー]** > **[挿入]** をタップし、添付するアイテム（**画像**、**ボイスメモ**、または**ファイル**）をタップします。
2. 添付するファイルを選択するか、またはボイスメモを録音します。

メールを表示し、返信する

受信メールを読む

既定では、受信メールを開いて読むとき、メールの最初の2キロバイトの情報だけが表示されるよう設定されています。以下のいずれかの方法で、メッセージ全体を読むことができます。

- メッセージを最後までスクロールし、**[メッセージと添付ファイルをすべて取得する]** をタップします。
- **[メニュー]** > **[メッセージのダウンロード]** をタップします。

次回 **[メニュー]** > **[送受信]** をタップしてメールを送受信したときに、メッセージがダウンロードされます。

注意 メッセージ一覧のサイズの欄には、メッセージのローカルサイズとサーバーサイズが表示されます。メッセージ全体がダウンロードされている場合でも、サーバーと本機ではメッセージサイズが多少異なる場合があります。

添付ファイルをダウンロードする

添付ファイルはメッセージの件名の下に表示されます。添付ファイルをタップすると、ファイル全体がダウンロードされている場合、ファイルを開きます。全体がダウンロードされていない場合、次回の送受信時にダウンロードするようにセットされます。

注意
- メッセージに複数のファイルが添付してある場合、すべての添付ファイルがダウンロードされます。
- 添付ファイルを自動的にダウンロードするよう本機を設定するには、「メール設定をカスタマイズする」(P.155)をご覧ください。

メールを返信・転送する

1. メッセージを開き、**[返信]** をタップするか、または **[メニュー]** > **[返信]** > **[全員に返信]** または **[メニュー]** > **[返信]** > **[転送]** をタップします。
2. 返信内容を入力します。頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、**[メニュー]** > **[マイ テキスト]** をタップし、メッセージを入力します。

3. スペルチェックを実行するには、**[メニュー]** > **[スペルチェック]** をタップします。
4. **[送信]** をタップします。

ヒント
- ヘッダ情報を表示するには、上へスクロールします。
- オリジナルメッセージを常に引用する場合は、**[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[メッセージ]** タブをタップし、**[電子メールに返信するときに、本文を含める]** にチェックを入れます。
- Outlook メールアカウントでは、オリジナルメッセージを編集しないままにすると、返信するデータ量が少なくなり、通信パケット数を節約できます。

HTML メールを表示・返信する

すべてのメールアカウントから HTML メールを受信、表示、返信できます。HTML 形式はレイアウトやサイズが変更されることなく維持されます。

1. メッセージ形式を HTML に設定します。メッセージ形式の設定方法については、「メール設定をカスタマイズする」(P.155)をご覧ください。
2. **[スタート]** > **[メール]** をタップし、メールアカウントを選択します。
3. 受信した HTML メールを開きます。
4. 画面を横方向にスクロールしてメッセージをすべて表示するには、**[右にスクロールする]** をタップします。
5. メッセージの最後に表示された **[残りのメッセージを取得する]** をタップすると、メッセージ全体をダウンロードし、表示できます。
6. メールがすぐにダウンロードされない場合は、**[メニュー]** > **[送受信]** をタップします。
7. メッセージに画像が表示されない場合は、**[インターネット上の画像をブロック]** をタップし、**[インターネット上の画像をダウンロードする]** をタップします。
8. **[メニュー]** をタップし、送信者に返信するか、メッセージを転送するかを選択します。
9. 返信内容を入力し、**[送信]** をタップします。

ヒント メールには Web ページへのハイパーリンクを含めることができます。

電子メールをダウンロードする

メッセージをダウンロードする方法は、設定されたメールアカウントにより異なります。

Outlook メールを送受信する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ActiveSync]** をタップします。
2. USB ケーブルか Bluetoothを使い、本機を PC に接続します。
3. 自動的に同期が開始され、本機が Outlook メールを送受信します。

ヒント ActiveSync の **[同期]** をタップするか、または Outlook Mobile で **[メニュー]** > **[送受信]** をタップすると、手動でいつでも同期を行うことができます。

POP3/IMAP4 メールを送受信する

プロバイダの提供するメールアカウントや、VPN サーバーを使用したアカウントをご利用の場合は、リモートメールサーバーを使ってメッセージを送受信できます。メッセージを送受信する前に、まずインターネットかネットワークに接続する必要があります。

1. **[スタート]** > **[メール]** をタップし、POP3 または IMAP4 メールアカウントを選択します。
2. **[メニュー]** > **[送受信]** をタップします。本機のメールとメールサーバーが同期されます。新しいメッセージが本機の受信トレイにダウンロードされ、本機の送信トレイにあるメッセージは送信されます。また、サーバーから削除されたメッセージは本機の受信トレイからも削除されます。

メール設定をカスタマイズする

Outlook メールのダウンロードサイズと形式を変更する

1. 本機を PC から切断します。
2. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ActiveSync]** をタップします。
3. **[メニュー]** > **[オプション]** をタップし、**[電子メール]** を選択して **[設定]** をタップします。
4. メール同期オプション画面で以下の設定を行います。
   - **[メッセージの最大サイズ]** で任意のメールサイズを選択します。
   - **[メッセージ形式]** で HTML またはテキストを選択します。
5. ActiveSync を閉じて本機を PC に再接続します。

POP3／IMAP4 メールのダウンロードサイズと形式を変更する

1. **[スタート]** > **[メール]**をタップし、アカウント選択画面で**[メニュー]** > **[オプション]** をタップするか、またはアカウント選択後のメッセージ一覧画面で **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** をタップします。
2. メールアカウントをタップします。
3. **[メッセージのダウンロード制限]** というオプションが表示されるまで **[次へ]** をタップします。
4. 任意のメールサイズを選択します。
5. **[メッセージ形式]** で HTML またはテキストを選択します。
6. **[完了]** をタップします。

全員に返信するときにメールアドレスを除外する

Outlook メールで全員に返信する場合、自分のメールアドレスも宛先に含まれます。自分自身のメールアドレスが宛先から除外されるよう、ActiveSync をカスタマイズすることができます。

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ActiveSync]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[オプション]** をタップし、**[電子メール]** を選択して **[設定]** をタップします。
3. **[詳細設定]** をタップします。
4. **[標準の電子メール アドレス]** に自分のメールアドレスを入力します。
5. **[ok]** をタップします。

Outlook メールで添付ファイルを自動受信する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ActiveSync]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[オプション]** をタップし、**[電子メール]** を選択して **[設定]** をタップします。
3. **[添付ファイルを含める]** を選択します。
4. **[ok]** をタップします。

IMAP メールで添付ファイルを自動受信する

1. **[スタート]** > **[メール]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[オプション]** をタップします。
3. IMAP アカウントをタップします。
4. **[添付ファイルのダウンロード]** が表示されるまで **[次へ]** をタップします。
5. **[添付ファイルのダウンロード]** からダウンロードサイズを選択します。
6. **[完了]** をタップします。

添付ファイルをmicroSDカードへ保存する

1. **[スタート]** > **[メール]** をタップし、メールアカウントを選択します。
2. **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[保存場所]** タブをタップします。
3. **[使用可能な場合は、このメモリカードに添付ファイルを保存する]** にチェックを入れます。
4. **[ok]** をタップします。

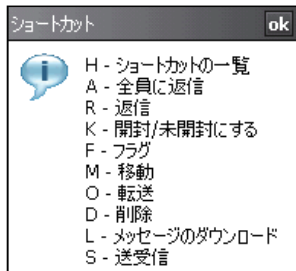
7.7 キーボードショートカット

キーボードショートカットを利用して、メッセージの返信や転送などのメール機能をすばやく操作できます。

キーボードショートカットの一覧を表示する

1. ハードウェアキーボードを開きます。
2. **[スタート]** > **[メール]**をタップし、SMS／MMSまたは電子メールのメールアカウントを選択します。
3. メッセージ一覧画面で、ショートカット一覧が表示されるまで「H」キーを長押しします。

キーボードショートカットを使う

キーボードショートカットを利用するには、機能ごとに対応しているキーを長押しします。たとえば、メッセージをすばやく削除するときは、**「D」**キーを長押しします。

注意 **「F - フラグ」**は本機では機能しません。

第8章

アプリケーションとデータ管理

8.1 Microsoft Office Mobile

Office Mobileでは、以下の4つのアプリケーションを使用して、Microsoft文書を作成、編集、閲覧することができます。

- **Word Mobile** は Microsoft Word の簡易バージョンです。PC で作成した Word ドキュメントを本機で開き、編集することができます。また、Word Mobile でドキュメントやテンプレートを新規作成し、**doc**、**rtf**、**txt**、**dot** ファイルを保存することができます。
- **Excel Mobile** を使うと、PC で作成した Excel ワークブックやテンプレートを開いたり、編集したりすることができます。また、本機で新しいワークブックやテンプレートを作成することもできます。
- **PowerPoint Mobile**では、PCで作成した**ppt**および**pps**形式のスライドショープレゼンテーションを実行することができます（作成、編集は行えません）。
- **OneNote Mobile** では、パソコンで作成したOneNoteファイルを開いたり、OneNoteファイルを新規に作成することができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。

Office Mobile アプリケーションを起動する

[スタート] > **[Office Mobile]** をタップし、起動するOffice Mobile アプリケーションを選択します。

注意

- Word Mobile は Microsoft Word のすべての機能に対応しているわけではありません。変更履歴やパスワード保護などはご利用になれません。ドキュメントを本機で保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Word Mobile で対応している機能を確認するには、本機のヘルプをご覧ください。
- Excel Mobile は関数やセルコメントなど、一部の機能に対応していません。ワークブックを本機で保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Excel Mobile で対応している機能を確認するには、本機のヘルプをご覧ください。
- OneNote Mobileは、パソコン用Microsoft OneNoteとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

8.2 Adobe Reader LEを使う

Adobe Reader LE を使うと、PDF ファイルを表示することができます。

Adobe Reader LE を起動する

[スタート] > **[プログラム]** > **[Adobe Reader LE]** をタップします。

本機で PDF ファイルを開く

1. **[開く]** をタップします。
2. フォルダを参照し、表示する PDF ファイルをタップします。

PDF ファイルを操作する

PDF ファイルでは次のような操作ができます。

- 縦または横のスクロールバーにある上、下、左、右の矢印キーをタップし、ページを自由にスクロールさせることができます。
- ナビゲーションの上、下、左、右ボタンを押すと、ページを上下に移動したり、ページ内をスクロールしたりできます。
- 前のページに移動するには ◀ を、次のページに移動するには ▶ をタップします。また、先頭ページにジャンプするには ⏮ を、最終ページに移動するには ⏭ をタップします。
- **[ツール]** > **[移動]** をタップすると、特定のページへ直接移動することができます。

PDF ファイルで文字を検索する

1. PDF ファイルを開きます。
2. **[ツール]** > **[検索]** > **[文字列]** をタップします。
3. 検索する文字を入力します。
4. 大文字・小文字を区別する、単語全体、後方検索など、検索条件を選択し、**[検索]** をタップします。

Adobe Reader LE を終了する

[メニュー] > **[終了]** をタップします。

ヒント
- Adobe Reader LE では ブックマークを含む PDF ファイルのためにブックマークウィンドウが表示されます。ブックマークをタップすると、ファイル内の特定部分やページにジャンプすることができます。
- Adobe Reader LE は最大128ビット暗号までのパスワード保護された PDF に対応しています。パスワードにより保護された PDF ファイルを開くと、まずパスワードを入力するよう要求されます。

8.3 ファイルをコピー/管理する

本機とPC間でファイルをコピーしたり、本機に挿入されたmicroSDカードにファイルをコピーすることができます。また、ファイル エクスプローラを使用すると、ファイルやフォルダを効率的に管理できます。

Windows Mobile デバイスセンター/ActiveSync を使用してファイルをコピーする

Windows MobileデバイスセンターまたはActiveSyncを使うと、PCから本機へ、またはその逆にファイルをコピーすることができます。

本機と PC の間でファイルをコピーする

1. 本機を PC に接続します。
2. PC の Windows Mobile デバイスセンターで **[ファイル管理]** > **[デバイスのコンテンツの参照]** をクリックするか、ActiveSync で **[エクスプローラ]** をクリックし、本機の「モバイルデバイス」フォルダを開きます。
3. 本機から PC にファイルをコピーします。
   a. 「モバイルデバイス」フォルダでコピーしたいファイルに移動します。
   b. ファイルを右クリックし、**[コピー]** をクリックします。
   c. PC でコピー先のフォルダを選択します。フォルダを右クリックし、**[貼り付け]** をクリックします。

4. PC から本機にファイルをコピーします。
    a. PC でコピーしたいファイルが含まれるフォルダまで移動します。
    b. ファイルを右クリックし、**[コピー]** をクリックします。
    c. 「モバイルデバイス」で保存先のフォルダを右クリックし、**[貼り付け]** をタップします。

コピーしたファイルは同期されていないため、本機とPCのファイルとでは異なった状態になります。変更内容を更新するために、本機とPCとでファイルを同期してください。

ファイル エクスプローラ

ファイル エクスプローラにより本機のフォルダの内容を確認できます。本機のルートフォルダは「マイ デバイス」となり、PCの「マイ コンピュータ」と同様に「My Documents」、「Program Files」、「Temp」、「メモリカード」および「Windows」 フォルダなどを含んでいます。

ファイル エクスプローラを起動する

1. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ファイル エクスプローラ]**をタップします。
2. 開きたいフォルダまたはファイルをタップします。
3. 上の階層に戻るには、下矢印 (▼) をタップしてフォルダを選択します。
4. ファイルの削除、名前の変更、コピーなどをすばやく行うには、ファイルをタップしたままでショートカットメニューから項目を選択します。ファイルをタップしてドラッグすると、複数のファイルを選択できます。

microSDカードにファイルをコピーする

1. 本機に microSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。
2. **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ファイル エクスプローラ]** をタップし、目的のフォルダへ移動します。
3. コピーするファイルをタップしたままにし、**[コピー]** をタップします。
4. 下矢印 (▼) をタップし、**[メモリカード]** をタップします。
5. **[メニュー]** > **[編集]** > **[貼り付け]** をタップします。

microSDカードに自動的に保存する

Word Mobile やメモ帳などのプログラムで、すべての新規作成ドキュメント、メモ、ワークブックなどのファイルをすべてmicroSDカードに保存するよう設定しておくと便利です。

1. プログラムファイルの一覧から **[メニュー]** > **[オプション]** または **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** をタップします。
2. **[保存先]** でmicroSDカードを選択し、新規作成したファイルを自動的にmicroSDカードに保存するよう設定します。
3. **[ok]** をタップします。

注意 **ファイルまたはメモの一覧では、microSDカードに保存されたファイルの隣に** ▼ 記号が表示されます。

8.4 ZIP を使う

ファイルを ZIP 形式に圧縮することで本機のメモリ容量を増やすことができます。さまざまなソースから受信したアーカイブファイルを表示したり、展開したりすることができます。また、本機で新しい ZIP ファイルを作成することもできます。

ZIP を起動し、ZIPファイルを開く

ZIP を使って本機のファイルをアーカイブしたり、または既存のアーカイブファイルを開いたりすることができます。本機で **ZIP** を起動するたびに zip の拡張子を持つファイルを検索し、アーカイブ一覧画面に表示します。

本機で ZIP を起動する

- **[スタート]** > **[プログラム]** > **[ZIP]** をタップします。

ZIP ファイルを開き、ファイルを展開する

1. 次のいずれかの方法でファイルを開きます。
   - ファイルを選択し **[ファイル]** > **[アーカイブを開く]** をタップします。
   - ファイルをタップしたままにし、**[アーカイブを開く]** をタップします。
   - ファイルをダブルタップします。

   注意　複数の ZIP ファイルを同時に選択することはできません。

2. ZIP ファイルに含まれるファイルが表示されます。以下のいずれかの方法でファイルを選択します。
   - ファイルをタップして選択します。
   - 複数のファイルを選択するには、**[メニュー]** > **[アクション]** をタップし、**[マルチ選択モード]** が選択されていることを確認します。各ファイルをタップして選択します(選択したファイルを再度タップすると、選択を解除します)。
   - すべてのファイルを選択するには、**[メニュー]** > **[アクション]** > **[すべて選択]** をタップします。
3. **[メニュー]** > **[アクション]** > **[解凍]** をタップします。
4. ファイルを展開するフォルダを選択し、**[解凍]** をタップします。

ZIP アーカイブを作成する

1. **[新規作成]** または **[ファイル]** > **[新規アーカイブ]** をタップします。
2. 名前を付けて保存の画面で、ZIP ファイルの名前を指定し、保存先フォルダを選択します。ZIP ファイルを本機のメインメモリに保存するか、microSDカードに保存するかを選択することもできます。
3. **[保存]** をタップします。
4. **[メニュー]** > **[アクション]** > **[追加]** をタップします。
5. アーカイブするファイルを含むフォルダをダブルタップします。
6. 以下のいずれかの方法でファイルを選択します。
   - ファイルをタップして選択します。
   - 複数のファイルを選択するには、画面でタップしたままにして**[マルチ選択モード]** を選択し、対象のファイルをタップします(選択したファイルを再度タップすると、選択を解除します)。
   - すべてのファイルを選択するには、画面でタップしたままにし、**[すべて選択]** をタップします。
7. **[追加]** をタップします。
8. **[メニュー]** > **[ファイル]** > **[アーカイブを閉じる]** をタップします。
9. ZIP ファイルを閉じた後、**[検索]** をタップし、すべての ZIP ファイルを検索してアーカイブ一覧画面に表示します。

第9章

接続のしかた

9.1 Comm Manager を使う
9.2 インターネットに接続する
9.3 ワイヤレスLAN
9.4 3Gパケット通信
9.5 ダイヤルアップ/その他の接続
9.6 データ接続を始める
9.7 Internet Explorer Mobile
9.8 本機をモデムとして使う
9.9 Bluetooth を使う
9.10 Windows Live

9.1 Comm Manager を使う

Comm Manager では、電話機能のオン/オフを切り替えたり、データ接続を管理することができます。

Comm Manager を開く

- **[スタート]** > **[プログラム]** > **[Comm Manager]** をタップします。

1 フライトモードのオン/オフを切り替えます。フライトモードをオンにすると、電話、Bluetooth、ワイヤレスLAN 機能がオフになります。

2 Bluetoothのオン/オフを切り替えます。本機の Bluetoothを設定するには、**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]**タブ > **[Bluetooth]** をタップします。詳しくは「9.9 Bluetoothを使う」(P.178)をご覧ください。

3 ダイレクトプッシュ機能のオン/オフを切り替えます。

4 着信音を鳴らすか、またはマナーモードを設定するかを切り替えます。

5 本機と PC との同期を行うため、ActiveSync を開きます。ActiveSync の設定について、詳しくは「第5章 情報をPCと同期する」(P.109) をご覧ください。

6 電話機能のオン/オフを切り替えます。着信音やその他の設定を行うには、**[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]**タブ > **[電話]** をタップします。電話設定の詳細は、「4.3 電話の設定とサービスをカスタマイズする」(P.101) をご覧ください。

7 ワイヤレスLAN のオン/オフを切り替えます。**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]**タブ > **[ワイヤレス LAN]** をタップし、本機のワイヤレスLAN を設定します。

8 有効なデータサービス (HSDPA など) を切断します。Comm Manager では、データサービスに再接続できません。

9 インターネット共有を起動し、本機をモデムとして使用します。詳しくは「9.8 本機をモデムとして使う」(P.177)をご覧ください。

9.2 インターネットに接続する

インターネットに接続する方法

本機は、ワイヤレスや従来のネットワーク機能を使ってインターネットや社内ネットワークに接続できます。次のいずれかの方法が使用できます。

- ワイヤレスLAN
- パケット通信
- ダイヤルアップ（GSM のみ対応のため日本国内では使用できません）
- VPN（Virtual Private Network）やプロキシ接続など社内ネットワーク

9.3 ワイヤレスLAN

ワイヤレスLAN は最長100m の距離まで無線によるインターネットアクセスを提供します。本機でワイヤレスLAN を利用するには、公衆または自宅のワイヤレスアクセスポイントに接続します。コーヒーショップやレストランなどの公共施設にいる場合は、公衆ワイヤレスアクセスポイントにアクセスします。

注意
- 本機のワイヤレスLAN の受信強度や範囲は周囲の建物や障害物などの状況により異なります。
- 電池を節約するため、 使用しないときはワイヤレス LAN をオフにしておくことをお勧めします。

ワイヤレスLANのオン/オフを切り替える

1. **[スタート] > [プログラム] > [Comm Manager]**をタップします。
2. **[ワイヤレスLAN]** ボタンをタップし、ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えます。ワイヤレスLAN アイコンがワイヤレス接続状況を示します。

   : ワイヤレスLAN はオンです。

   : ワイヤレスLAN はオフです。

3. 利用可能なワイヤレスネットワークが検出されます。

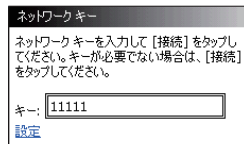
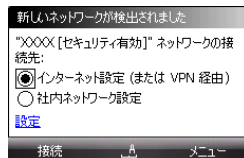
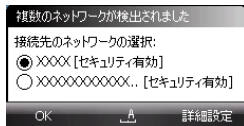
ワイヤレスネットワークへの接続

ワイヤレス LAN がオンになると、 本機は利用可能なワイヤレスネットワークの検索を開始します。

ワイヤレスネットワークに接続する

1. 検出されたワイヤレスネットワークの名前がポップアップウィンドウに表示されます。接続するワイヤレス LAN を選択し、**[OK]** をタップします。

2. ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続する場合は、次のポップアップウィンドウで **[インターネット接続]** をタップします。ワイヤレス LAN を使って社内 LAN などのプライベートネットワークに接続する場合は、**[社内ネットワーク設定]** をタップし、**[接続]** をタップします。

3. ワイヤレス LAN がネットワークキーにより保護されている場合は、キーを入力し、**[接続]** をタップします。

次回、本機を使ってワイヤレスネットワークを検出するときは、ポップアップメッセージは表示されません。アクセスしたことのあるネットワークへ再度アクセスする場合は、ネットワークキーも入力する必要はありません (ただし、本機をフォーマットした場合を除きます)。

注意 ワイヤレスLAN ネットワークは自動的に検出されますので、接続のための操作は必要ありません。ただし、一部の非公開ワイヤレスネットワークに関しては、ユーザー名やパスワードの入力が必要な場合があります。

ワイヤレス LAN の状態を確認する

本機では、次の3つの画面でワイヤレス接続状態を確認できます。

- **タイトルバー**： 本機でワイヤレスLAN を有効にすると、タイトルバーにワイヤレスLAN オンのアイコン（ ）が表示されます。

  ワイヤレスLAN がオンになると、本機は使用可能なワイヤレスネットワークを検索し、タイトルバーにはワイヤレス信号アイコン（ ）が表示されます。本機がワイヤレス LAN 信号を検出しているときは、アイコンの矢印が前後に動きます。ワイヤレス LAN への接続が確立すると矢印の動きが止まります。

- **ワイヤレス LAN 画面**：**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[ワイヤレス LAN]** > **[メイン]** タブをタップします。ここでは、本機が接続しているワイヤレスネットワークの名前が表示されます。ワイヤレスネットワークの構成や信号の強度も表示されます。

- **ワイヤレスネットワーク構成画面**：**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[Wi-Fi]** > **[ワイヤレス]** タブをタップします。この画面には現在使用可能なワイヤレスネットワークが表示されます。

  - 一覧の中のワイヤレスネットワークに接続するには、任意のネットワークをタップし、**[接続]** をタップします。
  - 一覧にあるワイヤレスネットワークをタップして詳細を表示したり、または接続設定を変更することができます。
  - **[新しい設定の追加]** をタップすると、新しいワイヤレスネットワークを追加できます。

ワイヤレスネットワークに接続中に電池を節約するには

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブをタップし、**[ワイヤレス LAN]** をタップしてワイヤレス LAN 設定画面を開きます。
2. ワイヤレス設定画面の **[パワーモード]** タブで、**[省電力モード]** のスライダーを移動し、パフォーマンスと消費電力のバランスを調節します。

スライダーを左（パフォーマンス優先）に動かすとワイヤレスLAN 性能が向上し、右（バッテリー優先）に動かすと電池を節約することができます。

9.4 3G パケット通信

3Gパケット通信は、パケット通信網を通して情報の送受信が行えるデータ通信サービスです。インターネットに接続したり、電子メールを送受信することができます。3Gパケット通信を使用してデータの送受信を行うと、データのパケット数に応じて通信料が課金されます。

ヒント 本機には、あらかじめ3Gパケット通信が設定されています。既定の設定内容は以下のとおりです。

接続名：EMnet

- **モデムの選択**：パケット通信
- **アクセスポイント**：emnet.connect
- **ユーザー名**：emobile
- **パスワード**：emobile

プロキシの設定：

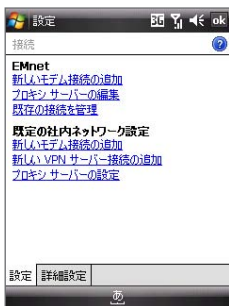
- **サーバー**：wm.internal.emnet.ne.jp
- **ポート**：8080

接続名：emb

- **モデムの選択**：パケット通信
- **アクセスポイント**：emb.ne.jp
- **ユーザー名**：em
- **パスワード**：em

パケット通信の接続を設定する

パケット通信の設定内容を変更してしまった場合、アクセスポイント名やユーザー名、パスワードを以下の手順で設定してください。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[接続]** をタップします。
2. **[EMnet]** で **[既存の接続を管理]** をタップします。

3. **[モデム]** タブの画面で、**[EMnet]** を選択し、**[編集]** をタップします。
4. **[接続名 :]** で接続名をタイプし、**[次へ]** をタップします。
5. **[アクセス ポイント名 :]** で **「emnet.connect」** とタイプし、**[次へ]** をタップします。
6. **[ユーザー名 :]** および **[パスワード :]** に **「emobile」** とタイプし **[完了]** をタップします。
7. **[プロキシの設定]** タブをタップし、**「このネットワークをインターネットに接続する」** および **「プロキシ サーバーを使用してインターネットに接続する」** にチェックを入れ、**[詳細設定]** をタップします。
8. **[種類]** の中から HTTP をタップし、**[サーバー]** に **「wm.internal.emnet.ne.jp」**、**[ポート]** に **「8080」** をタイプし **[ok]** をタップします。
9. **[ok]** をタップし、プロキシ サーバーの設定を完了します。
10. **[ok]** をタップし、パケット通信の設定を完了します。

9.5 ダイヤルアップ/その他の接続

本機を使ってプロバイダやインターネットに接続する場合、接続時間に応じて課金される場合があります。

プロバイダへのダイヤルアップ接続を設定する

本機でダイヤルアップ接続を確立する場合は、PC でのダイヤルアップ接続と同様の設定が必要になります。つまり、プロバイダのダイヤルアップ電話番号、ユーザー名、パスワードなどが必要です。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[接続]** をタップします。
2. **[新しいモデム接続の追加]** をタップします。
3. **[新しい接続]** 画面で接続名を入力します。
4. **[モデムの選択]** リストで **[回線交換 (GSM)]** を選択し、**[次へ]** をタップします。
5. プロバイダのサーバーの電話番号を入力し、**[次へ]** をタップします。
6. ユーザー名、パスワード、その他のプロバイダが要求する情報を入力します。
7. **[完了]** をタップします。

社内ネットワークへの接続

VPN (Virtual Private Network) 接続を利用すると、本機のインターネット接続を通して社内ネットワークにアクセスできます。

プライベートネットワークへの接続を設定する

1. ネットワーク管理者から以下の情報を入手してください。
    - サーバーの電話番号
    - ユーザー名
    - パスワード
    - ドメイン (および IP アドレスなど、必要とされるその他の設定)
2. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[接続]** をタップします。
3. **[既定の社内ネットワーク設定]** で各接続タイプの指示に従ってください。
4. 接続ウィザードを完了し、**[完了]** をタップします。

9.6 データ接続を始める

3G パケット通信などの接続を設定すると、本機を使ってインターネットへアクセスすることができます。インターネット接続を必要とするプログラムを起動すると、自動的に接続が確立します。たとえば、インターネットを閲覧するために Internet Explorer Mobile を起動すると、本機は自動的にインターネットに接続されます。

手動でデータ接続を始める

本機で複数の接続を設定している場合は、手動で接続を開始することもできます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[接続]** をタップします。
2. **[既存の接続を管理]** をタップします。
3. 使用する接続の名前をタップしたままにし、**[接続]** をタップします。

3G パケット通信の接続を切断する

[スタート] > **[プログラム]** > **[Comm Manager]** をタップし、**[データ接続]** ボタン（ ）をタップします。

9.7 Internet Explorer Mobile

Internet Explorer はフル機能を搭載したインターネットブラウザです。

Internet Explorer を起動する

- **[スタート]** > **[Internet Explorer]** をタップします。

Webページを閲覧する

1. Internet Explorer 画面情報のアドレスバーに、閲覧したい Web ページのアドレスを入力します。 をタップすると Web ページが開きます。
2. ナビゲーションコントロールを使用してWebページを閲覧します。リンク先にアクセスするには、リンクを選択してEnterボタンを押します。

Webページを表示中に**[メニュー]**をタップすると、次のような機能を利用できます。

表示中のWebページをお気に入りフォルダに保存するには、**[メニュー]** > **[お気に入りに追加]**をタップします。[お気に入り]をタップすると、保存したお気に入りを選択して表示できます。

Webページの文字サイズや表示方法を変更するには、**[メニュー]** > **[表示]**をタップします。

表示中のWebページのURLを送信したり、Webの詳細を表示したり、Internet Explorer Mobileの設定をするには、**[メニュー]** > **[ツール]**をタップします。

9.8 本機をモデムとして使う

インターネット共有とは、本機の 3G パケット通信によるインターネット接続をPC など他の機器から利用する機能です。USBケーブルまたはBluetoothによる接続を選択できます。

次の手順で本機を USB モデムとして接続できます。本機を Bluetooth モデムとして使用するには、「本機を Bluetooth モデムとして使う」(P.183)をご覧ください。

注意

- 本機にEM chip(USIMカード)が取り付けられ、パケット通信またはダイヤルアップの設定が完了している必要があります。データ接続の設定が完了していない場合は、インターネット共有画面で**[メニュー]** > **[接続の設定]**をタップしてください。
- USB ケーブルで接続している場合は、PC に Windows Mobileデバイスセンター、または Microsoft ActiveSync 4.5 以降がインストールされている必要があります。
- インターネット共有を使用する前に、PC の Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncとの同期を中止してください。

本機を USB モデムとして設定する

1. 本機で **[スタート]** > **[プログラム]** > **[インターネット共有]** をタップします。
2. **[PC との接続]** の一覧で **[USB]** を選択します。
3. **[ネットワーク接続]** の一覧から本機がインターネット接続で使用している接続名を選択します。
4. USB ケーブルで本機と PC を接続します。
5. **[接続]** をタップします。

インターネット接続を終了する

- インターネット共有画面で **[切断]** をタップします。

9.9 Bluetooth を使う

Bluetooth とは近距離における無線通信技術です。Bluetooth 対応機器同士であれば、約8m 以内で無線通信を行うことができます。

Bluetooth のモード

本機の Bluetooth には3つのモードがあります。

- **オン**: 本機は他の Bluetooth 対応機器を検出することができますが、相手側の機器から検出することはできません。
- **オフ**: このモードでは、Bluetooth を使ってデータを送受信することはできません。電池を節約したい場合や、航空機内、病院内などワイヤレス通信機器の使用が禁じられている場所では Bluetooth をオフにしてください。
- **検出可能**: Bluetooth がオンになっており、他の Bluetooth 対応機器が本機を検出できます。

注意 既定では Bluetooth はオフになっています。Bluetooth をオンにした状態で本機の電源を切ると、Bluetooth もオフになります。本機の電源を入れると、Bluetooth は自動的にオンになります。

Bluetooth をオンにし、本機を検出可能にする

1. 本機で **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[Bluetooth]** をタップします。
2. **[モード]** タブで **[Bluetooth をオンにする]** と **[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]** にチェックを入れます。
3. **[ok]** をタップします。

Bluetooth パートナーシップ

Bluetooth パートナーシップ（ペアリング）とは、本機と他の Bluetooth 対応機器との間で安全なデータ通信を行うための接続関係です。

Bluetooth パートナーシップを確立する

1. 本機で **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[Bluetooth]** をタップします。

2. **[デバイス]** タブで **[新しいデバイスの追加]** をタップします。本機が他の Bluetooth デバイスを検索し、一覧に表示します。
3. ここで任意の名前をタップします。
4. **[次へ]** をタップします。
5. 安全な接続を確立するため、パスコードを指定します。パスコードは1～16文字で設定します。
6. **[次へ]** をタップします。
7. 相手のデバイスがパートナーシップを受け入れるまで待ちます。パートナーシップを受け入れる側も、送信側と同じパスコードを入力する必要があります。
8. パートナーシップが確立すると、相手のデバイスの名前が表示されます。この名前は任意に変更できます。
9. ペアリングしたデバイスから使用するサービスにチェックを入れます。
10. **[完了]** をタップします。

Bluetooth パートナーシップを受け入れる

1. Bluetooth がオンになっており、検出可能モードにあることを確認します。
2. 他のデバイスからパートナーシップの要求を受けたときに、**[はい]** をタップします。
3. パスコードを入力します（パートナーシップ要求側が入力したものと同じパスコード）。パスコードは1～16文字です。
4. **[次へ]** をタップします。
5. **[完了]** をタップします。以上でペアリングした相手とデータ通信ができるようになります。

ヒント
- Bluetooth パートナーシップの名前を変更するには、**[デバイス]** タブでパートナーシップをタップしたままにして、ショートカットメニューで **[編集]** をタップします。
- Bluetooth パートナーシップを削除するには、**[デバイス]** タブでパートナーシップをタップしたままにして、ショートカットメニューで **[削除]** をタップします。

Bluetooth 対応ハンズフリーまたはステレオヘッドセットを接続する

ハンズフリー通話には、Bluetooth 対応のハンズフリーヘッドセットをご利用ください。

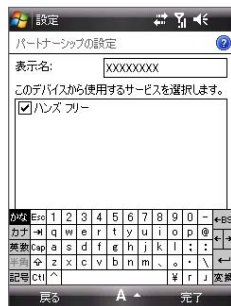
本機は Bluetooth でのステレオオーディオを実現する A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応しています。このため、本機で Bluetooth ステレオヘッドセットを使用し、通話したり、音楽を聴くことができます。

Bluetooth 対応ハンズフリーまたはステレオヘッドセットを接続する

1. 本機と Bluetooth ヘッドセットの両方がオンになっていること、通信範囲内にあること、検出可能となっていることを確認します。ヘッドセットを検出可能モードに切り替える方法については、メーカーの取扱説明書をご覧ください。
2. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブをタップします。
3. **[Bluetooth]** > **[デバイス]** タブ > **[新しいデバイスの追加]** をタップします。本機が他の Bluetooth デバイスを検索し、一覧に表示します。

4. Bluetooth ヘッドセットの名前をタップし、**[次へ]** をタップします。
5. Bluetooth ヘッドセットのパスコードを入力し、**[次へ]** をタップします。
6. **[ハンズフリー]** のチェックボックスが選択されていることを確認してください。

   Bluetooth ステレオヘッドセットの場合は、**[ワイヤレスステレオ]** にもチェックを入れます。
7. **[完了]** をタップします。

注意 Bluetooth ステレオヘッドセットが切断された場合は、ヘッドセットをオンにして、1～3の手順を繰り返します。Bluetooth ステレオヘッドセットの名前をタップしたまま、**[ワイヤレス ステレオに設定]** をタップします。

Bluetooth を使って情報をビームする

連絡先、予定表のアイテム、仕事などのデータ、およびその他のファイルを Bluetooth 対応の PC やデバイスに転送することができます。

注意
- PC に Bluetooth 機能が搭載されていない場合は、Bluetooth アダプタを使用してください。
- PCによっては、Bluetoothの設定方法が異なる場合があります。

本機の情報を PC にビームする

1. 本機の Bluetooth をオンにし、検出可能に設定します。方法については、「Bluetooth をオンにし、本機を検出可能にする」(P.178)をご覧ください。
2. 以下の手順にしたがって、PCのBluetooth機能および検出可能モードをオンにします。
   a. PCのコントロールパネルから**[Bluetoothデバイス]**を開き、**[オプション]**タブをクリックします。
   b. Windows Vistaの場合は、**[Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する]**を選択します。

      Windows XPの場合は、**[発見機能を有効にする]**と**[Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する]**を選択します。
   c. 本機と PC の間で Bluetooth パートナーシップを確立します。パートナーシップの確立方法については、「Bluetooth パートナーシップ」(P.178)をご覧ください。
   d. **[Bluetoothデバイス]**の**[オプション]**タブで、**[Bluetoothアイコンを通知領域に表示する]**を選択します。
   e. Bluetooth によるビームを行うには、PCの画面の右下にあるBluetoothアイコンを右クリックして、**[ファイル受信]**を選択します。
3. 本機でアイテムをタップしたままにし、ビームを行います。予定表、仕事、連絡先カードのアイテム、その他のファイルなどをビームできます。
4. 連絡先をビームするには、**[メニュー]** > **[連絡先の送信]** > **[ビーム]** をタップします。

   その他の情報をビームするには、**[メニュー]** > **[(アイテムの種類) をビーム]** をタップします。
5. ビーム先のデバイス名をタップします。

6. Outlook アイテムをビームする場合、自動的に Outlook には追加されませんので、Outlook で **[ファイル]** > **[インポートとエクスポート]** を選択し、インポートする必要があります。

ポケット PC などの Bluetooth 対応機器にビームする場合は、1～5の手順で行います。

注意
- PCにBluetooth機能が搭載されていない場合、コントロールパネルに「Bluetoothデバイス」アイコンは表示されません。
- PCにBluetooth機能が搭載されている場合でも、コントロールパネルに[Bluetoothデバイス]アイコンが表示されず、他の方法を利用している場合があります。

ヒント
- ビームで受信したアイテムが保存されるデフォルトフォルダは、Windows XPでは**マイドキュメント**、Windows Vistaでは**ドキュメント**となります。
- 本機でビームを受信するには、**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[ビーム]** をタップし、**[すべての着信ビームを受信する]** にチェックを入れます。

Bluetooth Explorer と Bluetooth によるファイル共有

Bluetooth Explorer は、ファイル共有が可能な他の Bluetooth デバイスを検索し、Bluetooth 共有フォルダへのアクセスを可能にします。共有ファイルからファイルをコピーしたり、サブフォルダを作成したりできます。本機の **Bluetooth ファイル共有**を有効にすると、他の Bluetooth 対応機器も Bluetooth 共有フォルダにアクセスできるようになります。

Bluetooth Explorer と Bluetooth ファイル共有を有効にする

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** タブ > **[Bluetooth]** > **[FTP]** タブをタップします。
2. **[Bluetooth エクスプローラーの有効]** にチェックを入れます。これで、ファイル エクスプローラに **Bluetooth** デバイスフォルダが表示されます。
3. **[ファイルの共有の有効]** にチェックを入れます。

   既定の Bluetooth 共有フォルダを使用するか、または **[参照]** をタップして別のフォルダを共有フォルダとして指定することができます。
4. **[ok]** をタップします。

Bluetooth Explorer を使う

1. Bluetooth Explorer はファイル エクスプローラに統合されたプログラムです。**[スタート]** > **[プログラム]** > **[Bluetooth Explorer]** をタップするか、またはファイル エクスプローラの左上にある下矢印 ▼ をタップし、**[Bluetooth]** をタップして、プログラムを開きます。
2. Bluetooth Explorer がファイルを共有できる Bluetooth デバイスを検出します。一覧から接続する Bluetooth デバイスを選択します。デバイスによってはパスコードが必要な場合があります。
3. Bluetooth 共有フォルダにファイルがある場合、Bluetooth Explorer 画面に表示されます。
   ファイルを選択し、**[メニュー]** > **[編集]** をタップし、ファイルを切り取るか、またはコピーするかを選択します。

4. **[上へ]** を2回タップします。
5. ファイルを貼り付けるフォルダへ移動し、**[メニュー]** > **[編集]** > **[貼り付け]** をタップします。

注意 Bluetooth Explorerによって接続先のデバイスにファイルが移動、またはコピーされるとき、セキュリティソフトウェアなどによって、移動やコピーを実行するかどうか確認する場合があります。

本機を Bluetooth モデムとして使う

Bluetooth を使って本機をノート PC やデスクトップ PC に接続し、本機をモデムとして使用することができます。

注意 PC に Bluetooth 機能が搭載されていない場合は、Bluetooth アダプタを使用してください。

PC が本機の接続を利用してインターネットにアクセスする場合、本機のインターネット共有を有効にし、PC と本機との間で PAN (Bluetooth Personal Area Network) を設定する必要があります。

1. 本機で Bluetooth をオンにし、検出可能モードにします。

2. 「Bluetooth パートナーシップを確立する」の手順に従い、本機から Bluetooth のペアリングを行います。
3. 本機のインターネット共有プログラムを開きます。**[スタート]** > **[プログラム]** > **[インターネット共有]** をタップします。
4. **[PC との接続]** で **[Bluetooth PAN]** を選択します。
5. **[ネットワーク接続]** の一覧から本機がインターネット接続で使用している接続名を選択します。
6. **[接続]** をタップします。
7. PC で Bluetooth PAN (Personal Area Network) を設定します。

   Windows Vista の場合:

   a. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[ネットワークとインターネット]** > **[ネットワークと共有センター]** をクリックします。
   b. **[ネットワーク接続の管理]** をクリックし、**[パーソナルエリアネットワーク]** で **[Bluetooth ネットワーク接続]** をダブルクリックします。
   c. [Bluetooth パーソナルエリアネットワークデバイス] のダイアログボックスで本機を選択し、**[接続]** をクリックします。

   Windows XP の場合:

   a. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[ネットワーク接続]** をクリックします。
   b. **[パーソナルエリアネットワーク]** で **[Bluetooth ネットワーク接続]** アイコンをクリックします。
   c. **[ネットワークタスク]** で **[Bluetooth ネットワークデバイスを表示]** をクリックします。
   d. [Bluetooth パーソナルエリアネットワークデバイス] のダイアログボックスで本機を選択し、**[接続]** をクリックします。
8. 本機のインターネット共有画面で、接続ステータスが表示されていれば、PC が 本機を Bluetooth モデムとして使用し、インターネットに接続されたことを意味します。

9.10 Windows Live

Windows Live は、本機でインターネット機能を楽しむためのツールです。インターネット上で情報を検索したり、友人や家族と連絡を取ることが、より簡単になります。

Windows Live には次のような機能があります。

- **Live Search バー**: Web 上の情報を検索します。
- **Live Messenger**: MSN Messenger Mobile の次世代プログラムです。
- **Live Mail**: Hotmail の次世代バージョンです。
- **Live Contacts**: Live Mail、Live Messenger、Hotmail の連絡先を保存するアドレス帳です。

Windows Live を設定する

初めて Windows Live を使用するときは Windows Live ID (お手持ちの Windows Live Mail または Hotmail のメールアドレス) を使ってサインインします。

初めて Windows Live を設定する

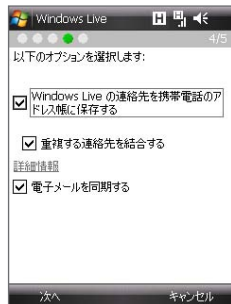
1. **[スタート] > [プログラム] > [Windows Live]** をタップします。
2. **[ここをクリックしてサインインします]** をタップします。
3. 次の画面で Windows Live の使用規定とマイクロソフトのプライバシーポリシーをお読みください。最後に **[承諾]** をタップします。
4. ご利用の Windows Live Mail または Hotmail アドレスとパスワードを入力し、**[パスワードの保存]** にチェックを入れ、**[次へ]** をタップします。

5. Windows Live アプリケーションを Today 画面に表示するかどうかを選択し、**[次へ]** をタップします。

6. 本機と同期させる情報を選択します。

[Windows Liveの連絡先を携帯電話のアドレス帳に保存する]を選択した場合、Windows Liveの連絡先が本機の連絡先と Live Messenger の両方に追加されます。

[電子メールを同期する]を選択した場合、Windows Live Mail または Hotmail の受信トレイにあるメッセージが本機にダウンロードされます。

7. **[次へ]** をタップします。
8. 同期が完了したら、**[完了]** をタップします。

Windows Liveのインターフェース

Windows Liveのメイン画面には検索バー、ナビゲーションバー、そしてカスタマイズエリアが表示されます。この部分には自分の画像を表示できます。

1 Live Search バー。
2 左右の矢印をタップすると、Windows Live Messenger、Live Mail、同期ステータスを切り替えます。
3 Windows Live Messenger の設定を開きます。
4 **[メニュー]** をタップし、設定の確認や変更を行います。

ヒント Today 画面に Windows Live アプリケーションを表示するよう設定できます。これらの表示/非表示を切り替えるには、Windows Live を開き、**[メニュー]** > **[オプション]** > **[[Today] 画面のオプション]**をタップします。

Windows Live Messenger

Windows Live Messenger では、オンラインでインスタントメッセージを送受信できます。Windows Live Messenger のモバイルバージョンでは、デスクトップバージョンと同様に以下の機能がご利用になれます。

- 文字や音声のインスタントメッセージ
- 複数ユーザー同士の会話
- 絵文字
- オンライン状態が表示されるメンバーリスト
- 画像などのファイルの送受信
- オンライン状態や表示名の変更
- オンライン状態、グループなどでメンバーを分類表示
- メンバーがオフラインのときでもメッセージ送信可能

注意 Live Messenger を使用するには、本機をインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続方法については、「9.2 インターネットに接続する」(P.169)をご覧ください。

メッセンジャーを起動し、サインイン

Windows Live Messenger を開く

次のいずれかの方法で開きます。

- **[スタート]** > **[プログラム]** > **[Messenger]** をタップします。
- Windows Live または Today 画面で左右の矢印をタップし、**[Messenger]** を表示しタップします。

サインインとサインアウト

1. サインインするには、メッセンジャー画面で **[サインイン]** をタップします。
2. 初めてサインインするときは、本機の連絡先リストにメッセンジャーのメンバーが追加されることを知らせる通知が表示されます。**[ok]** をタップしてメンバーを追加します。
   ご利用の接続状態により、サインインには数分かかる場合があります。

3. サインアウトするには、**[メニュー]** > **[サインアウト]** をタップします。オンライン状態がオフラインに変わります。

注意　サインインすると通信が発生し、電池の消耗が早くなります。

会話を始める/終了する

1. メンバーリストでメンバーを選択し、**[メッセージの送信]** をタップし、メッセージ画面を開きます。
2. メッセージ画面の文字入力欄に文字のメッセージを入力します。
3. 絵文字を追加するには、**[メニュー]** > **[絵文字の追加]** をタップし、絵文字の一覧から使用するアイコンをタップします。
4. **[送信]** をタップします。
5. 会話を終了するには、**[メニュー]** > **[会話を終了]** をタップします。

ヒント
- ファイルを送信するには、**[メニュー]** > **[送信]** をタップします。画像、音声メモ、その他のファイルを選択できます。
- 進行中の会話に他のメンバーを招待するには、**[メニュー]** > **[オプション]** > **[参加者の追加]** をタップします。

Windows Live のメンバーを追加する

Windows Live Messenger または本機の連絡先で、Windows Live のメンバーを追加できます。

Windows Live Messenger で Windows Live のメンバーを追加する

1. **[メニュー]** > **[新しいメンバーの追加]** をタップします。
2. メンバーの電子メールアドレスを入力し、**[ok]** をタップします。

連絡先 で Windows Live のメンバーを追加する

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップします。
2. **[新規作成]** をタップし、**[Windows Live]** をタップします。
3. **[IM]** 欄をタップし、相手の Windows Live ID であるメンバーの電子メールアドレス、またはその他のメールアドレスを入力します。

   ヒント　必要に応じてメンバーのその他の情報も入力できますが、Windows Live Messenger や Live Mail のみを使って連絡する相手であれば、必須ではありません。

第10章

GPS を使用する

10.1　GPS を使うためのガイドと準備
10.2　クイック GPS を通して衛星データをダウンロードする

10.1 GPS を使うためのガイドと準備

- 信号の強度は高層ビル、トンネル、橋、森、悪天候（雨やくもりなど）により影響を受ける場合があります。
- GPS は米国防省により構築され、運営されています。同省がシステムの精度および維持管理を担当しています。このため、米国の政策上の必要に応じて有事があった際など、同省が何らかの変更を加えた場合、GPS の精度や機能に影響をきたす場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。

10.2 クイック GPS を通して衛星データをダウンロードする

本機で GPS ナビゲーションを使用する前に、まず **クイック GPS** プログラムを開き、衛星軌道データ（現在の衛星位置とタイミング情報）を本機にダウンロードします。このデータは、本機の現在の位置を測位するために必要です。

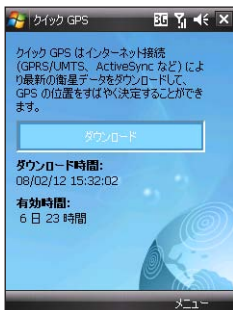
クイック GPS は本機のインターネット接続を利用して、衛星からではなく、Web サーバーから衛星軌道データをダウンロードします。インターネットへは ActiveSync、ワイヤレスLAN、または 3G パケット通信などの方法で接続します。この方法で、GPS 位置の確認を素早く行うことができます。

注意
- 本機のGPS機能は、クイックGPSで衛星データをダウンロードしなくても利用できます。
- 衛星データをダウンロードしていない場合、位置情報の確認に時間がかかります。

クイック GPS を開く

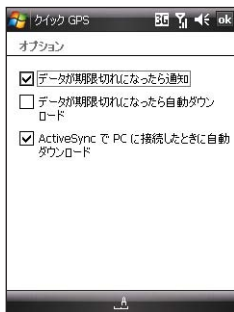
- **[スタート]** > **[プログラム]** > **[クイック GPS]** をタップします。

データをダウンロードする

- クイック GPS 画面で **[ダウンロード]** をタップします。

最初の画面で、ダウンロードされたデータの有効期限が6日23時間と表示されます。時間が経過すると、残りの日数や時間が表示されます。

GPS ポジショニングを素早く行うために、衛星軌道データが期限切れになったときは最新のデータをダウンロードしてください。

ダウンロードオプション

ダウンロード時間を設定するには、**[メニュー]** > **[オプション]** をタップし、以下のオプションを選択します。

- **データが期限切れになったら通知**：衛星軌道データの有効期限が切れたときに本機に通知します。

  警告メッセージが表示されたら、**[メニュー]** をタップしてメッセージを無視するか、後で警告を表示するようにします。**[ok]** をタップして クイック GPS プログラムを開き、最新データをダウンロードします。

- **データが期限切れになったら自動ダウンロード**：データの有効期限が切れたときに、衛星軌道データを自動的に本機にダウンロードします。
- **ActiveSync で PC に接続したときに自動ダウンロード**：本機が PC に接続されているとき、ActiveSync を通して衛星軌道データを自動的に本機にダウンロードします。データをダウンロードするには、インターネットに接続されている必要があります。

注意　衛星軌道データは HTC の Web サーバーに保存されています。クイック GPS は、これらのサーバーに接続するようあらかじめ設定されています。

第11章

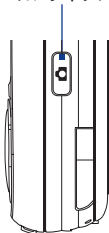
マルチメディアを楽しむ

11.1 カメラを使う

本機に内蔵されたカメラを使って、写真や音声付きビデオクリップを撮影することができます。

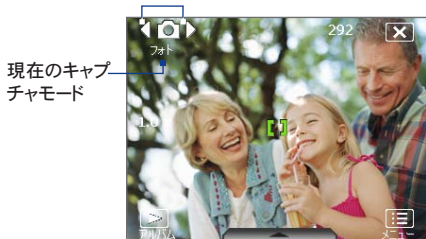
カメラ画面を開く

- 本機のカメラボタンを押します。
- **［スタート］**＞**［プログラム］**＞**［カメラ］**をタップします。

カメラを終了する

- **終了**アイコン（ ）をタップします。

キャプチャモード

本機のカメラを使い、さまざまなモードで画像やビデオクリップを撮影することができます。カメラモードは、既定では**フォト**キャプチャモードに設定されています。画面左上には現在のキャプチャモードが表示されます。次のいずれかの方法で、他のモードに切り替えることができます。

キャプチャモードを切り替える

ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押してキャプチャモードを切り替えることもできます。

このカメラでは、以下のキャプチャモードが使用できます。

- **フォト**: 標準の静止画像を撮影します。
- **ビデオ**: ビデオクリップを音声付き／音声無しで撮影します。
- **MMSビデオ**: MMSで送信するビデオクリップを撮影します。
- **連絡先ピクチャ**: 静止画像を撮影し、この画像をすぐに連絡先のフォト ID として使用できます。
- **ピクチャのテーマ**: 静止画像を撮影し、フレームに挿入します。
- **パノラマ**: 同じ方向で連続した静止画像を複数撮影し、これらをつなぎ合わせて風景のパノラマビューを作成します。
- **スポーツ**: 連続した静止画像 (3、5、7、10枚) を自動撮影します。
- **連写**: 本機のカメラボタン、またはナビゲーションコントロールの Enter ボタンを押している間 (最長30秒間)、静止画像を連続撮影します。

対応ファイル形式

上記のキャプチャモードでは、次の画像形式で撮影できます。

キャプチャタイプ	形式
静止画像/連絡先ピクチャ/ピクチャのテーマ/パノラマ/スポーツ/連写	JPEG
ビデオ/MMSビデオ	MPEG-4 (mp4)、H.263(3gp)

カメラの操作

カメラに搭載されたオートフォーカス機能を利用し、被写体にピントの合った写真やビデオクリップを撮影することができます。**[メニュー]** > **[撮影オプション]**では、カメラボタンを半押しの状態で写真やビデオを撮影するか、全押しして撮影するかを設定することができます。

カメラボタンまたはEnterボタンを押すとピント調整が行われ、が点滅します。焦点が決まったら、アイコンが に変化します。

注意 **[撮影オプション]**の設定は、カメラボタンのみ有効です。Enterボタンでの撮影は自動的にシャッターが切れます。

写真を撮影する

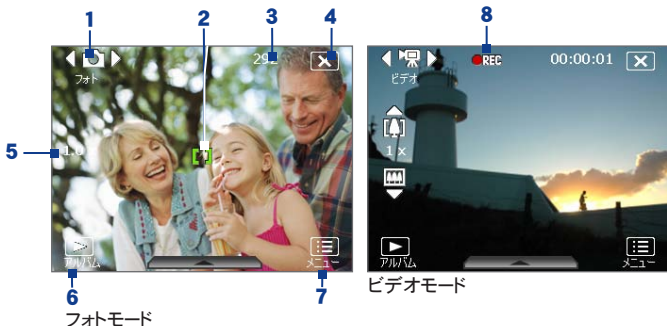
- カメラボタンまたはEnterボタンを押し、写真や連絡先ピクチャを撮影します。
- ピクチャのテーマやパノラマ用写真を撮影するときは、 1 回ずつカメラボタンまたは Enter ボタンを押します。
- スポーツモードで連続撮影をする場合は、 カメラボタンまたは Enter ボタンを短く押し、 被写体に合わせてカメラを動かします。
- 連写モードで撮影する場合は、 カメラボタンまたは Enter ボタンを長押しします。

注意　**スポーツモード**または**連写モード**の場合、 オートフォーカスは最初のショットにだけ適用されます。

ビデオを撮影する

カメラボタンまたは Enter ボタンを押してビデオ録画を開始します。 もう一度押すと録画を停止します。

画面上のボタンとアイコン

フォトモード

ビデオモード

ピクチャのテーマモード

1 **モード切り替え**: 画面の左/右の矢印（ / ）をタップすると、キャプチャモードを切り替えることができます。

2 **オートフォーカスインジケータ**: ピント調整中は、が点滅します。焦点が決まると、アイコンが に変化します。

3 **残り枚数／時間表示**: フォト、連絡先ピクチャ、ピクチャのテーマ、パノラマ、スポーツ、連写モードでは、現在の設定で撮影可能な残り枚数を提示します。ビデオモードでは、録画可能な残り時間を提示します。ビデオ録画中は、ここに録画経過時間が表示されます。

4 **終了**: 終了アイコン（ ）をタップするとカメラプログラムを終了します。

5 **ズーム**: 上/下矢印（ / ）または画面の / をタップすると、ズームインまたはズームアウトができます。

6 **アルバム**: 画像とビデオで写真やビデオを表示します。

7 **メニュー**: カメラ設定画面を開きます。

8 **録画インジケータ**: ビデオ録画実行中は赤いインジケータが点滅します。

9 **テンプレートセレクタアイコン**: ピクチャのテーマモードでタップすると、テンプレートを選ぶことができます。

10 **進度インジケータ**: ピクチャのテーマ、パノラマ、スポーツ、連写モードで、連続撮影の合計枚数を示します。

クイック設定パネル

クイック設定パネルを使用して、すばやくカメラ設定を行うことができます。画面をタップしてパネルの表示/非表示を切り替えます。

注意　表示される設定項目は、キャプチャモードによって異なります。

1 **解像度**：解像度アイコン（ / / / / / ）は現在の解像度を示します。タップして別の解像度に切り替えます。

2 **ホワイトバランス**：ホワイトバランスを調整します。オート（ ）、太陽光（ ）、夜景（ ）、白熱灯（ ）、蛍光灯（ ）から選択します。

3 **明るさ**：マイナス/プラスアイコン（ / ）をタップすると、明るさのレベルを上げたり、下げたりできます。

4 **ストレージ**：撮影した写真やビデオクリップを本機のメモリ（ ）に保存するか、microSDカード（ ）に保存するかを決定します。

5 **カメラ**：カメラアイコン（ / / ）は現在のカメラモードを示します。タップすると、カメラを切り替えます。

6 **セルフタイマー**：写真または連絡先ピクチャを撮影する際、セルフタイマーを2秒、10秒、またはオフに設定することができます。この状態でEnter ボタンまたはカメラボタンを押すと、カウントダウンを始め、設定時間（2秒または10秒）が経過した後にシャッターが切れます。

ズーム

カメラで静止画像やビデオクリップをキャプチャするとき、被写体をより大きく撮るためにズームインしたり、またはより広い範囲を撮るためにズームアウトすることができます。

ズームインする

ナビゲーションコントロールの上ボタンを押すか、倍率インジケータの上にある上三角アイコンをタップします。

ズームアウトする

ナビゲーションコントロールの下ボタンを押すか、ナビゲーションの下ボタンまたは下矢印を押します。

画像やビデオクリップ撮影時のズーム範囲はキャプチャモードやキャプチャサイズにより異なります。下表を参照してください。

キャプチャモード	キャプチャサイズ設定	ズーム範囲
フォト	3M (2048 x 1536)	ズーム使用不可
	2M (1600 x 1200)	ズーム使用不可
	1M (1280 x 1024)	1.0x ～ 2.0x
	L (640 x 480)	1.0x ～ 2.0x
	M (320 x 240)	1.0x ～ 4.0x
	S (160 x 120)	1.0x ～ 8.0x
ビデオ	CIF (352 x 288)	1.0x、2.0x
	L (320 x 240)	1.0x、2.0x
	M (176 x 144)	1.0x、2.0x
	S (128 x 96)	1.0x、2.0x
MMS ビデオ	M (176 x 144)	1.0x、2.0x
	S (128 x 96)	1.0x、2.0x
連絡先ピクチャ	L (640 x 480)	1.0x ～ 2.0x
	M (320 x 240)	1.0x ～ 4.0x

キャプチャモード	キャプチャサイズ設定	ズーム範囲
ピクチャのテーマ	テンプレートによる	使用するテンプレートのサイズによる
パノラマ	L (640 x 480)	1.0x、2.0x
	M (320 x 240)	1.0x、2.0x、4.0x
スポーツ	L (640 x 480)	1.0x、2.0x
	M (320 x 240)	1.0x、2.0x、4.0x
連写	L (640 x 480)	1.0x、2.0x
	M (320 x 240)	1.0x、2.0x、4.0x

レビュー画面

静止画像やビデオクリップを撮影した後、撮影した写真やビデオを**レビュー画面**で確認できます。

レビュー画面の下にあるアイコンをタップすると、キャプチャした画像やビデオを削除したり、メールで送信したり、その他の操作を行うこともできます。

アイコン	機能
戻る	タップするとカメラ画面に戻ります。
削除	タップするとキャプチャした画像やビデオを削除します。
送信	タップするとメールで送信します。
表示	タップすると、画像とビデオプログラムで画像を表示したり、Windows Media Player Mobile でビデオを再生したりします。
連絡先に割り当てる	タップすると、写真を選択した連絡先に割り当てます。
参照	スポーツまたは連写モードで写真を撮影した後、連続写真の合計枚数がレビュー画面の右下に表示されます。上/下矢印をタップすると、連続写真を表示できます。

レビュー画面の表示時間を変更する

1. をタップしてカメラ設定画面を開きます。
2. カメラ設定画面で をタップします。詳細設定メニューが表示されます。
3. **[レビュー時間]** をタップし、撮影後、レビュー画面に写真を表示する時間を選択します。

カメラ設定画面

キャプチャモードで静止画像またはビデオクリップをキャプチャする場合、**メニュー**アイコン（ ）をタップすると、カメラ設定画面を開くことができます。カメラ設定画面では、キャプチャ設定を変更することができます。

フォトモードのカメラ設定画面

カメラ設定画面の下にあるアイコンをタップすると、さまざまなメニューが表示されます。使用可能なメニューやオプションは、キャプチャモードにより異なります。
画面上をタップしたり、ナビゲーションコントロールボタンを押してもカメラ設定画面を操作できます。

セルフタイマーメニュー（フォト、連絡先ピクチャモードのみ）

- **セルフタイマー**： セルフタイマーを使って撮影します。**オフ**、**2秒**、**10秒**の設定があります。2秒または10秒を選択すると、カメラボタンまたはEnter ボタンを押してから2秒後または10秒後にシャッターが切れます。

テンプレートメニュー（ピクチャのテーマモードのみ）

- **テンプレート**： テンプレートを選択します 。

スポーツ / 連写設定メニュー（スポーツモードのみ）

- **撮影間隔**： 撮影間隔を選択します。**速く**にすると最も短い撮影間隔で連続撮影します。
- **連写回数**： 連写する写真の枚数を選択します。

ストレージメニュー

- **ストレージ**： ファイルを保存する場所を選択します。メインメモリまたはmicroSDカードに保存できます。

パノラマ設定メニュー（パノラマモードのみ）

- **方向**： パノラマモードで画像をつなぎ合わせる方向を選択します。
- **スティッチ数**： パノラマでつなぎ合わせる写真の枚数を選択します。
- **自動スティッチ**： オートが**オン**になっていると、カメラは複数の写真を自動的に1枚のファイルに統合します。オートが**オフ**になっていると、バラバラの画像として保存されます。

環境メニュー

- **ホワイトバランス**： 電球、暗所など、撮影時の環境に合わせたホワイトバランスを選択します。
- **効果**： グレースケール、セピアなど、写真やビデオクリップに特殊効果を適用することができます。

注意 **ホワイトバランス**と**効果**は同時に選択できません。

キャプチャ設定メニュー

- **解像度**： 画像やビデオサイズを選択します。
- **カメラ**（フォト、ビデオ、MMSビデオ、連絡先ピクチャ、ピクチャのテーマモード）：メインカメラまたはサブカメラで撮影するかを選択します。**サブカメラ（反転）**を選択すると、左右反転して撮影します。
- **画質**： すべての静止画像に対し、JPEG 画質を選択します。**ベーシック**、**ノーマル**、**ファイン**、**スーパーファイン**のいずれかを選択します。

- **測光モード**： 測光モードを選択すると、最適な露出を計算するため、カメラが画像の中央のみで測光するか、または画像全体で測光するかを決定することができます。**中心エリア**を選択すると画像の中央で測光し、**均一**を選択すると画像全体で測光します。
- **タイムスタンプ**(フォト、スポーツ、連写モード)： 撮影日時を入れるかどうかを選択します。

キャプチャモードメニュー

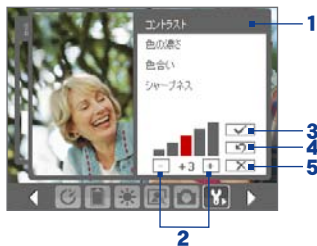
- **モード**： フォト、ビデオ、連絡先ピクチャなど、異なるキャプチャモードを選択します。キャプチャモードについては、「キャプチャモード」(P.194)をご覧ください。

詳細設定メニュー

このバーの左/右アイコンをタップし、詳細設定メニューのメニューページを切り替えます。
または、このバーが選択されるまでナビゲーションコントロールボタンを押し続けます（バーの色が変わります）。左/右を押してメニューページを切り替えます。

- **キャプチャフォーマット**： 任意のファイル形式を選択します。
- **撮影オプション**： カメラボタンを半押しの状態で写真やビデオを撮影するか、全押しして撮影するかを設定します。
- **グリッド**（フォトモードのみ）： カメラ画面でグリッドを表示するかどうかを設定します。グリッドを表示しておくと、構図を作るときに便利です。

- **バックライトを維持**: カメラ使用中にバックライトを使用するかどうかを設定します。カメラ使用時は、カメラのバックライト設定が通常時のバックライト設定よりも優先されます。
- **レビュー時間**: 写真やビデオを撮影後、自動的に保存してカメラ画面に戻る前に、写真やビデオをプレビューする時間を設定します。時間制限を設定したくない場合は、**[無限]** を選択します。撮影後すぐにカメラ画面に戻る場合は、**[レビューしない]** を選択します。
- **ちらつき調整**: 室内で撮影する場合、カメラ画面の縦スキャンと蛍光灯の点滅周波数との間で不整合が生じ、カメラ画面がちらつくことがあります。ちらつきを軽減するには、ちらつき調整を **[自動]** に設定するか、または本機をご利用になっている地域の正しい周波数 (**50Hz** または **60Hz**) に設定してください。
- **音声録音**: ビデオクリップを音声と一緒に録画する場合は **[オン]** を選択します。既定ではオンになっています。**[オフ]** を選択してビデオ撮影を行うと、音声は録音されません。
- **保存ファイル名**: キャプチャした画像やビデオクリップの名前の付け方を指定します。**[デフォルト]** が選択されていると、キャプチャされたファイルは IMAGE または VIDEO という名前と数字の組み合わせで表示されます。例: IMAGE_001.jpg。現在の**日付**または**日付/時刻**をプレフィックスとしてファイルを表示することもできます。
- **カウンター**: 既定では、新しくキャプチャされた画像やビデオファイルはプレフィックスと001、002などの番号で表示されるようになっています。この番号を "001" にリセットするには、**[リセット]** をタップします。
- **記録制限**: 録画可能な最長時間または最大ファイルサイズを指定します。
- **テーマフォルダ** (ピクチャのテーマモードのみ): 既定では、テンプレートは本機**メインメモリ**の ¥My Documents¥Templates フォルダに保存されています。ファイル エクスプローラなどを使ってmicroSDカードにテンプレートを転送してある場合は、このオプションを **[メイン+カード]** に設定し、メインメモリとmicroSDカードの両方からテンプレートを読み取れるようにします。

- **調整**: このオプションは、**コントラスト**、**色の濃さ**、**色合い**、**シャープネス**などカメラの表示設定を調整します。

1 サブメニューで調整するプロパティを1つタップします。

2 値を上げる/下げるには、プラス/マイナスアイコンをタップするか、またはナビゲーションの左/右ボタンを押します。背景のライブカメラ画面が変更後の効果をすぐに表示します。

3 設定を保存し、サブメニューを閉じます。

4 すべてのプロパティをリセットし、既定値に戻します。

5 変更を適用したり、保存したりせずに、サブメニューを閉じます。

11.2 画像とビデオを使う

画像とビデオでは、本機に保存されている画像やビデオクリップを集め、整理し、分類することができます。

ファイルタイプ	ファイル拡張子
画像	bmp、jpg、gif、png
GIF アニメーション	gif
ビデオ	avi、wmv、mp4、3gp、3g2
オーディオ	wma

画像とビデオを表示する

[スタート] > **[プログラム]** > **[画像とビデオ]**をタップします。

メディアファイルを本機にコピーする

- PCやmicroSDカードから、本機のマイ ピクチャフォルダに画像やGIFアニメーションをコピーします。
- PCやmicroSDカードから、本機のマイ ビデオフォルダにビデオファイルをコピーします。

ファイルのコピーや管理についての詳細は、「8.3 ファイルをコピー/管理する」(P.162)をご覧ください。

メディアファイルを表示する

1. Today画面で**[スタート]** > **[プログラム]** > **[画像とビデオ]**をタップします。
2. メディアファイルを選択し、**[表示]**または**[再生]**をタップします。

タップすると、他の階層を選択できます。

タップすると、選択中のメディアファイルを再生できます。

画像とビデオのメニューオプション

メディアファイルを選択して**[メニュー]**をタップすると、実行可能なオプション一覧が表示されます。

設定しているメールアカウントを使用して送信したり、他のデバイスにビームしたり、写真をスライドショーで表示したり、Windows Liveの自分のスペースに送信したりできます。

[オプションの表示]をタップすると、画像の設定やスライドショーの表示方法を設定できます。

注意 表示されるメニューオプションは、選択しているメディアファイルによって異なります。

表示している画像をToday画面の背景に設定するには、**[メニュー]** > **[[Today]の背景に設定する]**をタップします。

画像を編集する

簡単な操作で静止画ファイルの回転やトリミングが行えます。

1. 画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、**[表示]**をタップします。
2. **[メニュー]** > **[編集]**をタップします。
3. **[回転]**をタップして画像を回転するか、**[メニュー]**をタップして他の編集オプションを選択します。

   ヒント **[回転]**をタップするたびに、時計回りに90度ずつ画像が回転します。
4. **[ok]**をタップします。

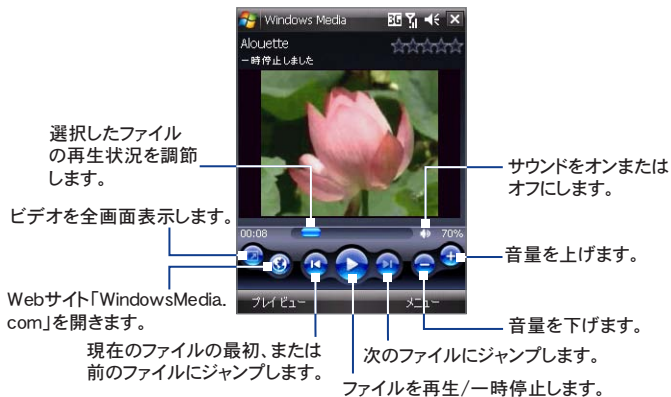
11.3 Windows Media Player Mobile を使う

Microsoft Windows Media Player Mobile を使い、本機やネットワーク上のデジタルオーディオやビデオファイルを再生することができます。

Windows Media Player Mobile を起動する

[スタート] > **[プログラム]** > **[Windows Media]** をタップします。

コントロールについて

以下は Windows Media Player Mobile で使用できるコントロールボタンです。

画面とメニューについて

Windows Media Player Mobile には3つの主要画面があります。

- **再生画面**： 再生コントロール（再生、一時停止、次へ、戻る、音量など）とビデオウィンドウが表示される最初の画面です。この画面の外観は、他のスキンを選ぶと変更することができます。
- **プレイビュー画面**： プレイビュー再生リストを表示する画面です。この再生リストには、現在再生されているファイルと次に再生されるファイルが表示されます。
- **ライブラリ画面**： オーディオファイル、ビデオファイル、再生リストなどを素早く見つけることができる画面です。

各画面の下方から**メニュー**を開くことができます。このメニューのコマンドは、表示されている画面により異なります。メニューのコマンドに関する詳細は、本機のヘルプをご覧ください。

対応ファイル方式

対応ビデオファイル形式	ファイル拡張子
• Windows Media Video	wmv、asf
• MPEG4 Simple Profile	mp4
• H.263	3gp、3g2
• H.264	mp4、3gp、3g2、m4v
• Motion JPEG	avi

対応オーディオファイル形式	ファイル拡張子
• Windows Media Audio	wma
• MP3	mp3
• MIDI	mid
• AMR ナローバンド	amr
• AMR ワイドバンド	awb
• AAC	m4a

ライセンスと保護されたファイルについて

保護されたファイルを PC から本機にコピーする場合、デスクトップのプレーヤーを使ってファイルを本機に同期させてください（PC から本機のデバイスにドラッグするだけではコピーできない場合があります）。同期により、保護されたファイルはライセンスとともにコピーされます。ファイルの同期に関する詳細は、デスクトップのプレーヤーのヘルプをご覧ください。

注意　ファイルのプロパティでファイルの保護状態を確認することができます（**[メニュー]** > **[プロパティ]** をタップ）。

メディアファイルを本機にコピーする

最新バージョンのデスクトッププレーヤーを使い、メディアファイルを本機に同期させます。デスクトッププレーヤーを使うと、保護されたファイルはライセンスと一緒にコピーされます。

コンテンツを自動的に本機に同期する

Windows Media Playerバージョン11での操作で説明しています。

1. PC で Windows Media Player を起動し、本機を PC に接続します。
2. デバイスセットアップウィザードでデバイス名を入力し、**[完了]**をクリックします。
3. 一番左のウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、**[同期の設定]**を選択します。

   注意　本機にmicroSDカードを挿入している場合は、microSDカードとの同期を行うこともできます。

4. **[このデバイスを自動的に同期させる]** にチェックを入れます。
5. 同期させる再生リストを設定し、**[完了]** をクリックします。

   ファイルの同期が始まります。次回、デスクトップバージョンの Windows Media Player を実行中に本機を PC に接続すると、自動的に同期が始まります。

コンテンツを手動で本機と同期およびコピーする

1. 本機と PC との間で同期設定を行っていない場合、「コンテンツを自動的に本機に同期する」の手順1～3を実行します。
2. PCでWindows Media Playerの**[同期]**タブをクリックします。一番左のウィンドウで再生リストまたはライブラリを選択します。

3. 中央のファイルリストから再生リストやメディアファイルを選択し、右側の同期リストにドラッグ&ドロップします。

4. 同期リスト画面の下方にある **[同期の開始]** をクリックします。

注意
- メディアファイルを本機に同期するには、PCで Windows Media Player 11以上を使用してください。
- デスクトッププレーヤーが本機へコピーするオーディオファイルの音質を自動設定するよう構成されている場合、オーディオファイルのコピーが速くなります。詳しくは、デスクトッププレーヤーのヘルプをご覧ください。

メディアの再生

Windows Media Player Mobile のライブラリを使って本機やmicroSDカードに保存された音楽、ビデオ、再生リストなどを再生することができます。

ライブラリを更新する

1. ライブラリ画面を開くには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** をタップします。
2. ライブラリ画面でライブラリ矢印（画面上方）をタップし、使用するメディア保存場所（メモリカードなど）を選択します。
3. 自動的にWindows Media Player Mobileのライブラリが更新されます。**[メニュー]** > **[ライブラリの更新]**をタップすると手動でライブラリリストを更新することもできます。本機やカードにコピーした新しいファイルを確認できます。

本機でメディアファイルを再生する

1. ライブラリ画面を開くには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** をタップします。
2. カテゴリーをタップします（マイミュージック、再生リストなど）。
3. 再生するアイテム（曲、アルバム、アーティスト名など）をタップしたままにし、ポップアップメニューから **[再生]** をタップします。

注意
- 本機に保存されているが、ライブラリには保存されていないファイルを再生するには、ライブラリ画面で **[メニュー]** > **[ファイルを開く]** をタップします。再生するアイテム（ファイルやフォルダなど）をタップしたままにし、ポップアップメニューから **[再生]** をタップします。
- ネットワーク上のアイテムを再生するには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** をタップし、**[メニュー]** > **[URL を開く]** をタップしてURLを入力します。

再生リストを使う

再生リストとは、特定の順序でデジタルメディアファイルを再生するためのリストです。再生リストを利用すると、オーディオやビデオファイルをグループごとにまとめ、再生することができます。

デスクトッププレーヤーでメディアファイルの再生リストを作成し、本機をデスクトッププレーヤーと同期させることができます。メディアの同期については、「メディアファイルを本機にコピーする」(P.207)をご覧ください。

本機の Windows Media Player Mobile では、再生リストは再生リストカテゴリーのライブラリに保存されています。また、プレイビューと呼ばれる一時的な再生リストもあります。プレイビューには現在再生中のファイルと次に再生されるファイルが表示されます。現在のプレイビュー再生リストに名前を付けて保存すると、本機で新しい再生リストを作成することができます。

新しい再生リストを保存する

1. ライブラリ画面を開くには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** をタップします。
2. カテゴリーをタップします（マイミュージック、再生リストなど）。
3. メディアファイルを選択し、**[メニュー]** > **[再生待ちに追加]** をタップします。これでファイルはプレイビューリストに追加されます。

   希望のメディアファイルがすべてプレイビューリストに追加されるまで、このステップを繰り返してください。

   注意　同時に複数のファイルを選択することはできません。

4. メディアファイルを追加した後、**[メニュー]** > **[プレイビュー]** をタップします。
5. プレイビュー画面で **[メニュー]** > **[再生リストを保存]** をタップします。
6. 再生リスト名を入力し、**[完了]** をタップします。
7. 作成した再生リストを再生するには、ライブラリで再生 **[再生リスト]** をタップし、任意の再生リストを選択して **[再生]** をタップします。

トラブルシューティング

Windows Media Player Mobile を使用中に問題が生じた場合は、問題解決のためのさまざまなサポートが用意されています。

詳しくは Microsoft Web サイトの Windows Media Player Mobile のトラブルシューティングページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/player/windowsmobile/）をご覧ください。

11.4 オーディオプレーヤー

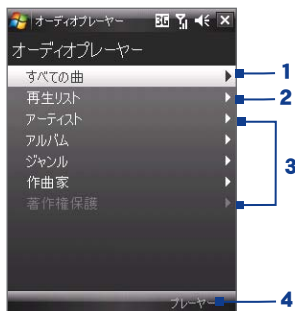
オーディオプレーヤーは、音楽ファイルの管理と再生を行うソフトです。デバイス上にあるすべての音楽ファイルにアクセスし、曲名、アーティスト名、アルバム名などのカテゴリーで整理することで、聞きたい曲を簡単に表示することができます。また、お気に入りの曲をまとめたプレイリストを作成して、ミュージックプレーヤーで再生することもできます。

オーディオプレーヤーを起動する

[スタート] > **[プログラム]** > **[オーディオプレーヤー]**をタップします。

注意
- オーディオプレーヤーは、本体メモリとmicroSDカード上にあるMP3、WMA、AAC、AAC+フォーマットの音楽ファイルを検索します。それぞれの検索対象は、以下の場所となります。
  本体メモリ: ¥Music
  ¥My Documents（すべてのサブフォルダを含む）
  microSDカード: ¥メモリ カード（すべてのサブフォルダを含む）
- 音楽ファイルからアーティスト名、アルバム名、ジャンルなどのメタデータが見つかった場合、自動的にカテゴリー分類が行われます。

ライブラリ

オーディオプレーヤーのライブラリ画面では、サブメニューが利用可能な項目に矢印が付きます。項目名をタップすることで、サブメニューを開くことができます。

ライブラリ：メイン画面　　ライブラリ：すべての曲画面

No.	説明
1	ファイル名や曲名から音楽ファイルを探し出すサブメニューを開きます。
2	再生リストを作成、 再生するサブメニューを開きます。
3	選択されたカテゴリーから音楽を探し出すサブメニューを開きます。
4	ミュージックプレーヤー画面に切り替えます。(ミュージックプレーヤーは自動的に再生を開始しないため、再生アイコンをタップする必要があります。)
5	現在のサブメニュー名を表示します。 タップすることで上位メニューに戻ります。
6	オーディオプレーヤー内の音楽データベースが更新されていた場合、検索アイコンを表示します。データベースが更新されるのは、本体メモリまたはmicroSDカード上の音楽ファイルに、追加、ファイル名変更、削除があった場合です。
7	すべての曲画面を表示している場合、音楽ファイルのファイル名または曲名を表示します。タップまたはナビゲーションコントロールボタンを使うことで、音楽ファイルを選択し、ミュージックプレーヤーで再生することができます。 **アーティスト**、**アルバム**などカテゴリーを表示する画面の場合、さらにサブメニューを開くことができます。タップもしくはナビゲーションコントロールボタンをお使いください。

ライブラリのメイン画面にあるカテゴリー名をタップすると、階層が複数あるサブメニューが表示されることがあります。たとえば、**[アーティスト]**をタップすると、複数のアーティスト名がリスト化されたサブメニューが表示されます。そのアーティスト名のいずれかをタップすると、さらにアルバム名がリスト化されたサブメニューが表示されます。再生する曲名を選択するまでサブメニューが表示されます。

DRM(デジタル著作権管理)で保護された音楽ファイルは、**[著作権保護]**のカテゴリーに分類されます(AAC+、MP3のみ)。ファイル情報を確認する場合は、ファイルを選択して**[メニュー]** > **[プロパティ]**をタップしてください。曲名の前に×印が表示されている音楽ファイルは、権利が無効のため再生することができません。**[削除]**をタップしてファイルを削除できます。

注意 オーディオプレーヤーを終了しても、前回最後に開いたサブメニューが記憶され、次回起動時に表示されます。ライブラリのメイン画面に戻るには、画面上部にあるサブメニュー名をタップします。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーはオーディオプレーヤーに統合されており、音楽ファイルを再生します。ライブラリの曲を選択すると、ミュージックプレーヤーが起動して自動的に曲が再生されます。ミュージックプレーヤーでは、以下のコントロールボタンを使用できます。

注意　ミュージックプレーヤー画面右上の ☒ アイコンをタップすると、オーディオプレーヤーが終了します。次回オーディオプレーヤーを起動したときは、ミュージックプレーヤーが開きます。**[ライブラリ]**をタップすると、オーディオプレーヤーのライブラリ画面に戻ります。

再生リスト

再生リストは連続再生を行うための音楽ファイル一覧です。本体メモリとmicroSDカードの再生リストが画面に表示されます。

再生リスト画面には次の再生リストが表示されます。

- **Windows Media Player再生リスト：** Windows Media Player Mobileライブラリにある再生リストで（PCのWindows Media Playerに同期）、Windows Media Playerアイコン（ ）が表示されます。オーディオプレーヤーのミュージックプレーヤーで再生できますが、編集を行うことはできません。
- **カスタム再生リスト：** オーディオプレーヤーは次のフォルダにある再生リストを検索します。

注意
- オーディオプレーヤーは、以下の場所について再生リストを検索します。
  デバイス：¥Application Data¥HTC¥AudioManager¥playlists
  　　　　：¥Playlists
  microSDカード：¥メモリ カード¥Playlists
- 上記フォルダは、オーディオプレーヤーで再生リストを作成したり、PCのWindows Media Playerの再生リストを同期するまで作成されません。
- Windows Media Playerの再生リストが音楽、ビデオ、画像ファイルを含む場合は、オーディオプレーヤーでは音楽ファイルのみが認識されます。

再生リストを作成する

1. ライブラリメイン画面で**[再生リスト]**をタップします。
2. 再生リスト画面で**[メニュー]** > **[新規作成]** をタップします。
3. 再生リスト名を入力し、**[OK]**をタップします。
4. 再生リスト画面で作成した再生リストを選択し、**[編集]**をタップします。
5. **[メニュー]** > **[追加]** をタップします。
6. 再生リストに追加する曲のタイトルにチェックを入れます。すべての曲を追加するときは、**[メニュー]** > **[すべて選択]** をタップします。

7. **[OK]**をタップすると、再生リストに登録された曲が表示されます。
8. **[OK]**をタップすると、再生リストが保存されます。保存を知らせるメッセージに対して**[ok]**をタップし、再生リストの一覧画面に戻ります。

再生リストを再生する

1. 再生リスト画面で再生リストを選択します。
2. 最初に再生する曲を選択します。オーディオプレーヤーが起動し、再生リストの再生が始まります。

注意 音楽ファイルが本体メモリまたはmicroSDカードから削除された場合、再生リストの内容は自動的に更新されません。再生リストの音楽ファイルが削除された場合は、通知メッセージが表示されます。

再生リストを編集する

1. 再生リスト画面で編集したい曲を選択します。
2. **[編集]**をタップします。
3. **[メニュー]**をタップし、編集オプションから項目を選択して、曲の追加やコピー、削除などを行います。
4. 編集が終わったら、**[OK]**を2回タップします。
5. 再生リスト画面に戻るには、再生リスト名をタップします。

再生リストを他の再生リストにコピーする

1. 再生リスト画面でコピーする再生リストを選択します。
2. **[メニュー]** > **[再生リストにコピー]** をタップします。
3. コピー先の再生リストをタップし、**[OK]**をタップします。新規の再生リストを作成する場合は、**[新規プレイリスト]**をタップします。

第12章

本機を管理する

12.1 プログラムの削除

プログラムを削除する

自分でインストールしたプログラムのみ、削除することができます。本機にあらかじめインストールされているプログラムは削除できません。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[プログラムの削除]** をタップします。
2. **[データ記憶用メモリにあるプログラム]** の一覧から削除するプログラムを選択し、**[削除]** をタップします。
3. **[はい]** をタップし、**[ok]** をタップします。

12.2 メモリを管理する

プログラムが不安定になったり、プログラムメモリが少なくなってきたら、プログラムを停止してください。

利用可能なメモリ残量を確認する

- **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[メモリ]** をタップします。
- **[メイン]** タブでファイルやデータ用に割り当てられたメモリ容量と、プログラムメモリの容量が表示されます。また、使用済みメモリ容量と残りのメモリ容量も表示されます。

microSDカードの空き容量を確認する

本機に挿入されたmicroSDカードの利用可能な残量を確認することができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[メモリ]** をタップします。
2. **[メモリカード]** タブをタップします。

利用可能なメモリの空き容量を増やす

メモリの空き容量を増やすには、次のような方法があります。

- 現在使用していないプログラムを終了します。
- メールの添付ファイルをmicroSDカードに移動します。

- ファイルをmicroSDカードに移動します。**[スタート]** > **[プログラム]** > **[ファイル エクスプローラ]** をタップします。ファイルをタップしたままにし、**[切り取り]** をタップします。microSDカードのフォルダを参照し、**[メニュー]** > **[編集]** > **[貼り付け]** をタップします。
- 不要なファイルを削除します。**[スタート]** > **[プログラム]** > **[ファイル エクスプローラ]** をタップします。ファイルをタップしたままにし、**[削除]** をタップします。
- 大きなファイルを削除します。一番大きなファイルを見つけるには、**[スタート]** > **[プログラム]** > **[検索]** をタップします。**[種類]** の一覧で **[64KB より大きいファイル]** をタップし **[検索]** をタップします。
- Internet Explorer Mobile で一時インターネットファイルと履歴情報を消去します。詳しくは、「9.7 Internet Explorer Mobile」(P.176)をご覧ください。
- 使用していないプログラムを削除します。
- 本機をリセットします。

12.3 タスクマネージャ

タスクマネージャまたはToday画面のクイックメニューから実行中のプログラムを終了し、メモリスペースを解放することができます。

タスクマネージャを起動する

[スタート] > **[設定]** > **[システム]**タブ > **[タスクマネージャ]**をタップします。

タスクマネージャで実行中のプログラムを表示する

1. **[実行]**タブをタップし、実行プログラムリストを表示します。
2. 終了するプログラムにチェックを入れ、**[選択したアイテムを終了]**をタップします。

ヒント
- 実行中のプログラムを切り替える場合は、プログラム名をタップし、ショートカットメニューから**[アクティブ化]**をタップします。
- すべてのプログラムを終了する場合は、**[すべて終了]**をタップします。

プログラムを例外プログラムリストに追加する

例外プログラムリストに追加すると、**[選択したアイテムを終了]**や**[すべて終了]**をタップしてもプログラムを終了しないように設定できます。

1. **[実行]**タブをタップします。
2. プログラム名をタップします。
3. **[例外を追加]**をタップし、例外プログラムリストに追加します。

ヒント 例外プログラムリストから削除する場合は、**[例外]**タブで削除するプログラムにチェックを入れて**[削除]**をタップします。

終了（ ☒ ）ボタンを設定する

1. **[ボタン]**タブをタップします。
2. **[“X”ボタンで実行中のプログラムを終了]** にチェックを入れます。

   注意 **[“X”ボタンで実行中のプログラムを終了]**のチェックを外すと、終了ボタンを押しても画面を閉じるのみで、プログラムを終了することはできません。

3. 終了ボタンでプログラム終了するときの動作を選択します。

クイックメニューを有効にする

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]**タブ > **[タスクマネージャ]** > **[ボタン]**タブをタップします。
2. **[Today画面でクイックメニューを有効化]**にチェックを入れます。
3. **[ok]**をタップします。

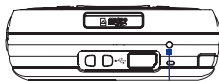
注意 クイックメニューの詳細については、「1.8 クイックメニュー」（P.53）をご覧ください。

12.4 本機をリセットする

本機を使用中に、リセットが必要になる場合があります。本機をソフトリセットすると、アクティブプログラムメモリがすべて消去され、すべてのプログラムがシャットダウンされます。本機の動作が極端に遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりしたときには、ソフトリセットが有効です。また、インストールした後にソフトリセットが必要なプログラムもあります。プログラム実行中にソフトリセットを行うと、保存していない情報はすべて失われます。

もう1つのリセットは、フォーマットと呼ばれます。フォーマットは、システムにソフトリセットでは解決できない問題が生じた場合に実行します。フォーマットを実行すると、本機は工場出荷時の状態にリセットされます。ご自身でインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタム設定などはすべて失われます。Windows Mobile ソフトウェアと、あらかじめインストールされていたプログラムだけが残ります。

ソフトリセットを行う

- スタイラスペンで本機底面のリセットボタンを押します。本機が再起動し、Today 画面が表示されます。

リセットボタン

本体のボタンを使ってフォーマットを行う

1. 左ソフトキーと右ソフトキーを同時に押したまま、本機底面のリセットボタンをスタイラスペンで押します。
2. しばらくすると、画面に内部のすべてのデータを削除する警告メッセージが表示されます。

```
This operation will delete
all your personal data,
and reset all settings
to manufacturer default.
Press Send to restore
manufacturer default, or
press other keys to cancel.
```

（訳）
フォーマットを行うと、本機の中のすべてのデータや設定内容が削除され、工場出荷時の状態に戻ります。通話ボタンを押すとフォーマットを実行します。中止するには、通話ボタン以外のボタンを押します。

3. 通話ボタンを押すとフォーマットを実行します。その他のキーを押すとキャンセルされます。

警告! フォーマットを行うと、本機は工場出荷時の状態に戻ります。本機に後からインストールしたプログラムやユーザーデータなどのバックアップを取ってから実行することをお勧めします。

スタートメニューからフォーマットを行う

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[ストレージをクリア]** をタップします。
2. "1234"と入力し、**[はい]** をタップします。

12.5 システム情報を確認する

本機の技術仕様（プロセッサタイプや速度、メモリサイズなど）は **[設定]** から確認することができます。

オペレーティングシステムのバージョンを確認する

- **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[バージョン情報]** をタップします。

本機のオペレーティングシステムのバージョンは、バージョン情報画面の上方に表示されます。

本機の詳細を確認する

- **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]** タブ > **[バージョン情報]** をタップします。**[バージョン]** タブに、本機のプロセッサタイプ、メモリ容量などの重要な情報が表示されます。

12.6 Windows Update

Windows Update の Web サイトへリンクし、本機のWindows Mobile を最新のセキュリティパッチや修正版に更新します。

注意
- お買い上げ時は更新ができない場合があります。
- 更新データをダウンロードするにはインターネットに接続する必要があります。

Windows Updateの設定

初めてWindows Updateを行うときは、更新をチェックする方法を選択する必要があります。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]**タブ > **[Windows Update]**をタップします。
2. 更新のセットアップ画面で**[次へ]**をタップします。
3. 更新をチェックする方法を**[手動]**または**[自動]**から選択し、**[次へ]**をタップします。

   注意 **[自動]**を選択すると、データ通信プランを使用するかどうかを設定する画面が表示されます。**[データプランを使用して更新をチェックし、ダウンロードします。]**にチェックマークを入れると、パケット通信によって更新をチェックします。チェックマークを外すと、ワイヤレスLANおよびPCとのUSB接続によるネットワーク経由で更新をチェックします。

   契約したプランによってはパケット通信費用がかかります。

4. **[完了]**をタップします。

Windows Updateの設定を変更する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[システム]**タブ > **[Windows Update]**をタップします。
2. **[メニュー]**をタップし、変更したい項目を選択します。

- データプランを使用して更新をチェックするかどうかの設定を変更する場合は、**[接続]**をタップします。
- 更新をチェックする方法を変更する場合は、**[スケジュールの変更]**をタップします。

ヒント Windows Update画面で**[チェックする]**をタップして更新のチェックを行うこともできます。

12.7 電池を節約するには

電池の持続時間は、本機の使い方により大きく左右されます。次のような方法で電池を節約することができます。

- 本機を使用していないときは、電源ボタンを押して画面をオフにしておきます。
- Today 画面の電池アイコン（ ）をタップします。電源設定画面の **[詳細設定]** タブで自動的に本機の画面がオフになるタイミングを設定することができます。電池を最大限に節約するには、3分以内の設定を推奨します。
- microSDカードにアクセスしたり、ミニUSB端子に周辺機器を接続している場合、使用しないときは、本機から取り外してください。
- バックライトは、必要以上に明るくしないように設定し、用途に合わせて一定時間後に切れるように調整します。詳しくは、「一定時間後にバックライトを消すよう設定する」(P.106)をご覧ください。
- ワイヤレスLAN通信機能は、使用していない場合はオフに設定します。詳しくは「9.3 ワイヤレスLAN」(P.169)をご覧ください。

- Bluetooth通信機能は、使用していない場合はオフに設定します。また、ペアリングを行うときだけ本機を検出可能にします。詳しくは「9.9 Bluetoothを使う」(P.178)をご覧ください。
- ビデオや音楽の再生音量を必要以上に大きくしないようにします。
- 使用していないプログラムは終了してください。プログラムがバックグラウンドで実行しておらず、完全に終了していることを確認します。詳しくは、「12.3 タスクマネージャ」(P.223)をご覧ください。

第13章

その他のアプリケーションを使う

13.1　ボイス短縮ダイヤルを使う

13.1 ボイス短縮ダイヤルを使う

音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行したりするために、ボイスタグを録音しておくことができます。

電話番号のボイスタグを作成する

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップし、連絡先一覧を表示します。
2. 次のいずれかの方法でボイスタグを作成します。
   - 連絡先を選択し、タップしたままにして **[ボイスタグの追加]** をタップします。
   - 連絡先を選択し、**[メニュー]** > **[ボイスタグの追加]** をタップします。
   - 連絡先をタップして詳細画面を表示し、**[メニュー]** > **[ボイスタグの追加]** をタップします。
3. ボイスタグを作成する電話番号を選択し、**録音**ボタン（ ● ）を押します。任意のボイスタグを録音します。
4. 録音を終えると、**ボイスタグ**アイコン（ ）がアイテムの右側に表示されます。

5. アイテムに対してボイスタグを作成すると、次の操作を行うことができます。
   - **録音**ボタン（ ● ）をタップしてボイスタグを再設定できます。
   - **再生**ボタン（ ▶ ）をタップしてボイスタグを再生できます。
   - **削除**ボタン（ ✕ ）をタップしてボイスタグを削除できます。

ヒント 音声認識の精度を上げるため、静かな場所で録音を行ってください。

プログラムのボイスタグを作成する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[ボイス短縮ダイヤル]** をタップします。
2. **[アプリケーション]** タブに、本機にインストールされているすべてのプログラムが表示されます。プログラムに対してボイスタグを作成する方法は、電話番号に対するときと同じです。
3. プログラムのボイスタグを作成すると、ボイスタグボタンを押した後、録音したボイスタグを発声するだけでプログラムを起動できます。

ボイスタグを使った音声発信やプログラム起動

1. 本機の左側面にあるボイスタグボタンを押します。
2. 発信音の後、電話番号またはプログラムに割り当てたボイスタグを発声します。システムがボイスタグを再生し、該当する番号に発信、または該当するプログラムを起動します。

注意 ボイスタグがうまく認識されない場合は、ボイスタグが認識されやすいようにはっきり発音したり、周囲の雑音が少なくなるよう工夫して、もう一度録音してください。

作成したボイスタグの表示とテスト

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[個人用]** タブ > **[ボイス短縮ダイヤル]** をタップします。
2. **[ボイスタグ]** タブに、作成したすべてのボイスタグの一覧が表示されます。一覧からアイテムを選択し、次の操作を行うことができます。
   - **録音**ボタン（ ● ）をタップしてボイスタグを再設定できます。
   - **再生**ボタン（ ▶ ）をタップしてボイスタグを再生できます。
   - **削除**ボタン（ ✕ ）をタップしてボイスタグを削除できます。

付録

ローマ字→かな変換表

■五十音

あ　A	い　I	う　U	え　E	お　O
か　KA（CA）	き　KI	く　KU	け　KE	こ　KO
さ　SA	し　SI（SHI）	す　SU	せ　SE	そ　SO
た　TA	ち　TI（CHI）	つ　TU（TSU）	て　TE	と　TO
な　NA	に　NI	ぬ　NU	ね　NE	の　NO
は　HA	ひ　HI	ふ　HU（FU）	へ　HE	ほ　HO
ま　MA	み　MI	む　MU	め　ME	も　MO
や　YA		ゆ　YU		よ　YO
ら　RA	り　RI	る　RU	れ　RE	ろ　RO
わ　WA				を　WO
ん　N（NN）				

■濁音／半濁音

が　GA	ぎ　GI	ぐ　GU	げ　GE	ご　GO
ざ　ZA	じ　ZI	ず　ZU	ぜ　ZE	ぞ　ZO
だ　DA	ぢ　DI	づ　DU	で　DE	ど　DO
ば　BA	び　BI	ぶ　BU	べ　BE	ぼ　BO
ぱ　PA	ぴ　PI	ぷ　PU	ぺ　PE	ぽ　PO
		ヴ　VU		

■拗音 1（ゃ、ゅ、ょ）

きゃ　KYA	きゅ　KYU	きょ　KYO
しゃ　SYA（SHA）	しゅ　SYU（SHU）	しょ　SYO（SHO）
ちゃ　TYA（CHA）	ちゅ　TYU（CHU）	ちょ　TYO（CHO）
にゃ　NYA	にゅ　NYU	にょ　NYO
ひゃ　HYA	ひゅ　HYU	ひょ　HYO
みゃ　MYA	みゅ　MYU	みょ　MYO
りゃ　RYA	りゅ　RYU	りょ　RYO
ぎゃ　GYA	ぎゅ　GYU	ぎょ　GYO
じゃ　ZYA（JA）	じゅ　ZYU（JU）	じょ　ZYO（JO）
ぢゃ　DYA	ぢゅ　DYU	ぢょ　DYO
びゃ　BYA	びゅ　BYU	びょ　BYO
ぴゃ　PYA	ぴゅ　PYU	ぴょ　PYO

■拗音 2（ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ）

くぁ　QA	くぃ　QI	くぅ　QWU	くぇ　QE	くぉ　QO
ぐぁ　GWA	ぐぃ　GWI	ぐぅ　GWU	ぐぇ　GWE	ぐぉ　GWO
つぁ　TSA	つぃ　TSI		つぇ　TSE	つぉ　TSO
ふぁ　FA	ふぃ　FI		ふぇ　FE	ふぉ　FO
ヴぁ　VA	ヴぃ　VI		ヴぇ　VE	ヴぉ　VO

■拗音 3（その他）

いぇ　YE	うぇ　WE			
てゃ　THA	てぃ　THI	てゅ　THU	てぇ　THE	てょ　THO
でゃ　DHA	でぃ　DHI	でゅ　DHU	でぇ　DHE	でょ　DHO
ふゃ　FYA		ふゅ　FYU		ふょ　FYO
とぅ　TWU	どぅ　DWU			
ヴゅ　VYU				

■小さい文字のみの入力

ぁ　LA(XA)	ぃ　LI(XI)	ぅ　LU(XU)	ぇ　LE(XE)	ぉ　LO(XO)
ゃ　LYA	ゅ　LYU	ょ　LYO	っ　LTU	

■「ん」の入力

- 通常は「N」を入力
- 「ん」の次に母音（A, I, U, E, O）またはYが続くとき、文末が「ん」のときは「NN」を入力

例：

KANSEI — かんせい

TANNI — たんい

KONNYAKU — こんやく

■「っ」の入力

- 子音を 2 回連続して入力（N と Y を除く）

例：

SAKKA — さっか

HASSINN — はっしん

ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターの動作環境

ActiveSync

- 本端末をパソコンと接続してデータを同期するためには、パソコンにMicrosoft ActiveSync プログラムがインストールされている必要があります。
- ActiveSync は「お使いになる前にディスク」に格納されています。なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

オペレーティングシステム

- Windows XP Service Pack 1 および 2
- Windows XP Tablet PC Edition
- Windows XP Media Center Edition
- Windows XP Professional x64 Edition
- Windows 2000 Service Pack 4
- Windows Server 2003 Service Pack 1
- Windows Server 2003 Service Pack 1 for Itanium-powered Systems
- Windows Server 2003 Standard x64 Edition

アプリケーション

データの同期（電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り）

- Microsoft Office XP ／ Microsoft Outlook 2002
- Microsoft Office 2003 ／ Microsoft Outlook 2003
- Microsoft Office 2007 ／ Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- Microsoft Systems Management Server 2.0

Windows Mobile デバイスセンター

- 本端末を Windows Vista 搭載のパソコンと接続してデータを同期するには、 Windows Mobile デバイスセンターを利用します。
- Windows Mobile デバイスセンターは「お使いになる前にディスク」に格納されています。 なお、 このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

オペレーティングシステム

- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Enterprise
- Windows Vista Business
- Windows Vista Home Premium
- Windows Vista Home Basic

アプリケーション

データの同期（電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り）

- Microsoft Office XP ／ Microsoft Outlook 2002
- Microsoft Office 2003 ／ Microsoft Outlook 2003
- Microsoft Office 2007 ／ Microsoft Outlook 2007
- Internet Explorer 7

故障と思われる前に

症状	措置
電源が入らない	• 電源ボタンを2秒以上押し続けていますか? • 電池切れになっていませんか? • 電池パックが正しく装着されていますか?
スリープモードにするには	• 本機の電源がオンの状態で、電源ボタンを短く押してください。 • 解除する場合は、再度電源ボタンを短く押します。
電源を入れたのに操作できない	• PIN1コードを入力する画面が表示されていませんか? • PIN1コードを正しく入力してください。
電源を入れたときに「SIMカードエラー」というメッセージが表示される	• EM chip（USIMカード）が正しく 本機 に取り付けられていますか? • EM chipのIC部分に指紋などの汚れが付着していませんか? 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
ボタン操作ができない	• 画面右下に「ロックの解除」と表示されていませんか? 「ロックの解除」をタップし、ボタン操作ロックを解除してください。 • パスワード入力の画面が表示されていませんか? 正しいパスワードを入力してください。
電話がかけられない	• 市外局番からダイヤルしていますか?
電話がつながらない、メールやWebが利用できない	• 圏外を示すアイコンが表示されていませんか? • Comm Managerで、「通話」がオフになっていませんか? 「通話」をオンにしてください。 • Comm Managerで、「フライトモード」がオンになっていませんか?「フライトモード」をオフにしてください。
通話が途切れたり、切れたりする	• 電波の届きにくい場所でかけていませんか?電波がなるべく強いところでかけてください。 • 電池切れになっていませんか?電池残量を確認してください。

症状	措置
充電できない	• 電池パックが正しく装着されていますか? • 本機、電池パック、ACアダプタなどの端子が汚れていませんか? • 使用環境の温度が0℃～40℃の範囲外になると、充電できないことがあります。 • 電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。新しい電池パックと交換してください。
熱くなる	• 充電中、ACアダプタが熱くなったり、長時間使用すると本機が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。
Bluetooth 対応機器から検出されない	• Comm ManagerでBluetoothの通信機能がオフになっていませんか? Comm Managerを開いて、Bluetoothの通信機能をオンにしてください。
ワイヤレスLAN(無線LAN)に接続できない	• Comm ManagerでワイヤレスLANの通信機能がオフになっていませんか? Comm Managerを開いて、ワイヤレスLANの通信機能をオンにしてください。
電池の持続時間が短い	• 使用環境（周囲の温度/充電状況/電波状態)、操作や設定状態によっては、電池パックが早く消費されることがあります。 • ワイヤレスLAN、Bluetooth、ダイレクトプッシュがオンになっていると、電池パックの消費が早くなります。

仕様

システム情報	
プロセッサ	Qualcomm MSM 7200 400MHz
メモリ	- ROM: 256 MB - RAM: 128 MB SDRAM
オペレーティングシステム	Windows Mobile 6 Professional

電源	
電池パック	リチウムイオンポリマー電池、1350 mAh
充電時間	約180分
連続待受時間	約350時間(3Gモード)
連続通話時間	約264分(3Gモード)
電源電圧	入力 AC100-240V 50/60 Hz、出力 DC5V 1A

ディスプレイ	
LCD	2.8インチTFT液晶(タッチスクリーン)
解像度	320 × 240(65,536色)

W-CDMA／GSM／GPRS／EDGE	
通信方式および帯域	・HSDPA／W-CDMA 1700MHz ・GSM／GPRS／EDGE 850MHz／900MHz／1800MHz／1900MHz
アンテナ	内蔵

外装	
寸法	59mm (W) × 112mm (H) × 19mm (D)(突起部除く)
質量	190g(電池パック・スタイラスペンを含む)

カメラ	
タイプ	メインカメラ: 300万画素カラーCMOSカメラ（オートフォーカス機能付） サブカメラ: VGA CMOSカメラ
解像度	静止画: 2048 × 1536、1600 × 1200 (UXGA)、1280 × 960 (SXGA)、640 × 480 (VGA)、320 × 240 (QVGA)、160 × 120 (QQVGA) 動画: 352 × 288 (CIF)、320 × 240 (QVGA)、176 × 144 (QCIF)、128 × 96 (Sub-QCIF)
デジタルズーム	最高 8 倍

オーディオ	
コーデック	AMR/AAC/WAV/WMA/MP3

外部接続	
ミニ USB	USB、シリアル、オーディオ、電源接続用
Bluetooth	Bluetooth Ver.2.0 + EDR 準拠
ワイヤレス LAN	IEEE 802.11b/g 準拠

拡張スロット	
カードスロット	microSD（SD 2.0 準拠）

AC アダプタ	
電源電圧	AC100V-240V、50-60Hz
消費電力	15W
出力電圧／出力電流	5V ／ 1A
充電温度範囲	0℃～ 40℃
サイズ	約65 mm × 27 mm × 39 mm（突起部とコードは除く）

携帯電話の比吸収率（SAR）について

この機種（S11HT）の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人体の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機構（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

この携帯電話機（S11HT）の SAR は、0.376W/kg です。

この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
イー・モバイルのホームページ
http://emobile.jp/

あ

か

さ

た

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

E

保証とアフターサービスについて

保証について

- お買上げいただくと、保証書が付いています。
- 記載内容および「お買上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。
- お買上げ日と販売店の記載がなかったり、改ざんされたりした場合、保証を受けられませんので、ご注意ください。
- 保証内容については保証書に記載されております。

修理について

- 修理を依頼される場合、この説明書をお読みになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善、復旧しない場合は、お問い合わせ先までご相談ください。
- 保証期間中の修理：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間経過後の修理：修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご注意

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信等の機会を逸したために発生した障害など付随的な損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される（出荷時の状態となる）場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、分解、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

補修用部品

- 本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後 6 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせ先

イー・モバイル カスタマーセンター

一般電話から：0120-736-157（無料）

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）

受付時間　9:00 ～ 21:00（年中無休）

ホームページ　http://emobile.jp/